（仮称）子ども・子育て支援複合施設整備事業建築工事

令和８年９月

通し番号	図面番号	図面名称	縮尺
1	A-000	図面リスト	-
2	A-001	浦安市特記仕様書(1)	-
3	A-002	浦安市特記仕様書(2)	-
4	A-003	浦安市特記仕様書(3)	-
5	A-004	特記仕様書(1)	-
6	A-005	特記仕様書(2)	-
7	A-006	特記仕様書(3)	-
8	A-007	特記仕様書(4)	-
9	A-008	特記仕様書(5)	-
10	A-101	工事区分表	-
11	A-102	現況図	図示
12	A-103	敷地求積図	図示
13	A-104	床面積表・床面積求積図	図示
14	A-105	計画概要・案内図・配置図	-
15	A-106	一般共通事項・外部仕上表	-
16	A-107	内部仕上表(1)	-
17	A-108	内部仕上表(2)	-
18	A-109	1階/1.5階 平面図	1:150
19	A-110	2階/2.5階 平面図	1:150
20	A-111	屋根伏図	1:150
21	A-112	地下1階/ピット階(機械室下) 平面図	1:150
22	A-113	立面図	1:200
23	A-114	断面図	1:200
24	A-115	地下1階/1階 天井伏図	1:100
25	A-116	2階/トップライト 天井伏図	1:100
26	A-117	断面詳細図(1)	1:50
27	A-118	断面詳細図(2)	1:50
28	A-119	断面詳細図(3)	1:50
29	A-120	断面詳細図(4)	1:50
30	A-121	断面詳細図(5)	1:50
31	A-122	矩計図(1)	1:50
32	A-123	矩計図(2)	1:50
33	A-124	矩計図(3)	1:50
34	A-201	壁種別図(1)	-
35	A-202	壁種別図(2)	-
36	A-203	1階/1.5階 平面詳細図	1:100
37	A-204	2階/2.5階 平面詳細図	1:100
38	A-205	部分詳細図(1) 1階 平面詳細図	1:50
39	A-206	部分詳細図(2) 1階/2階 平面詳細図	1:50
40	A-207	部分詳細図(3) 地下1階/屋上設備スペース(1)(2) 平面詳細図	1:50
41	A-208	部分詳細図(4) 階段(1)・EV(1)詳細図	図示
42	A-209	部分詳細図(5) 階段(2)詳細図	図示
43	A-210	部分詳細図(6) 階段(3)・(4)詳細図	図示
44	A-211	部分詳細図(7) 渡り廊下(1)(2)詳細図	図示
45	A-212	部分詳細図(8) 水廻り詳細図(1)	1:50
46	A-213	部分詳細図(9) 水廻り詳細図(2)	1:50
47	A-214	部分詳細図(10) 水廻り詳細図(3)	1:50
48	A-215	部分詳細図(11) 金属屋根詳細図(1)	図示
49	A-216	部分詳細図(12) 金属屋根詳細図(2)	図示
50	A-217	部分詳細図(13) 外壁詳細図	図示
51	A-218	部分詳細図(14) 二重床詳細図	図示
52	A-219	部分詳細図(15) ﾊｲｻｲﾄﾞﾗｲﾄ・ｱﾒﾆﾃｨｽﾎﾟｯﾄ詳細図	図示
53	A-301	展開図(1)	1:100
54	A-302	展開図(2)	1:100
55	A-303	展開図(3)	1:100
56	A-304	展開図(4)	1:100
57	A-401	建具共通事項	-
58	A-402	1階/2階/トップライト 建具キープラン	-
59	A-403	建具表(ドア) (1)	-
60	A-404	建具表(ドア) (2)	-
61	A-405	建具表(窓) (1)	-
62	A-406	建具表(窓) (2)	-
63	A-407	建具詳細図(1) ACW1a詳細図	図示
64	A-408	建具詳細図(2) ハイサイドライトAW詳細図(1)	図示
65	A-409	建具詳細図(3) ハイサイドライトAW詳細図(2)	図示
66	A-501	雑詳細図(1)	図示
67	A-502	雑詳細図(2)	図示
68	A-503	雑詳細図(3)(4)	図示
69	A-504	雑詳細図(4) 電動書架	図示
70	A-505	雑詳細図(5) カーテン等配置図	図示
71	A-506	雑詳細図(6)	図示
72	A-507	雑詳細図(7) ハト小屋詳細図	図示
73	A-508	雑詳細図(8) 雨水排水計画図	図示
74	A-509	雑詳細図(9) 雨水排水詳細図	図示

通し番号	図面番号	図面名称	縮尺
75	A-510	雑詳細図(10)	図示
76	A-511	雑詳細図(11)	図示
77	A-601	家具特記仕様書	-
78	A-602	1階/2階 家具キープラン	1:100
79	A-603	家具詳細図(1)	図示
80	A-604	家具詳細図(2)	図示
81	A-605	家具詳細図(3)	図示
82	A-606	家具詳細図(4)	図示
83	A-607	家具詳細図(5)	図示
84	A-608	家具詳細図(6)	図示
85	A-609	家具詳細図(7)	図示
86	A-610	家具詳細図(8)	図示
87	A-611	家具詳細図(9)	図示
88	A-612	家具詳細図(10)	図示
89	A-613	家具詳細図(11)	図示
90	A-614	家具詳細図(12)	図示
91	A-615	家具詳細図(13)	図示
92	A-616	家具詳細図(14)	図示
93	A-617	家具詳細図(15)	図示
94	A-618	家具詳細図(16)	図示
95	A-619	家具詳細図(17)	図示
96	A-620	家具詳細図(18)	図示
97	A-621	家具詳細図(19)	図示
98	A-622	家具詳細図(20)	図示
99	A-623	家具詳細図(21)	図示
100	A-624	家具詳細図(22)	図示
101	A-625	家具詳細図(23)	図示
102	A-626	家具詳細図(24)	図示
103	A-627	家具詳細図(25)	図示
104	A-628	家具詳細図(26)	図示
105	A-629	家具詳細図(27)	図示
106	A-630	家具詳細図(28)	図示
107	A-631	家具詳細図(29)	図示
108	A-632	家具詳細図(30)	図示
109	A-701	サイン工事特記事項	-
110	A-702	1階/2階 サインキープラン	図示
111	A-703	外部 サインキープラン	図示
112	A-704	サイン詳細図(1)	図示
113	A-705	サイン詳細図(2)	図示
114	A-706	サイン詳細図(3)	図示
115	A-707	サイン詳細図(4)	図示
116	A-708	サイン詳細図(5)	図示
117	A-709	サイン詳細図(6)	図示
118	A-710	サイン詳細図(7)	図示
119	A-711	サイン詳細図(8)	図示
120	A-712	サイン詳細図(9)	図示
121	A-713	サイン詳細図(10)	図示
122	A-714	サイン詳細図(11)	図示
123	A-715	サイン詳細図(12)	図示
124	A-801	EV詳細図(1)	図示
125	A-802	EV詳細図(2)	図示
126	A-803	EV詳細図(3)	図示
127	A-804	EV詳細図(4)	図示
128	A-805	EV詳細図(5)	図示
129	A-806	EV詳細図(6)	図示
130	A-807	EV詳細図(7)	図示
131	A-808	EV詳細図(8)	図示
132	A-809	EV詳細図(9)	図示
133	A-810	EV詳細図(10)	図示
134	A-811	EV詳細図(11)	図示
135	A-812	EV詳細図(12)	図示
136	A-813	EV詳細図(13)	図示
137	A-814	EV詳細図(14)	図示
138	A-901	日の出公民館撤去図(1)	図示
139	A-902	日の出公民館撤去図(2)	図示
140	A-903	日の出公民館撤去図(3)	図示
141	A-904	日の出公民館撤去図(4)	図示
142	A-905	日の出公民館撤去図(5)	図示
143	A-906	日の出公民館撤去図(6)	図示
144	A-907	日の出公民館改修図	図示
145	A-908	外構舗装等設撤去図	図示
146	A-909	外構排水施設撤去図	図示
147	EX-001	1階/2階 防火区画図	1:150
148	EX-002	1階/2階 バリアフリーチェック図	1:200
149	EX-003	平均地盤面算定図	図示

通し番号	図面番号	図面名称	縮尺
150	EX-004	ピット階スリーブ図	1:150
151	EX-005	仮設計画図(1)	1:400
152	EX-006	仮設計画図(2)	1:400
153	EX-007	仮設計画図(3)	1:400
154	EX-008	仮設計画図(4)	1:400
155	EX-009	仮設計画図(5)	1:400
156	S-001	構造特記仕様書 (1)	図示
157	S-002	構造特記仕様書 (2)	図示
158	S-003	構造関係共通事項 (1)	図示
159	S-004	構造関係共通事項 (2)	図示
160	S-005	構造関係共通事項 (3)	図示
161	S-006	構造関係共通事項 (4)	図示
162	S-007	構造関係共通事項 (5)	図示
163	S-008	構造関係共通事項 (6)	図示
164	S-009	構造関係共通事項 (7)	図示
165	S-010	鉄骨露出柱脚標準図 (ハイベースNEO工法 同等品)	図示
166	S-011	パイルキャップ標準図 (F.T.Pile構法 同等品)	図示
167	S-011a	型枠デッキプレート標準図	図示
168	S-012	ボーリング柱状図 (1)	図示
169	S-013	ボーリング柱状図 (2)	図示
170	S-014	ボーリング柱状図 (3) (既存ボーリング参考図)	図示
171	S-015	杭伏図	図示
172	S-016	B1階基礎伏図	図示
173	S-017	B1階伏図	図示
174	S-018	1階基礎伏図	図示
175	S-019	1階伏図	図示
176	S-020	1.5階伏図	図示
177	S-021	2階伏図	図示
178	S-022	2.5階伏図	図示
179	S-023	RFL2階伏図	図示
180	S-024	屋根伏図 (トラス下弦材)	図示
181	S-025	屋根伏図 (トラス上弦材)	図示
182	S-026	軸組図 (1) Y01通、Y02通	図示
183	S-027	軸組図 (2) Y02a通、Y02b通	図示
184	S-028	軸組図 (3) Y03通、Y03a通	図示
185	S-029	軸組図 (4) Y04通、Y05通	図示
186	S-030	軸組図 (5) Y05a通、Y05b通	図示
187	S-031	軸組図 (6) X01通、X01a通、X02通、X03通	図示
188	S-032	軸組図 (7) X04通、X05通、X05a通、X06通	図示
189	S-033	軸組図 (8) X06a通、X07通、X08通、X08a通	図示
190	S-034	基礎・耐圧スラブリスト	図示
191	S-035	基礎梁リスト (1)	図示
192	S-035a	基礎梁リスト (2)	図示
193	S-036	基礎梁リスト (3)	図示
194	S-037	基礎小梁・小梁リスト	図示
195	S-038	柱芯案内図	図示
196	S-039	RC柱・鉄骨柱リスト	図示
197	S-040	鉄骨大梁・小梁リスト	図示
198	S-041	鉄骨屋根トラスリスト(大梁)	図示
199	S-042	鉄骨屋根トラスリスト(小梁)	図示
200	S-043	スラブリスト・壁リスト	図示
201	S-044	屋根架構 鉄骨詳細図 (1)	図示
202	S-045	屋根架構 鉄骨詳細図 (2)	図示
203	S-046	Y02通り架構詳細図	図示
204	S-047	雑詳細図 (1)	図示
205	S-048	雑詳細図 (2)	図示
206	S-049	階段詳細図 (1)	図示
207	S-050	階段詳細図 (2)	図示
208	S-051	階段詳細図 (3)	図示
209	S-051a	階段詳細図 (4)	図示
210	S-052	スロープ鉄骨詳細図	図示
211	S-053	屋上設備スペース (1) 鉄骨図	図示
212	S-054	屋根開口鉄骨詳細図	図示
213	S-055	外壁・開口補強下地鉄骨図	図示
214	S-056	梁貫通孔補強要領	図示
215	S-057	山留計画図 (1) (参考図)	図示
216	S-058	山留計画図 (2) (参考図)	図示
217	S-059	外部メッキ範囲要領図 (1)	図示
218	S-060	外部メッキ範囲要領図 (2)	図示
219	S-061	外部メッキ範囲要領図 (3)	図示
220	S-062	外部メッキ範囲要領図 (4)	図示
221	S-101	配筋納まり図 B1階X05/Y02a,1階X01/Y05b (参考図)	図示
222	S-102	配筋納まり図 1階X02/Y01,Y02,Y03 (参考図)	図示
223	S-103	配筋納まり図 1階X03/Y01,Y02,Y03 (参考図)	図示
224	S-104	配筋納まり図 1階X04/Y01,Y02,Y02a (参考図)	図示
225	S-105	配筋納まり図 1階X06/Y01,Y02 (参考図)	図示
226	S-106	配筋納まり図 1階X07/Y01,Y02,Y02a (参考図)	図示

工事名称	(仮称)子ども・子育て支援複合施設整備事業建築工事		図面番号 A-000
図面名称	図面リスト	縮尺(A1) -	
担当課	生涯学習部 生涯学習課	工事番号 08-01	通し番号 1
	健康こども部 こども課		
	財務部 営繕課		全 226 葉

案内図



図面リスト

図番	図面名	図番	図面名
	※別紙図面リストによる		

工期

●本工事は、発注者が週休２日に取り組むことを指定する週休２日制工事（発注者指定方式）である。

●本工事は、浦安市建設工事フレックス工期契約制度を適用する工事である。
　なお、当該制度の取扱いについては、「浦安市建設工事フレックス工期契約制度実施要領」のとおりとする。
(1) 工事着手期限日（契約締結日から60日以内）
(2) 工期の終期日（建設工事請負契約書に記載する工事の最終日）
(3) 留意事項
　ア 受注者は、工事着手日を明らかにするため、契約締結後、速やかに工事着手日通知書（第１号様式）を発注者に届けなければならない。
　イ 契約締結日の翌日から工事着手日の前日までの間は、建設業法（昭和24年５月24日法律第100号）第26条に基づく主任技術者又は監理技術者の設置を要しない。
　ウ 契約締結日の翌日から工事着手日の前日までの間は、建設工事請負契約書第10条に基づく現場代理人の設置を要しない。
　エ 工事着手日の前日までの間は、現場施工（現場事務所等の設置、資機材等の搬入又は仮設工事等）を行ってはならない。
　オ 前払金は、工事着手日の10日前までは請求できない。

工事概要

（仮称）子ども・子育て支援複合施設整備事業建築工事

関連工事
⊙（仮称）子ども・子育て支援複合施設整備事業電気設備工事
⊙（仮称）子ども・子育て支援複合施設整備事業機械設備工事
⊙（仮称）子ども・子育て支援複合施設整備事業外構工事
⊙（仮称）子ども・子育て支援複合施設整備事業植栽工事

特記事項

⊙ 近隣住民及び通行人の安全確保に十分に留意すること。

⊙ 本工事は日の出公民館との接続があるため、施設利用者、職員及び第三者への安全確保に努めながら、運営に支障がないよう工事を行うこと。

⊙ 振動、騒音を計測装置により測定を行いデータを管理し、記録の提出を行うこと。

一般共通事項

項　目		特　記　事　項
特.1.1	適用範囲	⊙本工事は、1.質疑回答書 2.特記仕様書 3.図面 4.国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書及び同公共建築改修工事標準仕様書（以下、「標準仕様書」という。）により、工事を行う。
特.1.2	工期	⊙契約締結日の翌日から令和10年12月15日まで。 ~~ただし、**月**日までに工事完了し、使用できるように中間検査を完了させること。~~
特.1.3	工事作業時間	⊙原則として8:00～18:00とするが、作業日も含めて担当課と調整の上、詳細決定するものとする。
特.1.4	作業休日	⊙原則として土曜日、日曜日及び祝日とする。
特.1.5	工事場所の環境	⊙工事場所：浦安市日の出四丁目１番１及び７ ⊙工事車輌の駐車及び資材置き場等は工事範囲敷地内で計画すること。
特.1.6	公害防止	⊙工事に伴う公害防止のため、施工方法、機械施設、作業時間等の制限は浦安市環境保全条例による。
特.1.7	安全対策	⊙施設利用者・関係者に十分配慮した安全計画とすること。 ⊙工事車輌の出入が多い場合には、必要に応じ適宜、交通誘導員を出入口付近に配置し、第三者の安全を図り、事故の完絶を計ること。
特.1.8	工事用道路	⊙仮設道路を整備する。幅員3.5m、延長 57.0m ・砕石敷き⊙鉄板敷き
特.1.9	仮囲い	⊙仮設計画図（参考図）を基本とする。 ⊙万能鋼板(H=3,000)修景に配慮した物とする。　延長※仮設計画図参照 ~~・B型バリケード(H=1,800)程度とする。　延長　m~~
特.1.10	工事内容掲示板の設置	⊙工事契約後直ちに工事内容の掲示板を作成し、正面道路に面して見やすい位置に掲示する。 （建設業の許可票・労災保険関係成立票・作業主任者・緊急時連絡表 建築基準法による確認表示板・施工体系図・下請負人に対する通知 建設業退職金共済制度適用事業主の現場標識・石綿則関連標識） ⊙掲示内容その他については監督職員の指示による。
特.1.11	残土・産業廃棄物の処理	⊙資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建設副産物適正処理推進要綱、その他関係法令に従い適切に処理し監督職員に報告する。
特.1.12	諸官公署による指導	⊙諸官公署による指導は本工事に含むものとする。
特.1.13	光熱水費等	⊙竣工引渡しまでの期間の基本料金及び使用料金は本工事に含むものとする。 ~~・本施設のものを無償にて使用してよいがその量が著しく多くなる場合はこの限りではない。~~
特.1.14	受電に伴う主任技術者の立会い	⊙受電に伴う主任技術者の立会費及び申請関係等は一式本工事に含むものとする。
特.1.15	経年検査	⊙工事完成後、請負者は契約書に準ずる期間は、保証の責に任ずる。 竣工引渡し後12ヶ月かつ24ヶ月には建築･設備全般について経年検査を行う。 立会者：請負者各工事担当者・主任技術者
特.1.16	環境に対する配慮	⊙建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第11条の規定に該当する場合は、必要な措置を講ずること。 ⊙施工機械については、低騒音型(超低騒音型含む)機種を使用し、必要な申請を行うこと。 ⊙使用材料については、積極的に再生材料を使用し、再利用できるものについては、これを再利用に供する。 ⊙AS・CO等の廃材については、積極的に再利用に務め、再利用及び処理方法については監督職員に承諾を受ける。

項　目		特　記　事　項
特.1.17	建物解体に関する法令の遵守	⊙本工事施工において、建物の撤去解体を行う際には石綿障害予防規則・建設ﾘｻｲｸﾙ法・労働安全衛生法・大気汚染防止法・その他法令を遵守し、必要な措置を講ずること。
特.1.18	浦安市検査監理課による検査	⊙本工事施工において、請負者は浦安市検査監理課の指示に従い工事完了後、検査を受検すること。 ⊙請負者は工事の中間検査、出来形検査、完了検査については現場代理人、監理技術者及び主任技術者等を同席させること。
特.1.19	契約時に提出する書面	⊙以下に示す工事に該当する場合において建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第11条及び第13条に基づく書面を契約書とともに提出すること。 （１）建築物解体:延べ面積　80㎡以上 （２）建築物新築・増築:延べ面積　500㎡以上 （３）建築物修繕・模様替え:　請負代金　1億円以上 （４）土木工事等:請負代金　500万円以上
特.1.20	設計変更等	⊙設計変更等については、約款第18条から第26条に記載しているが、その具体的な考え方や手続きについては、「建設工事請負に係る設計変更等ガイドライン令和4年4月」（浦安市）によること。
特.1.21	LED照明器具の採用について	⊙JIS C7550：2011 4.4リスクグループ分類内の免除グループのLED器具であること。
特.1.22	フロン排出抑制法の遵守	~~・空調用エアコン及び冷凍冷蔵機器等、フロン類を使用する機器で「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律」において定められた「第一種特定製品」に該当する機器を設置する場合は、一般財団法人 日本冷媒・環境保全機構（JRECO）が運営する冷媒管理システム「RaMS」における機器管理番号シールの購入・貼付、機器の基本的な情報の入力や設置時追加充填量の入力を行うこと。~~ ~~・フロン類を修理等により再充填する場合は、システムの整備記録簿に入力すること。~~ ~~・機器を撤去する場合は、システム内で回収依頼書を代行入力し送付すること。その後、フロン回収証明書、フロン破壊・再生証明書の提出をシステム内で行うこと。~~ ~~・なお、機器管理番号シールの購入や回収依頼書の発行、システムへの登録の費用は請負者の負担とすること。~~
1.1.1	標準仕様書の適用範囲	⊙標準仕様書の通りとする。
1.1.2	用語の定義	⊙標準仕様書の通りとする。
1.1.3	官公署その他への届出手続等	⊙標準仕様書の通りの他、事前に届出の有無を確認し、速やかに手続きを行い工程の遅れのないようにする。 ⊙手続きの費用は請負者の負担とする。
1.1.4	工事実積情報の登録	⊙標準仕様書の通りの他、登録内容について承諾を受けた後、期間内に登録の手続きを行う。 （請負額が500万円以上の工事について受注・変更・竣工登録を行う）
1.1.5	書類の書式等	⊙標準仕様書の通りの他、次の通りとする。 ⊙設計図書は、主要な部位・事項についての設計意図を示すものであり必ずしも工事の完成に必要なすべての情報を網羅するものではない。 ⊙受注者は、設計図書等に示された情報をもとに、製造者等の特定を経て、工程や下地等を考慮の上、生産設計、製作、施工を行い、工事の適切な遂行と完成に必要なものを供給する。 ⊙所管公署による指導は本工事に含むものとする。
1.1.6	別契約の関連工事	⊙標準仕様書の通りの他、次に挙げるものとする。 Ａ．別途工事との調整に当たって、監督職員より指示のある場合はこれに従う。 Ｂ．本工事と別途工事の工事区分は設計図書に示す。 但し同項に記載なくも工事を完成するために当然必要な工事及び材料は本工事に含む。
1.1.7	設計図書等の取扱い	⊙標準仕様書の通りとする。

工事名称	（仮称）子ども・子育て支援複合施設整備事業建築工事		図面番号 A-001
図面名称	浦安市工事特記仕様書（１）	縮尺(A1)	－
担当課	生涯学習部　生涯学習課	工事番号	08-01
	健康こども部　こども課		通し番号 2
	財務部　営繕課		全 226 葉

項目		特記事項
1.1.8	疑義に対する協議等	⊙標準仕様書の通りとする。
1.1.9	工事の一時中止に関わる事項	⊙標準仕様書の通りとする。
1.1.10	工期の変更に係る資料の提出	⊙標準仕様書の通りとする。
1.1.11	特許権等	⊙標準仕様書の通りとする。
1.1.12	文化財その他の埋蔵物	⊙標準仕様書の通りとする。
1.1.13	関係法令等の遵守	⊙標準仕様書の通りとする。
1.2.1	実施工程表	⊙標準仕様書の通りとする。
1.2.2	施工計画書	⊙標準仕様書の通りとする。
1.2.3	施工図等	⊙標準仕様書の通りの他、次に挙げるものとする。 ⊙施工図の製作は円滑に行うこと。また施工図を製作後速やかに関連する設備担当者と打合せ、遺漏のないことを確認した後、監督職員へ提出し、承認を受けること。 ⊙承認期限は工事着工の約７日前に承認を受けること。
1.2.4	工事の記録	⊙標準仕様書の通りとする。
1.2.5	工程会議及び工程表	⊙請負者は週間工程、月間工程を作成すると共に、週１回の割り当て日を定め、関係者全員による工程会議を行いお互いにそれぞれの事項を確認し合うこと。
1.2.6	提出書類等の様式	⊙工事に関する各種書類の形式及び体裁は、浦安市営繕工事書類作成の手引きによる。
1.2.7	提出書類	Ａ．着工時 １．現場代理人・主任技術者・監理技術者届　２部 ２．全体工程表　３部 ３．設計図面製本・設計図書縮小版　４部 ４．総合仮設計画　１部 Ｂ．工事中（監督職員の指示による。） １．工事工程表（月間・週間）　１部 ２．工事打合せ議事録（質疑回答書・指示書）　１部 ３．工事記録写真　１部 ４．検査願・立会検査結果　１部 ５．工事使用材料承諾願　１部 ６．施工計画書（各工種）　１部 ７．下請業者リスト　１部 ８．製造業者リスト　１部 ９．産業廃棄物処理計画書　１部 １０．施工図及び製作図承諾願　１部 １１．工事進捗状況報告書　１部 Ｃ．検査時（工事中提出書類の報告書の他、次に挙げるものとする。） １．使用材料品質証明報告書　１部 ２．産業廃棄物処理報告書　１部 ３．工事完成図報告書　１部
1.2.8	色、柄等の指示	⊙監督職員により決定したものを色見本帳として作成し、提出する。
1.3.1	施工管理	⊙標準仕様書の通りとする。
1.3.2	施工管理技術者	⊙標準仕様書の通りとする。
1.3.3	電気保安技術者	⊙標準仕様書の通りの他、次に挙げるものとする。 ⊙工事現場におく電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。 ⊙要　　-:不要
1.3.4	工事用電力設備の保安責任者	⊙標準仕様書の通りとする。
1.3.5	施工条件	⊙標準仕様書の通りの他、次に挙げるものとする。 ⊙工事用車両の駐車場所　※図示 ⊙資機材置き場　※図示 ⊙建設発生土仮置場　※図示
1.3.6	品質管理	⊙標準仕様書の通りとする。
1.3.7	施工中の安全確保	⊙標準仕様書の通りの他、次に挙げるものとする。 ⊙工事の着手に際し、総括安全監理責任者を定め、工事場に出入りする下請業者それぞれの安全責任者を統合した安全委員会を組織し、工事に携わる全ての職員・作業員を対象に随時安全教育を行うなどして現場内の保全対策を周知せしめ、工事場内を常に安全に保つための努力を怠らぬように注意する。 また、工事場の労務者その他出入りの管理・風紀衛生の取締に十分注意する。 また、休務日の安全管理に十分注意する。 大型資材搬入時、道路掘削工事・大型車輌使用工事等の際には交通整理員を配置し車輌の整理を行い、事故の完絶を図ること。特に学校・幼稚園等が付近にある場合は十分な安全対策を行うこと。
1.3.8	交通安全管理	⊙標準仕様書の通りの他、次に挙げるものとする。 ⊙工事により生ずる各種公害は極力これを防止するように努める。特に騒音･振動･塵埃については注意し必要に応じ周辺住民町内会あるいは事業所等と工程・作業時間・道路使用等の事前打合わせをするなどして、工事の円滑な進捗を計るものとする。日曜・祝日は原則として休務日とする。 特に騒音･振動を伴う作業は行ってはならない。 尚、浦安市環境保全条例及び指導に従い工事を行う。
1.3.9	災害時の安全確保	⊙標準仕様書の通りとする。
1.3.10	施工中の環境保全等	⊙標準仕様書の通りとする。
1.3.11	発生材の処理等	⊙標準仕様書の通りの他、次に挙げるものとする。 ⊙場外搬出適切処理。 ⊙市に引き渡す発生材は発生材調書と共に引渡す。 ⊙監督職員の指示により処理。 ⊙発生材の処理の運搬処分地等は関係法令等に従いこれを行う。 ⊙処分に当たりその通行経路・運搬台車・処分地等の計画書を監督職員へ提出し、承諾を受ける。
1.3.12	養生	⊙標準仕様書の通りとする。
1.3.13	後片付け	⊙標準仕様書の通りとする。
1.3.14	各種保険	⊙請負者は、労働者災害補償保険等、法律によって定められた保険に加入する他、請負者が必要と考える各種保険(火災保険・賠償責任保険等)に加入すること。 請負者は自己の責任をもって監督職員の承諾する妥当な金額の各種保険を付し、その写しを提出する。
1.3.15	周辺環境の調査及び管理	⊙工事着手に先立ち、周辺民家･事業所等の建物及び公園用地の現状を出来得る限り調査し、将来損害補償要求の提起せられる恐れがあると予見できる箇所等は、写真撮影などしておく。ただし、調査にあたりいたずらに人心を刺激することのないように十分に配慮する。 ⊙工事期間中も定期的に調査すること。 ⊙特に土工事完了までは周辺地盤の沈下に対して厳重に管理を行う。 ⊙工事による隣地･公道及び既存排水溝への損傷は請負者の負担によってすみやかに復旧すること。
1.4.1	環境への配慮	⊙標準仕様書の通りの他、次に挙げるものとする。 ⊙構造材、仕上材、造作材、塗装材、下地材、断熱材、緩衝材、家具材等及び加工(接着剤含む)に使用する材料は、特記なき限りﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾃﾞﾋﾄﾞに関する規制対象外建材(F☆☆☆☆又は大臣認定品)とする。変更によりF☆☆☆以下の材料を使用する場合は、関係法令を遵守し、監督職員の承諾を得ること。
1.4.2	材料の品質等	⊙標準仕様書の通りの他、次に挙げるものとする。 ⊙本工事に使用する材料は、設計図書に定める所要の品質及び性能を有するものとし、JIS又はJASのマーク表示のない材料及びその製造者等は、次の(1)～(6)の事項を満たすものとする。 (1)品質及び性能に関する試験データが整備されていること (2)生産施設及び品質の管理が適切に行われていること (3)安定的な供給が可能であること (4)法令等で定める許可、認可、認定、免許等を取得していること (5)製造又は施工の実績があり、その信頼性があること (6)販売、保守等の営業体制が整えられていること なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関((社)公共建築協会等)が発行する「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」の評価書の写しを、監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。 ⊙建築材料の製造所･製品及び施工業者などは、特記された物、又は同等品以上とし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。 ⊙標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。ただし、資料を提出し、監督職員の承諾を受ける。
1.4.3	材料の搬入	⊙標準仕様書の通りとする。
1.4.4	材料の検査等	⊙標準仕様書の通りとする。
1.4.5	材料の検査に伴う試験	⊙標準仕様書の通りの他、次に挙げるものとする。 ⊙検査･試験に必要な経費は全て請負者の負担とする。
1.4.6	材料の保管	⊙標準仕様書の通りとする。
1.5.1	施工	⊙標準仕様書の通りとする。
1.5.2	技能士	⊙標準仕様書の通りの他、適用については次に挙げるものとする。 ⊙下記表中○印の工種について適用する　・適用しない

適用工事種類	技能検定作業
仮設工事	⊙とび作業
鉄筋工事	⊙鉄筋組立て作業
ｺﾝｸﾘｰﾄ工事	⊙型枠工事作業 ⊙ｺﾝｸﾘｰﾄ圧送工事作業
鉄骨工事	⊙構造物鉄鋼作業　⊙とび作業
ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ・ALCﾊﾟﾈﾙ・⊙押出成形ｾﾒﾝﾄ板工事	・ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ工事作業 ・ALCﾊﾟﾈﾙ工事作業
防水工事	⊙ｱｽﾌｧﾙﾄ防水工事作業 ⊙ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系塗膜防水工事作業 ・ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系塗膜防水工事作業 ・合成ｺﾞﾑ系ｼｰﾄ防水工事作業 ⊙塩化ﾋﾞﾆﾙ系ｼｰﾄ防水工事作業 ・ｾﾒﾝﾄ系防水工事作業 ⊙ｼｰﾘﾝｸﾞ防水工事作業 ・改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄﾄｰﾁ工法防水工事作業 ・FRP防水工事作業
石工事	・石張り作業
ﾀｲﾙ工事	⊙ﾀｲﾙ張り作業
木工事	⊙大工工事作業
屋根及びとい工事	⊙内外装板金作業
金属工事	⊙鋼製下地工事作業　⊙内外装板金作業
左官工事	⊙左官作業
建具工事	⊙ｻﾋﾞﾙ用ｻｯｼ施工作業　⊙ｶﾞﾗｽ工事作業 ⊙自動ﾄﾞｱ施工作業
ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ工事	⊙金属製ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ工事作業 ⊙ｻﾋﾞﾙ用ｻｯｼ施工作業　⊙ｶﾞﾗｽ工事作業
塗装工事	⊙建築塗装作業
内装工事	⊙ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ系床仕上げ工事作業 ⊙ｶｰﾍﾟｯﾄ系床仕上げ作業 ⊙ﾎﾞｰﾄﾞ仕上工事作業　⊙壁装作業
排水工事	⊙建築配管作業
舗装工事	・溶融ﾍﾞｲﾝﾄﾊﾝﾄﾞﾏｰｶｰ工事作業 ・加熱ﾍﾞｲﾝﾄﾏｼﾝﾏｰｶｰ工事作業
植栽工事	・造園工事作業

項目		特記事項
1.5.3	技能資格者	⊙標準仕様書の通りとする。
1.5.4	一工程の施工の確認及び報告	⊙標準仕様書の通りとする。
1.5.5	施工の検査等	⊙標準仕様書の通りとする。 ⊙検査･試験に必要な経費は全て請負者の負担とする。
1.5.6	施工の検査等に伴う試験	⊙標準仕様書の通りとする。
1.5.7	施工の立会い等	⊙標準仕様書の通りとする。
1.5.8	工法の提案	⊙標準仕様書の通りとする。
1.5.9	化学物質の濃度測定	⊙施工完了時及び部分使用引渡しに先立ち、室内空気中の揮発性有機化合物の濃度を測定し、監督職員に報告すること。 測定物質は、次による。 ~~・学校施設　ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、パラジクロロベンゼン、エチルベンゼン、スチレン~~ ⊙その他　ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン その他、濃度測定箇所・方法等については監督職員の指示による。
1.6.1	工事検査	⊙標準仕様書の通りとする。
1.6.2	技術検査	⊙標準仕様書の通りとする。
1.7.1	完成時の提出図書	⊙整理箱にて納品すること。 (参考品番)積水ﾌｧ/成型株式会社　S-54-Ⅱ、ﾌｧS-54 (上記以外の整理箱を使用する際は監督職員の承認を得ること。)
1.7.2	完成図	⊙標準仕様書の通り他、次に挙げる竣工図書を引渡しと共に提出する。 ~~Ａ．竣工図２つ折り製本（白焼）　１部~~ Ｂ．竣工図２つ折り製本縮小版（白焼）　３部 ~~Ｃ．施工図２つ折り製本（白焼）　１部~~ Ｄ．竣工引渡書　１部 Ｅ．竣工図PDF・CADﾃﾞｰﾀ(浦安市指定ﾌｫｰﾏｯﾄによる。)　１部 ※竣工図作成において工事中の設計変更による図面修正を含むものとする。 Ｆ．浦安市工事検査提出図書一式（決裁を受けたもの。）　１部
1.7.3	保全に関する資料	⊙標準仕様書の通りの他、次に挙げるものとする。 ⊙長期保全計画書を作成し提出する。
1.7.4	記録	⊙工事記録写真及び竣工写真の作成は、次の通りとする。 Ａ．工事着手前の状況写真（Ｌ判）　１部 Ｂ．工事状況写真　（Ｌ判）　１部 ※上記写真作成は、浦安市工事写真管理基準及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 工事写真の撮り方（建築編・建築設備編）による。 Ｃ．竣工写真(金文字黒表紙)1部、PDFﾃﾞｰﾀ1部 ~~※カラー写真とし、各面の外観(夜景１面)、内観各室１カット程度を監督職員の指示に従って、監督職員の承諾する撮影業者に撮影させること。~~ ※カット数等は特記仕様書による。

※図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、すべて以下による。

- 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　公共建築工事標準仕様書(建築工事編)　(最新版)
- 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　建築工事監理指針　(最新版)
- 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)　(最新版)
- 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　電気設備工事監理指針　(最新版)
- 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)　(最新版)
- 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　機械設備工事監理指針　(最新版)
- 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)　(最新版)
- 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)　(最新版)
- 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)　(最新版)
- 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　公共建築木造工事共通仕様書　(最新版)
- 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　建築物解体工事共通仕様書　(最新版)

工事名称	（仮称）子ども・子育て支援複合施設整備事業建築工事	図面番号 A-002
図面名称	浦安市工事特記仕様書（２）	縮尺(A1) －
担当課	生涯学習部　生涯学習課	工事番号 08-01
	健康こども部　こども課	通し番号 3
	財務部　営繕課	全 226 葉

1.1 一般事項

石綿等の取扱については、大気汚染防止法（以下「大防法」という。）廃棄物処理法、労働安全衛生法、石綿障害予防規則（平成17年2月24日厚生労働省令第21号）（以下「石綿則」という。）その他石綿処理に関する諸法令等を遵守すること。 〈標準9.1.1〉〈共通6.1.1～2〉

この特記仕様書に記載されていない事項は「建築物解体工事共通仕様書」、「公共建築改修工事標準仕様書」等による。（各最新版）

この工事は設計図書に従い施工するが、設計図書に明示されていない事項でも工事の性質上当然必要なものは監督職員の指示に従い施工する。

1.2 発注者からの情報

石綿則第8・9条に基づき、発注者は石綿に関する下記情報を受注者に提供するとともに法令に基づく調査への配慮をするものとする。

⊙竣工図面 ⊙工事書類（過去実施） ⊙石綿含有調査報告書

1.3 事前調査

石綿則第3条、大気法第18条により、事前調査を実施すること。

また、分析による石綿含有の調査を行う場合は、「建材中の石綿含有率の分析方法について」（平成18年8月21日基発第0821002号、最終改正令和3年12月22日基発1222第17号）に基づく方法（下記）による。

〈標準1.5.1〉〈共通6.1.3〉

⊙JISA1481-1または2の「アスベスト定性分析」によるものとする。

1.2の「発注者からの情報」以外に、分析調査等が必要となった場合は、事前に監督職員に報告し、協議すること。

調査の結果、設計図書と異なる場合は、監督職員と協議すること。

1.4 調査結果報告・届出

調査結果は、図面等に記録し、書面により監督職員に報告すること。

また、各法の工事内容・規模等に応じて、必要な届出・報告を各法の定める期限内に遅滞なく行うこと。 〈標準1.5.1〉〈共通6.1.3〉

1.5 石綿粉じん濃度測定

石綿粉じん濃度測定の適用、測定方法、測定時期、測定場所及び測定箇所は下記による。 〈標準9.1.1(5)〉〈共通6.1.4〉

測定方法は、「JIS K 3850-1 空気中の繊維状粒子測定方法ー第1部ー：光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」による位相差、分散顕微鏡法による。

⊙測定時期・測定場所・測定点は下記のとおりとする。

適用	測定名称	測定時期	測定場所（注１）	測定点	室名等
⊙	測定１	処理作業前	処理作業室内	２点	
⊙	測定２		施工区画周辺又は敷地境界	２点	
⊙	測定３	処理作業中	処理作業室内	２点	
⊙	測定４		セキュリティゾーン入口（空気の流れを確認）	１点	
⊙	測定５		負圧・粉じん装置の排出吹出口（除じん装置の性能確認）	１点	
⊙	測定６		施工区画周辺又は敷地境界	４方向各１点	
⊙	測定７	処理作業後シート撤去前	処理作業室内	２点	
⊙	測定８		施工区画周辺又は敷地境界	２点	
⊙	測定９	処理作業後シート撤去後	処理作業室内又は敷地境界	４方向各１点	
測定点総計				20点	

注1：監督職員と協議し決める。

なお、事前調査の結果及び新たな箇所で石綿含有物の撤去が必要となった場合は、上記測定内容を監督職員と協議すること。

~~・測定時期・測定場所・測定点は別紙図~~のとおりとする。

（例）アスベスト粉じん濃度測定方法

	測点３	測点１，２，４，６，７，８	測点５
数計機器	位相差・分散顕微鏡		
メンブレンフィルタの直径	２５㎜		４７㎜
試料の吸引流量	１Ｌ／min	５Ｌ／min	１０Ｌ／min
試料の吸引時間	5min	１２０min	２４０min
試料の透明化	アセトン固定ー有機物灰化ー屈折率浸液法		
計数条件	総合倍率４００倍、アスベスト繊維総数、通常５０視野		
計数アスベスト	長さ５μm以上、幅３μm未満 アスペクト比（長さ／幅）３以上		
定量限界	５０本／Ｌ	０．４７本／Ｌ	０．３本／Ｌ

記録する項目

ア．測定結果

イ．測定時間

ウ．測定位置（測定高さとともに図面上に記載する。）

エ．サンプリング条件

（メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量）

オ．マウンティング法

カ．顕微鏡視野面積、計数視野数

キ．測定時（各測定場所ごと）の

天候、温度、湿度、外気の風速及び風量

1.6 除去工事共通事項

測定機関

都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とし、施工計画書に記載し、報告すること。

事前に「建築物解体工事共通仕様書」及び「石綿則」に定められた内容を_盛り込んだ施工計画書及び工事に相応した技術を有することを証明する資料(建築物解体工事共通仕様書6.2.1)を監督員に提出し、承諾を得た後に_施工を行なうこと。_

専門工事業者 〈標準9.1.2(1)〉〈共通6.2.1〉

石綿含有建材の除去を直接行う専門工事業者については、工事に相応した技術を有することを証明する書類を監督職員に提出する。

石綿作業主任者 〈標準9.1.2(2)〉〈共通6.2.2〉

石綿則に基づき、石綿作業主任者を選任する。

石綿作業主任技能講習修了者又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者技能講習修了者とする。

除去作業者の教育 〈標準9.1.2(3)〉〈共通6.2.3〉

作業者は、石綿則に基づく特別の教育を受けた者とする。

なお、一般健康診断、石綿健康診断及びじん肺健康診断を受診した者とし、肺機能に異常のない者とする。

特別管理産業廃棄物管理責任者の選出 〈標準9.1.2(4)〉〈共通6.2.4〉

産業廃棄物処理法に基づき、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有するものを配置する。ただし、石綿含有整形板の除去工事を除く。

施工区画 〈標準9.1.2(5)〉〈共通6.2.5〉

石綿含有建材の除去に当たり、直接除去を行う区域（場所）、前室、洗身室及び更衣室の3室で構成する廃棄物保管場所等で、除去工事に直接又は間接に関係する箇所の区画を行う。

表示及び掲示 〈標準9.1.2(6)〉〈共通6.2.6〉

※作業場等の見やすいところに掲示するもの

※喫煙及び飲食の禁止並びに関係者以外立入禁止

※石綿作業主任者の氏名及びその者に行わせる事項

※石綿含有建材の有無の事前調査結果の概要

※石綿を取り扱う作業場であること（石綿有の場合）

※石綿の人体に及ぼす作用

※石綿取扱い上の注意事項及び使用すべき保護具

※運搬又は保管する場合の容器等に石綿であること及び取扱注意事項

※労働者及び周辺住民の見やすいところに掲示するもの

※「建築物等の解体等の作業に関するお知らせ」

（特定粉じん排出等作業を行う場合は届出の内容を上記に追記する）

※公衆が見やすいところに掲示するもの

※石綿含有建材の有無の事前調査結果の概要

保護具等 〈標準9.1.2(8)〉〈共通6.2.7〉

石綿則に基づき、作業内容に応じた、呼吸用保護具（半面系は保護めがね又はフードを併用）を使用すること。

保護衣・作業衣 〈標準9.1.2(9)〉〈共通6.2.8〉

石綿則に基づき、保護衣又は作業衣を使用する。ただし、隔離空間で作業する場合は、保護衣を使用する。

保護衣はJIS T 8115（化学防護服）の浮遊固体粉塵防護用密閉服（タイプ5）同等品以上のものとし、原則使い捨てのものとする。

作業衣は、石綿が付着しにくく、服内部に侵入しにくいものとする。

1.7 作業計画

石綿解体工事開始前に作業計画を作成し、監督職員の承認をえること。

石綿解体ﾚﾍﾞﾙ1・2は法に基づき、関係省庁に計画届等を届出すること。

1.8 保管、運搬及び処分

一定の場所に、他の建設副産物と分別保管し、シートで覆うなど飛散防止処置を講ずる。また、保管場所の表示（内容）をする。なお、廃棄物処理法の「特別管理産業廃棄物保管基準」に基づき、保管すること。

運搬及び処分を委託する場合は、委託契約書及びマニュフェストに、必要事項を記載すること。（吹付け材及び保温材は、固形化又は安定化の方法、廃石綿等込を、成形板は石綿含有廃棄物込を記載）

隔離養生に用いたｼｰﾄ、使用した使い捨て保護衣等、高性能真空掃除機ﾌｨﾙﾀｰ、粉じんﾌｨﾙﾀｰ等は粉じんが飛散しないようにし、ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ袋(0.15㎜以上、二重梱包)に密封する。

運搬車及び運搬容器は、飛散及び流出のおそれがないものとし、荷台に覆いをかけるなどの飛散防止措置を講ずること。

1.9 石綿含有吹付け材の除去

廃棄する石綿含有物により、中間・最終処分場に運搬し処分すること。

集積及び積込に当たっては高所より投下しないことの他、粉じんの飛散防止に努めること。

また、成形板は原形のままﾌﾟﾗｽﾁｯｸｼｰﾄにて梱包するか、原形のまま入れることの出来る十分な大きさ且つ丈夫なﾌﾟﾗｽﾁｯｸ袋(厚0.15㎜以上)等に入れるなど飛散防止等の処置を講じる。やむを得ず破損した成形板の廃材は湿潤化のうえ、丈夫なﾌﾟﾗｽﾁｯｸ袋(厚0.15㎜以上)等に入れ飛散防止の処置を講じること。

除去した石綿含有物等を現場に保管する場合は一定の保管場所を定め他の廃棄物と分別して保管するものとし、ｼｰﾄで覆う等飛散防止の処置を講ずること。

〈標準9.1.2(7)・9.1.3(3)・9.1.4(3)・9.1.5(3)・9.1.6(4)〉

〈共通6.3.3・6.4.4・6.5.4〉

石綿含有吹付け材の除去工事 ・行う ⊙行わない

（適用範囲 ）

作業場等の隔離等 〈標準9.1.3(1)〉〈共通6.3.1〉

※ 作業場は以下によるものとし負圧除じん機にて負圧状態により飛散防止をすること。

隔離シートの性能

※ 床面	※ 0.15㎜以上のプラスチックシート等で二重
※ 壁面	※ 0.08㎜以上のプラスチックシート等

セキュリティーゾーンの設置 〈標準9.1.3(1)〉〈共通6.3.1〉

※ 下表による

適用	室名	状態	
※	更衣室		※ 更衣ロッカー ※ 新品の保護具 ※ 呼吸用保護具保管箱 ・ ※ 洗顔(眼)、うがい設備
※	洗身室	負圧	※ エアシャワー（温水シャワー） ・
※	前室	負圧	・ 高性能真空掃除機 HEPAﾌｨﾙﾀ付(同等性能可) ・ 使用済み保護衣保管かご

※上記、隔離シートの性能及びセキュリティーゾーンの設置の特例

（一財）日本建築センターの「建設技術審査証明事業」による「吹き付けアスベスト粉じん飛散防止処理技術（除去）」の審査証明書をを取得している工法と同等の飛散防止処理技術を有する工法とすることができる。その際には監督職員の承諾を得ること。

除去 〈標準9.1.3(2)〉〈共通6.3.2〉

石綿含有吹付け材に飛散抑制剤を散布し、湿潤化した後除去する。

また、飛散抑制剤の効果を確認し、除去すること。

除去終了後、残確認し、有れば再度湿潤化し撤去すること。

除去物及び汚染等 〈標準9.1.3(2)〉〈共通6.3.2〉

除去物を湿潤化又は固形化し、耐水性の材料で密封処理（二重袋梱包）すること。（隔離シート、使用済み保護衣、各フィルタ含む）

確認及び後片付け 〈標準9.1.3(4)〉〈共通6.3.4〉

除去作業及び清掃終了後、監督職員の立ち合いのもと確認すること。

隔離シートを撤去する前に付着物を除去し、室内の空気を吸引・ろ過し隔離内部の空気中の総繊維数濃度を測定し、確認後に撤去すること。

各機材、仮設材等も十分に清掃し、付着物を取除いた後撤去すること。

1.10 石綿含有保温材の除去

石綿含有保温材の除去工事 ・行う ⊙行わない

（適用範囲 ）

〈標準9.1.4〉〈共通6.4.1～3.5〉

基本、原形のまま、手ばらしとし、下記の項目を実施すること。

施工区画し、作業場所を隔離シートで覆い、場外への飛散防止を行う。

区画内の当該作業者以外の立入禁止とすること。

除去及び除去後の各作業については、1.9「石綿含有吹付け材の除去」に準ずること。

掻き落とし、破砕、切断による除去方法の場合にも1.9「石綿含有吹付け材の除去」に準ずること。

1.11 石綿含有成形板の除去

石綿含有成形板の除去工事 ・行う ⊙行わない

（適用範囲 ）

〈標準9.1.5〉〈共通6.5.1～3.5〉

基本、原形のまま、手ばらしとし、下記の項目を実施すること。

施工区画し、作業場所を隔離シートで覆い、場外への飛散防止を行う。

区画内の当該作業者以外の立入禁止とすること。

1.12 石綿含有仕上塗材の除去

作業場（内部）は隔離シートで囲むこと。仕様は1.9「石綿含有吹付け材の除去」と同様の性能のシートで囲むこととする。

石綿含有成形板の除去に先立ち、粉じん飛散抑制剤等を散布し、十分に湿潤化し、原型のまま、手ばらしすること。特に釘・ﾋﾞｽ周りを十分に湿潤化すること。また、除去作業中も石綿含有を常に湿潤な状態に保つため、必要に応じて粉じん飛散抑制剤等の吹付けを行うこと。

石綿含有成形板がくぎ・ﾋﾞｽ等により下地材に固定化されている場合は事前にくぎ・ﾋﾞｽ等を取り除き成形板に破損が及ばないように除去すること。

石綿含有成形板の除去作業は「手ばらし」とし、可能な限り破断を伴わない方法で行なうものとするが、やむを得ず破壊しなければならない場合は、必要に応じて粉じん飛散抑制剤等を吹付け、湿潤化した状態で作業を行なうこと。

除去終了後、残確認し、有れば再度湿潤化し撤去すること。

確認及び後片付け 〈標準9.1.5(4)〉〈共通6.5.5〉

除去作業及び清掃終了後、監督職員の立ち合いのもと確認すること。

各機材、仮設材等も十分に清掃し、付着物を取除いた後撤去すること。

石綿含有仕上塗材の除去工事 ⊙行う ・行わない

（適用範囲 ）

施工区画し、内部においては隔離シートも行うこと。（仕様1.11）

撤去方法は関係法令・技術指針等を遵守し、行うこと。

水洗工法を実施する場合は、使用した液体が飛散しないよう養生する他使用済みの液体を適切に回収すること。

〈標準9.1.6〉

特.1 施工記録報告書の提出

下記の書類を提出すること。

１．施工計画書（作業計画・産業廃棄物処理計画）

２．工事記録及び工事写真

３．産業廃棄物処理記録

４．事前調査結果報告書

５．法令に基づく官公庁等提出書類の写

６．作業者の作業記録、各種健康診断記録、安全衛生教育記録

７．粉じん濃度測定結果（測定時間、測定位置、使用機器の規格・仕様（サンプリング条件）、測定方法、測定時の気候（風速込）

８．その他必要事項

特.2 工事写真

写真の撮り方は「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修工事写真の撮り方」に従い下記の撮影箇所、撮影項目を行なうが、下記に明示していない場合監督員と協議して定める。

撮影箇所は石綿解体の除去対象部位ごとに下記の①～③を施工手順ごとに実施内容が確認できる写真として記録すること。

撮影項目

①除去工事前：除去前の対象部位及び粉じん飛散抑制剤等の吹付け状況が確認できる写真。

②除去工事中：除去作業のやり方がわかる写真。成形板の場合は、中くぎやﾋﾞｽ等を取り除く際に除去する成形板が破損しないように作業している状況が確認できる写真。

③除去工事後：除去後の当該部位の状況及び除去物の梱包状況が確認できる写真。

特.3 その他

・石綿解体工事は関係者以外が作業区画にはいらないように対策を講じた上で行ない、原則として一時的に施設を閉鎖するか、又は、利用者がいない時間帯に行なうものとする。

・学校及び児童福祉施設等での石綿解体工事を実施する場合は、原則として、解体対象が室内であれば作業場周辺、外部であれば敷地に児童生徒がいない日（土・日・祝祭日、施設の休日）に行なうものとする。

工事名称	（仮称）子ども・子育て支援複合施設整備事業建築工事		図面番号 A-003
図面名称	浦安市工事特記仕様書（３）	縮尺(A1)	–
担当課	生涯学習部 生涯学習課	工事番号	08-01
	健康こども部 こども課		通し番号 4
	財務部 営繕課		全 226 葉

建 築 工 事 特 記 仕 様 書

1. 敷地概要

所　在　地	浦安市日の出四丁目１番１及び７
用　途　地　域	近隣商業地域
防　火　地　域	準防火地域
地　域　地　区	第二種高度地区、建築基準法第22条区域、地区計画区域内（日の出、明海及び高洲地区地区計画）
基準　建ぺい率	80 ％　（角地緩和90％）
基準容積率	200 ％
敷　地　面　積	6,963.29㎡
工　事　種　別	・新築　　○増築　・改築　　○改修
用　途	複合施設（図書館、児童福祉施設等）

2. 工事概要

構　造　・　規　模	鉄骨造　地上２階
耐　火　種　別	耐火建築物
延　べ　面　積	2,690.72㎡
建　築　面　積	1,638.08㎡
最　高　高　さ	13.414m

3. 耐震安全性の分類

構　造　体	・Ⅰ類 ○Ⅱ類 ・Ⅲ類
建築非構造部材	・A 類 ○B 類
建　築　設　備	・甲類 ○乙類

注）「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説」表2.1、2.2を参照

4. 基準風速等

基　準　風　速	Vo＝34m/s（）
地表面粗度区分	・Ⅰ　　・Ⅱ　　○Ⅲ　　・Ⅳ
垂直積雪量	○30センチメートル　　・建告示第1455号 別表（　）による
ホルムアルデヒド放散量	F☆☆☆☆

5. 本特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて以下による。
(1) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和7年版）
(2) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和7年版）
(3) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和7年版）のうち昇降機設備工事
(4) 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修 公共建築木造工事標準仕様書（令和7年版）
(5) 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修 建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）
(6) 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修 建築工事標準詳細図（令和4年版）
(7) 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修 構内舗装・排水設計基準（平成27年版）
(8) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 建築工事監理指針（令和4年版）
(9) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 機械設備工事監理指針（令和4年版）のうち昇降機設備工事
(10) 官庁施設の総合耐震・対津波計画基準（平成25年版）
(11) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 営繕工事写真撮影要領（令和3年版）
　　工事写真撮影ガイドブック（平成30年版）

6. 特記仕様
(1)項目は番号の前に※及び○印のついたものを適用する
(2)特記事項の選択項目は○印のついたものを適用する
　○印のない場合は、※印のあるものを適用する。
　○印、※印 のある場合は、ともに適用する。（競合する場合は、○印のついたものを優先適用とする。）
(3)特記事項に記載の［ ］内表示番号は、公共建築工事標準仕様書 の当該項目、又は当該表を示す。
　［改修］と記載のある内容は、公共建築改修工事標準仕様書 の当該項目、又は当該表を示す。
(4)監督員がいない場合、特記事項中の監督員は監理者と読みかえる。

第１章　共通事項

項目	特記事項
※　設計図書	別冊の図面、仕様書（特記仕様書、標準仕様書）、現場説明書及び質問回答書
※　設計図書の優先順位 [1.1.1]	１.質問回答書　２.現場説明書　３.特記仕様書　４.別冊の図面　５.標準仕様書 の順とする。（質問回答書とは2～5までに対するものを云う。）
※　官公署その他への届出手続き等 [1.1.3]	官公署への申請・届出手続一覧表を作成し、監督員に提出する。 手続き費用は受注者負担とする。
○　工事実績情報システム（コリンズ）への登録 [1.1.4]	※登録する
※　火災保険等	受注者は、労働者災害補償保険等、工事請負契約約款及び設計図書に定められた火災保険等の損害保険に加入すること。また、その写しを監督員に提出する。
※　書面の書式及び取扱い [1.1.5]	(1)工事に関する各種書面の書式（提出部数を含む。）は下記による。 　○ 監督員と協議する (2)施工体制台帳及び施工体系図の写し 　※監督員に提出する　　・提出しない

工　事　種　別	工　期
○電気設備工事	建築工事と同様
○機械設備工事	建築工事と同様
○外構工事	未定
○植栽工事	未定
・　工事	～
・　工事	～

※　関連工事等の調整 [1.1.7]
(1)工事区分は工事区分表による。ただし、工事区分表に区分項目の記載がなくとも、本工事を完成するために当然必要な工事及び材料は本工事に含む。
(2)関連工事等との調整にあたって、監督員より指示のある場合はこれに従う。
　関連工事等の施工に協力するとともに、円滑な施工が行われるよう調整を行う。

・　遠隔臨場の実施 [1.1.14]　(1)遠隔臨場の適用：・行う　　○行わない

※　工程会議の開催 [1.2.1]
受注者は関連工事等の受注者と協議の上、月間工程、週間工程を作成するとともに、日時を定め、関係者全員による工程会議を行い、互いにそれぞれの事項を確認し合うこと。
　月間工程会議　○実施する　・実施しない
　週間工程会議　○実施する　・実施しない

※　総合図の作成
(1)施工図の作成に先立ち、すみやかに総合図を作成し、監督員の承諾を受ける。
(2)総合図は建築工事受注者が主体となって建築、設備、その他関連する業者と相互調整を行い、各工事に含まれる機器、部品、什器、備品の類を同一平面図（ビット図を含む。）、展開図、立面図、天井伏図、天井内図に網羅記入したものとする。
(3)縮尺は：50を標準とする。
(4)建築、設備工事受注者協議の上CADによる作成とする。
(5)作成予定は総合図等作成工程表に記載し、スケジュール管理を行うものとする。
(6)作成要領詳細は着工時に配布する「施工者用参考資料」の施工者留意事項3による。
(7)ビット総合図及び１階平面図には外構工事の内容も記載する。

※　施工図等の作成 [1.2.3]
(1)施工図作成専門者の現場常駐：※有（着工時点より　　名以上）　　・無
(2)施工図等は当該工事の施工に先立ち作成し、監督員の承諾を受ける。
　工事は当該施工図等の承諾を以って着手するものとする。
(3)施工図等の作成にあたっては、関連工事等の関係者と調整の上、納まり等について十分に検討する。
(4)作成CAD：　※2次元CAD　・3次元CAD（　　）
(5)施工図等の著作権にかかわる当該建築物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。

※　提出図書・書類 [1.2.4]
下記書類を遅滞なく提出する。
1. 工事請負契約に基づく関係書類
　［工事着手届］[現場代人等通知書（経歴書を含む）][社内組織表]
2. 総合施工計画書等
　[総合施工計画書][実施工程表][総合図リストと作成工程]
　[工程別施工計画書リストと作成工程][施工図リストと作成工程]
3. 業者選定届
　[下請負人通知書／下請負人一覧表]
　[主要（資材・機材）発注先通知書／製作製造所および発注先一覧表]
4. 設計変更
　[設計変更等協議一覧][設計変更等協議書][設計変更等の工事内訳書]
5. 工事報告書（月報）
　[工事報告書（月報）][主な工事記録][工事別工程および出来高予定グラフ]
　[工事出来高][工事進捗状況][工事進捗写真]
6. 総合図
7. 材料見本および仕上見本の一覧表
8. 工種別施工計画書
9. 施工図・製作図等
10. 月間工程表・週間工程表
11. 打合せ記録
12. 工程内検査記録（受入れ検査を含む）
　[検査結果報告書（試験成績報告書）]
13. 初期、中間及び完成自主検査記録
　[初期自主検査報告書][中間自主検査報告書][完成自主検査報告書]
14. 立会い検査記録
　[指導監督官庁等検査指摘事項記録および手直し報告書（中間・完成）]
　[（検査監理部）検査指摘事項記録および手直し報告書（初期・中間・完成）]
　[顧客完成検査指摘事項記録および手直し報告書]

※　電気保安技術者 [1.3.3]　○適用する　・適用しない

※　施工条件 [1.3.5]
工　時　間　：　平日 午前８：００～午後６：００を原則とする。
駐車場用地　：　※場内 ・場外指定場所 ○場外適宜確保
資　材　置　場　：　※場内 ・場外指定場所 ・場外適宜確保
原則となる施工時間外の施工については、監督員と協議し承諾を受ける。
○（近隣説地駐車場の一部を資材搬入経路として使用することが可能である。事前に施工計画を検討の上、監督員及び所有者と協議・承諾を得た上で使用すること。

※　施工中の安全確保 [1.3.7]
※工事の着手に際し、統括安全衛生責任者を定め、関連工事等の統括安全衛生責任者及び工事現場に出入りする下請負人それぞれの安全衛生責任者を統合した災害防止協議会を組織し工事に携わる総ての職員・作業員を対象に随時安全教育を行うなどして現場内の保全対策を周知徹底め、工事場内を常に安全に保つた め努力を怠らぬように注意する。また、工事場の労務者その他出入りの管理・風紀衛生の取締りに十分注意をする。また、休務日の安全管理に十分注意する。

※受注者は、災害、公害及び危険防止について、関係法規の定める所に従い充分な策を講じ工事を行う。他に損害を与えた場合の補修・補償は受注者の負担とする。又工事中に発生した公害及び近隣からの苦情に対しては受注者の責任において解決すること。

※　発生材の処理等 [1.3.11]
(1)発注者に引き渡しを要する発生材の有無：　○無　　・有（　　）
(2)特別管理産業廃棄物の有無　　：　・無　　○有（ｱｽﾍﾞｽﾄ）
(3)再利用及び再資源化を図る発生材の有無
　再利用　：　・無　　○有（発生土）
　再資源化：　○無　　・有（　　）
(4)その他の発生材　　：※場外搬出のうえ適切に処理　・場内に集積
(5)解体物等の廃材処分は、産業廃棄物処理業許可業者が行うこと。

○　既設部分取合い　既設建物と今回工事の取り合い部分で、ハツリ及び工事の都合などにより破損、損傷させた箇所は、既設仕上げと同材にて完全に修復すること。

※　技術検討委員会　着工後、監督員に指定された工種（外装材、防水、遮音等）について技術検討委員会を組織する。
技術検討委員会の会議体については監督員の指示を受ける。

※　材料 [1.4.2]　※材料、製品は全て新品とし、監督員に見本を提出しその承認を受ける。
　又、やむを得ない理由により指定材料等を変更したい場合は同等品以上とし、同等であることを証明する資料を提出し、監督員の承諾を受ける。

※　工場製品検査等　監督員と協議の上、必要と判断する部位は現場施工前に製品検査を行う。
費用（交通費、宿泊費）は発注者の負担とする。

※　特別な材料等を使用する工法　標仕に記載されていない特別な材料等の工法は、当該材料等の指定工法による。
ただし、事前に資料を提出し監督員の承諾を受ける。

※　色、柄等の指示　色、柄等を決定するために下記のものを現場に常備する。
　・DICカラーガイド（DICグラフィック）「日本の伝統色」（最新版）
　※日本塗料工業会 塗料用標準色（最新版）
　※各種製品サンプル
　※監督員の指示により、色彩一覧表（サンプルボード）を作成する。
　・色彩計画の決定に際して、OG（コンピューターグラフィック）による検討をする。

○　敷地周辺の調査及び安全対策　工事着手に先立ち、周辺民家、事業所等の建物及び道路、その他用地の現状を出来る限り調査し、将来損害補償要求の提起せられる恐れがあると予見できる箇所等は、写真撮影するなどおこなう。ただし、調査にあたりいたずらに人心を刺激することのないよう十分に配慮する。また、工事期間中も定期的に調査すること。特に土工事完了までは周囲地盤の沈下等の異状に対して厳重に管理を行う。また、工事中の安全対策として、下記の事項について適宜観測を行う。
　○降水量　○地下水位　・（　　）

※　技能士 [1.5.2]　通用工事種別：

工　事　種　別	技能検定の職種及び作業種別
○仮設工事	○とび(とび作業)
○鉄筋工事	○鉄筋施工(鉄筋組立て作業)
○コンクリート工事	○型枠施工(型枠工事作業)
	○ｺﾝｸﾘｰﾄ圧送施工(ｺﾝｸﾘｰﾄ圧送工事作業)
○鉄骨工事	○とび(とび作業)
・コンクリートブロック工事	・ブロック建築(コンクリートブロック工事作業)
・ＡＬＣパネル工事	・ALC(ｴｰｴﾙｼｰ)施工(ALC(ｴｰｴﾙｼｰ)工事作業)/単一等級
○防水工事	○防水施工(アスファルト防水工事作業)
	・　〃　(改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ)ｰﾄ工法防水工事作業)
	・　〃　(塩化ビニル系シート防水工事作業)
	・　〃　(合成ゴム系シート防水工事作業)
	○　〃　(ウレタンゴム系塗膜防水工事作業)
	・　〃　(アクリルゴム系塗膜防水工事作業)
	・　〃　(セメント系防水工事作業)
	・　〃　(ＦＲＰ防水工事作業)
	○　〃　(シーリング防水工事作業)
・石工事	・石材施工(石張り作業)
○タイル工事	○タイル張り(タイル張り作業)
○木工事	○建築大工(大工工事作業)
○屋根及び樋工事	・かわらぶき(かわらぶき作業)
	○建築板金(内外装板金作業)
	○配管(建築配管作業)
○金属工事	○内装仕上げ施工(鋼製下地工事作業)
	○建築板金(内外装板金作業)
○左官工事	○左官(左官作業)
○建具工事	○サッシ施工(ビル用サッシ施工作業)
	○自動ドア施工(自動ドア施工作業)
	○ガラス施工(ガラス工事作業)
○カーテンウォール工事	○金属性カーテンウォール工事作業
	○ガラス施工(ガラス工事作業)
○塗装工事	○塗装(建築塗装作業)
○内装工事	○熱硬繊施工(ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ樹質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱工事作業)
	○プラスチック系床仕上げ工事作業
	○カーペット系床仕上げ工事作業
	○木質系床仕上げ工事作業
	○ボード仕上げ工事作業
	○表装(壁装作業)
○排水工事	○配管（建築配管作業）
・舗装工事	・路面標示施工（溶融ﾍﾞｲﾝﾄﾊﾝﾄﾞﾏｰｶｰ工事）
	・路面標示施工（加熱ﾍﾞｲﾝﾄﾏｼﾝｶｰ工事）
・植栽工事	・造園(造園工事作業)

ただし、作業の一部が軽易な場合は、監督員の承諾を受けて省略する事ができる。

※　化学物質の濃度測定 [1.5.10]　※実施する　　・実施しない
測定対象化学物質の測定方法等：

化学物質名	指針値（両単位の換算は、25℃の場合による）	測定対象室	測定箇所数
○ホルムアルデヒド	100μg/m3(0.08ppm) 以下	※居室 ・	18箇所
○トルエン	260μg/m3(0.07ppm) 以下	※居室 ・	18箇所
○キシレン	200μg/m3(0.045ppm) 以下	※居室 ・	18箇所
○エチルベンゼン	3,800μg/m3(0.88ppm) 以下	※居室 ・	18箇所
○スチレン	220μg/m3(0.05ppm) 以下	※居室 ・	18箇所

測定方法は、（　※アクティブ　　・パッシブ）により行う。

※　技術検査 [1.6.2]　・技術検査の段階と実施回数 段階（　　）回数（　回）
※ 設計監理技術検査（以下、設計監理検査）
　設計監理検査の段階と実施回数は、原則、初期、中間及び完成段階の３回とする。
　ただし、検査の実施回数は建物規模や検査結果等により調整する。

※　設計図製本の提出　工事着手時に以下の設計図製本を監督員に提出する。
　原寸製本(A1-2つ折)　　※1部　・　部
　縮小製本(A3 2つ折)　　※4部　・　部

※　完成時の提出図書、完成図像全に関する資料 [1.7.1] [1.7.2] [1.7.3]
工事完成後下記を作成し提出する。部数は発注者用及び監理者用の合計部数とする。
（提出時期は監督員との協議による。）

種　類	体　裁		部数 発注者	部数 監理者
※ 完成図	※A1版　・ A2版　・ A3版		※1 部	
・ マイクロフィルム	ロールマイクロ			※1 部
※ 完成図	A1版二つ折り製本(打込み文字)		※1 部	
	A3版二つ折り製本(打込み文字)		※3 部	
	A3マイラー			
※ 完成図CADデータ	監督員の指定する図面(CD-R)	オリジナルデータ	※1 部	※1 部
		DXF、PDF変換データ	※1 部	※1 部
・ 完成BIMデータ	監督員の指定する図面(CD-R)	オリジナルデータ		
		IFC変換データ		
※ 施工図及び製作図	・A3版二つ折り製本(監督員の指定する施工図)			
	監督員の指定する図面(CD-R)	オリジナルデータ	※1 部	※1 部
		DXF、PDF変換データ	※1 部	※1 部
※ 施工計画書			※1 部	※1 部
※ 施工報告書	A4板各種試験成績書、検査報告書		※1 部	
※ 保全に関する資料	A4版クリアファイル		※2 部	
※ 取扱説明書			※2 部	
※ 関係官公署に提出した許認可届け又は　控え、写し	A4版クリアファイル		※1 部	
※ 保証書	A4版クリアファイル		※1 部	

完成図の種類 及び 配入内容は、監督員の指示による。
完成図は、設計図原図に現場説明一般事項・質問回答書及び工事完了までの打合せ事項を変更内容に基づき訂正し完成原図とし、原図（監督員の指定するファイルケースにて提出）及びCD-R又はDVDを提出すること。CD-R又はDVD1インチ刻む、スキャナーの場合、解像度300dpi、TIFF形式64任意とし、CADの場合はDWG形式(AutoCAD)又はDXF形式とする。
上記については機械設備・電気設備についてもまとめて提出する。
その他詳細は別途配布する「施工者用参考資料」による。

※　工事写真の内容　工事記録及び完成写真は、監督員の指示により撮影する。
(1)工事着手前の状況写真
　敷地及び隣接する構築物などの主な状況。
　　サービスサイズ・A4版ファイル綴じ　　：※1 部
(2)工事状況写真
　完成後外部から確認することが出来ない工事、または新しい工種を施工の都度撮影する。
　撮影は黒板に記録を記入して画面の中に写し込む。
　　サービスサイズ・A4版ファイル綴じ　　：※1 部
(3)工事月間報告書用写真
　毎月1回、工事進捗状況を報告書に添付する。
　　キャビネサイズ・サービスサイズ／工事報告書　：※1 部
(4)完成写真
　カラー写真とし監督員が承諾する専門のプロカメラマンの撮影による。
　（ITイメージング同等以上）
　※外観写真 20カット程度(キャビネまたは8っ切りサイズ)　※ドローン撮影含む
　※内観写真 50カット程度(キャビネまたは8っ切りサイズ)
　※指定カットは、家具・備品納入後撮影すること。
(5)その他資料
　・工事記録VTR(カラー・15分程度・解説入り)　　：※1 部
　・完成VTR(カラー・10分程度・解説入り)　　：※1 部
　・完成スライド(4と同じ内容)30カット程度　　：※1 部
　※完成写真(4 と同じ内容)はDVDにて納めること　　：※1 部
　※完成写真(現場員撮影)サービス版・全室・A4版ファイル綴じ　：※1 部
(6)工事写真の体裁及び提出部数

種　類	体　裁	写真サイズ	部数 発注者	部数 監理者
A.工事着手前の状況写真	建築主側の指示する書式	サービスサイズ	※1 部	
B.工事状況写真	同上	サービスサイズ	※1 部	
C.工事月間報告書用写真	同上 ドローン撮影による定点撮影	キャビネサイズ サービスサイズ	※1 部	
D.完成写真	別記	別記	※1 部	※1 部
E.完成写真データ	ＤＶＤ （含む平面図、計画概要）	主カット 4094×2894pixel その他カット 2894×2040pixel	※1 部	※1 部

注)D.完成写真は、平面図、計画概要をファイルに組み込むこと。
　（作成要領は指定の作成要領によることとし、監督員の指示による。）

※　工事の保証　※工事完成引渡し後、定められた保証期間内に材料の不良または施工の不備に起因する故障または破損を生じた場合には、速やかに修理又は交換を行う。その費用は受注者の負担とする。

※　経年検査の実施　工事完成後、発注者は、瑕疵担保期間、保証の責に任ずる。完成引渡し後12ヵ月目及び24ヵ月目には、建築、設備全般について経年検査を行う。検査の結果、工事不良又はこれに準ずる理由により生じたと認められる損傷又は不具合は監督員の指示により迅速て掌に修理する。これに必要な費用はすべて受注者の負担とする。
　立会者　※建物管理者
　　※各工事受注者
　　※監理者

※　設計CADデータ　※利用できる（ただし、完成時に完成図データとして提出すること。）　・利用できない

○　地質試験（土壌分析）　※下記項目を実施する（千葉県残土条例に 基づく30項目）

試験内容	名称	規格	数量
溶出試験	ｶﾄﾞﾐｳﾑ	地質分析（溶出試験）	1検体
	全ｼｱﾝ(ｼｱﾝ化合物)	地質分析（溶出試験）	1検体
	鉛	地質分析（溶出試験）	1検体
	六価ｸﾛﾑ	地質分析（溶出試験）	1検体
	ヒ素	地質分析（溶出試験）	1検体
	総水銀	地質分析（溶出試験）	1検体
	ｱﾙｷﾙ水銀	地質分析（溶出試験）	1検体
	ﾎﾟﾘ塩化ビﾌｪﾆｰﾙ(PCB)	地質分析（溶出試験）	1検体
	ｾﾚﾝ	地質分析（溶出試験）	1検体
	ｼﾏｼﾞﾝ	地質分析（溶出試験）	1検体
	ﾁｵﾍﾞﾝｶﾙﾌﾞ	地質分析（溶出試験）	1検体
	ｸﾛﾛｼﾞﾝ	地質分析（溶出試験）	1検体
	1-4-ｼﾞｵｷｻﾝ	地質分析（溶出試験）	1検体
	ｾﾚﾝ	地質分析（溶出試験）	1検体
	ﾎｳ素	地質分析（溶出試験）	1検体
	ﾌｯ素	地質分析（溶出試験）	1検体
	有機燐	地質分析（溶出試験）	1検体
	ｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ、四塩化炭素、1,2-ｼﾞｸﾛﾛｴﾀﾝ、1,1-ｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ、ｼｽ-1,2-ｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ、1,1,1-ﾄﾘｸﾛﾛｴﾀﾝ、1,1,2-ﾄﾘｸﾛﾛｴﾀﾝ、ﾄﾘｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ、ﾃﾄﾗｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ、1,3-ｼﾞｸﾛﾛﾌﾟﾛﾍﾟﾝ、ﾍﾞﾝｾﾞﾝ	地質分析（溶出試験、11項目一括）	1検体
含有量試験	ヒ素	地質分析（含有量試験）	1検体
	銅	地質分析（含有量試験）	1検体

※実施前に試験実施計画書を監督職員に提出の上、結果は速やかに報告すること。

第２章　仮設工事

項目	特記事項
※　総合仮設計画書	工事着手に先立ち、下記の事項について総合仮設計画を作成し監督員に提出する。 1. 工事目的物の位置と敷地との関係（配置と高低） 2. 仮囲いの位置及び構造、道路、出入口との関係 3. 材料運搬経路と主な作業動線 4. 仮設物等の配置（監督員事務所、受注者事務所、危険物貯蔵所、材料置場、下小屋、廃棄物分別置場等） 5. 排水経路、工事用電力及び給排水設備 6. 足場並びに仮設通路の位置及び構造 7. 揚重機の種類及び配置 8. 作業構台の位置及び構造 9. 災害防止施設 10. 近隣の安全に対する処置
○　敷地の状況確認及び縄張り [2.2.1]	工事着手に先立ち、次の敷地状況を確認し、監督員に報告する。 　敷地境界、既存構造物・地下埋設物、隣接建築物・工作物等の現状、 　敷地周辺の状況（交通量や交通規制等）、敷地の高低、既存樹木など また、縄張りを行い、建築物と敷地の関係、道路や隣接建築物との関係を確認し、報告の上、関係者の立会いを受ける。
○　ベンチマークの設置 [2.2.2]	※B.M ＝ T.P+4.187m（既存公民館壁面ﾏｲﾝ）　・ 図示（　　図）K.B.M=
○　設計ＧＬの設定	※図示　　○ 設計GL＝T.P+3.237
○　足場等 [2.2.4]	仮囲い等 (1)種 別：※成形鋼板製　(H= ※3000 ・ 1800) 　（※フラットタイプ ・安全鋼板タイプ） 　・シート　　(H=) 　・有刺鉄線　(H=) 　・防音パネル　(H=) (2)範 囲：※図示による ・敷地全周 (3)足場の設置は「手すり先行工法等に関するガイドライン」（厚生労働省 平成21年4月）による。 (4)屋根工事及びの屋根の建方における墜落防止対策は ＪＩＳＡ8971「屋根工事用足場及び施工方法」の施工標準に基づく足場及び設備機材を設置する。
・　監督員事務所等 [2.3.1]	・ 設置する　　○ 設置しない
※　監理者事務所等	(1)規模(㎡程度)：・10　・20　※ 35　・ 65 (2)付属室　：不和室6畳　※更衣室(男女)　・応接コーナー　・専用会議室 　・湯沸室　※水洗便所(男女)　・ユニットシャワー (3)備 品　：Ａ 家 具　※事務机（8）台 、椅子（8）脚 　※会議用テーブル及び椅子（8）人用 　※キャビネット(H=1,800×W=900(4)台 　※ロッカー（8）人分 　Ｂ 設 備　※冷暖房機器　※冷蔵庫　※流し台　○ 給湯器 　Ｃ 通 信　・専用電話回線（ ）回線 　※インターネット回線（ ・有線 ※ 無線(IPv6,Wi-Fi6） 　・メールアドレス 　・電話機（ ）台 　Ｄ 事務機器　※パソコン（人数分）台 　（カメラ・マイク付きノートPCとする） 　・BIM用パソコン（ ）台 　※ A3ﾌﾟﾘﾝﾀ-複合機（ｺﾋﾟｰ,ﾌﾟﾘﾝﾄ,FAX,ｽｷｬﾅｰ,Wi-Fi対応）消耗品共 　・デジタルカメラ（ ）台 　・ネ無線スタビライザー搭載カメラ1台（Bluetooth にてスマートフォンに接続可能な仕様） 　Ｅ ソフト　・Microsoft Office365(指定バージョン) 　・Autodesk AutoCAD(指定バージョン)（ ）本 　・Autodesk Revit(指定バージョン)（ ）本 　Ｆ そ の 他　※ホワイトボード(月間予定表) 　・三脚スタンドおよび図面ケース 　※その他監督員の指示するもの。 　（安全帯、長靴、安全靴、雨具、スリッパ等） 　Ｇ WEB会議システム 　・WEB会議用ライセンス（MicrosoftTeams、Zoomなど） 　・上記用のノートパソコン 　・WEB会議用マイク・スピーカーシステム 　（参考：ヤマハYVC-1000 マイク5台附属） 　・液晶モニター（50 インチ程度） 　・ＷＥＢ会議用カメラ（単独カメラ） 　Ｈ CDE(共通データ環境：Autodesk BIM360 collaboration Pro、Docsなど) 　・CDE計画を作成し、監督員に提出する。監督員には、 　・CDEへのアクセス権限及びライセンスを付与する。
○　工事用水の使用	(4)監理者事務所を敷地内に仮設で設置できない場合は、監督員・監理者と協議する。 (5)パソコン・BIM用パソコンの性能は監督員の指示による。 (1)構内既存の施設 　○利用できる（ ※有償 ・ 無償）・利用できない (2)建物引き渡しまでの基本料金、使用料金は受注者負担とする。
○　工事用電力の使用	(1)構内既存の施設 　○利用できる（ ※有償 ・ 無償）・利用できない (2)建物引き渡しまでの基本料金、使用料金は受注者負担とする。
○　障害物の処理	工事中撤去・移設等を要する軽微なものは本工事の範囲とする。
○　仮設物撤去その他 [2.4.1]	工事目的の一部を仮設に使用する場合、又は、仮設開口を設ける場合などについては、工事目的物の養生及び復旧、又は補強等の計画書を作成し、監督員の承諾を受ける。

第３章　土 工 事

項目	特記事項
○　埋戻し及び盛土 [3.2.3]	埋戻し及び盛土の材料及び工法： 　○Ａ種 ※Ｂ種 ・Ｃ種 ・Ｄ種
○　建設発生土の処理 [3.2.5]	○構内指示の場所に敷き均す。 　○ 敷き均し場所：（※外構等　　・　　） ※構外に搬出し、関係法令等に従い、適切に処理する。 　○ 処分場所：（本数地から約10km圏内）
○　山留めの設置 [3.3.1]	山留の適用：○設置する　　・設置しない 　○山留の工法及び材料：ｼｰﾄﾊﾟｲﾙ、親杭横矢板
○　山留めの撤去 [3.3.3]	※山留の除去は、撤去しても安全であることを確認した後、慎重に行い、 　鋼材等の抜き跡は地盤の変形を防止する適切な措置を講ずる。 ○存置する （存置物及び範囲：Y1通り ただし、外構施設と干渉する部分は上部のみ撤去すること）

第４章　地 業 工 事

項目	特記事項
※　共通事項	構造図仕様書による
○　液状化対策	○地盤改良を行う 　種別：○浅層改良　　改良深さ：○土間ｺﾝｸﾘｰﾄ下1.0m 　ｾﾒﾝﾄ添加量：○100kg/㎥ ※六価ｸﾛﾑ溶出試験を実施すること。 ※現地地盤状況により強度試験を行い、安全性を確認すること。

第５章　鉄 筋 工 事

項目	特記事項
※　共通事項	構造図仕様書による

第６章　コンクリート工事

項目	特記事項
※　共通事項	構造図仕様書による

工事名称	（仮称）子ども・子育て支援複合施設整備事業建築工事		図面番号 A-004
図面名称	特記仕様書（1）	縮尺(A1)	
担当課	生涯学習部　生涯学習課	工事番号 08-01	通し番号
	健康こども部　こども課		
	財務部　営繕課		全 226 葉

第７章　鉄骨工事

項目	特記事項
※ 共通事項	構造図仕様書による
⊙ 耐火被覆の種別等 [7.9.2]	
⊙ 耐火被覆の性能、品質等 [7.9.3]	

種別	材料及び工法		所要性能（耐火時間）	施工箇所
⊙耐火材吹付け	※吹付けﾛｯｸｳｰﾙ（RW）	・乾式	・30分 ・1時間 ・2時間 ・3時間	
		※半乾式	・30分 ⊙1時間 ・2時間 ・3時間	※見え隠れ部の柱、梁
	・湿式吹付けロックウール		・30分 ・1時間 ・2時間 ・3時間	
⊙耐火塗料	※認定工法： 平滑（ローラー塗り後ﾊﾟﾀ処理） 仕上げ（SKﾀｲｶｺｰﾄ(SK)同等品） 準屋外及び屋外仕様の上塗り材 ※ｼﾘｺﾝ樹脂　・ｼﾘｺﾝ樹脂 ・ﾌｯ素樹脂		・30分 ⊙1時間 ・2時間 ・	※露出部の柱、梁 ⊙屋外 ⊙準屋外仕様 ・屋外仕様 ⊙屋内 ※屋内仕様
	※認定工法： 屋外仕様の上塗り材 ※ｼﾘｺﾝ樹脂　・ｼﾘｺﾝ樹脂 ・ﾌｯ素樹脂 仕上げ（SKﾀｲｶｺｰﾄ(SK)同等品）		⊙1時間	※露出部の梁 ⊙屋外 ⊙屋外仕様
・耐火板張り	無機繊維混入 けい酸カルシウム板		・30分 ・1時間 ・2時間 ・3時間	
・耐火材巻付け	・ 高耐熱ロックウール		・30分 ・1時間 ・2時間 ・3時間	
	・ セラミックファイバー ブランケット		・30分 ・1時間 ・2時間 ・3時間	
・ラス張り モルタル塗り	１５章２節による		・30分 ・1時間 ・2時間 ・3時間	

第８章　コンクリートブロック・ＡＬＣパネル・押出成形セメント板工事

項目	特記事項
⊙ 押出成形セメント板 材料 [8.5.2]	(1)パネル

種類	種別	厚さ	表面加工	施工箇所	備考
⊙外 壁	・ECP(D)	※75(60+15) ・	ﾃﾞｻﾞｲﾝ ・素地　・	図示	
	⊙ECP(F)	※60 ・	ﾌﾗｯﾄ ⊙素地　・	図示	ﾒｰｶｰ(AICA)同等品
・間仕切壁	ECP(I)	※60 ・	・ﾌﾗｯﾄ　・ﾃﾞｻﾞｲﾝ ・素地　・	図示	

※ECPの上に乾式壁を貼る場合：ﾒｰｶｰ ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞ工法（AICA）同等品による
ｱｽﾛｯｸﾞ ﾚｰﾙﾌｧｽﾅｰ工法（ﾉﾀﾞｳﾞ）同等品による

⊙ 押出成形セメント板
外壁パネル工法 [8.5.3]

(1)取付工法種別：⊙A種（縦張）　・B種（横張） [表8.5.1]
(2)耐風圧性能　※たわみ：指示スパンの1/200かつ2cm以下
※基準風速の（・1.00　※1.07　・1.15）倍の風速による耐風圧性能
(3)耐震性能　※層間変形への追随性能1/100以上
（脱落及び取り付け強度上有害なひび割れが生じない）
(4)幅300mm未満：・適用
(5)パネル相互の目地幅：　短辺：※15mm以上 ・（　）mm
長辺：※10mm以上 ・（　）mm
(6)出隅・入隅のﾊﾞﾈ接合目地（伸縮目地）
目地幅：※15mm（シーリング充填）　・（　）mm
(7)耐火構造は、建築基準法に基づき国土交通大臣の認定を受けたものとする。

第９章　防水工事

項目	特記事項
⊙ アスファルト防水 Ⅰ材料 [9.2.2]	(1)アスファルトルーフィング類： ⊙改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの種類及び厚さ： ※[表9.2.3～表9.2.8]による ・種類：（　）厚さ：（　） ⊙部分粘着層付改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの種類及び厚さ： ※[表9.2.5～表9.2.8]による ・種類：（　）厚さ：（　） (2)押え金物の材質及び形状寸法： ※アルミニウム製 L-20×49×t1.2：TA-209（ﾀｲｾｲ）同等品 ・（　） (3)屋根保護防水断熱工法の断熱材の材質及び厚さ： 材質：※ JIS A 9521 押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材3種bⅡ（ｽｷﾝ層付き） ・（　） 厚さ：⊙ 50mm (4)屋根露出防水断熱工法の断熱材の材質及び厚さ： 材質：・（　） 厚さ：・（　） (5)屋根保護防水工法の絶縁用ｼｰﾄの材料： ※ポリエチレンフィルム t=0.15以上　・（　） (6)屋根保護防水断熱工法の絶縁用ｼｰﾄの材料： ※ﾎﾞﾘﾌﾟﾛﾋﾟﾚﾝ、ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ等を平織りしたﾌﾗｯﾄﾔｰﾝｸﾛｽ（70g/㎡程度） ・（　） (7)立上り部の保護 ・乾式保護材（ｔ15 ECP 通気孔付） ・れんが ※JIS R 1250（普通れんが及び化粧れんが） ⊙保護塗装：SPｻｰﾓｺｰﾄ（田島ﾙｰﾌｨﾝｸﾞ）同等品
ⅱ防水層の種類、種別及び工程 [9.2.3]	

屋根保護防水工法	種 別	立上り部保護コンクリートの適用及び工法
・屋根保護防水密着工法	・ A-1 ・ A-2 ・ A-3	・適用する ・適用しない ・（　　）
⊙屋根保護防水密着断熱工法	⊙ A1-1 ・ A1-2 ・ A1-3	・適用する ⊙適用しない ・（　　）
・屋根保護防水絶縁工法	・ B-1 ・ B-2	・適用する ・適用しない ・（　　）
・屋根保護防水絶縁断熱工法	・ B1-1 ・ B1-2	・適用する ・適用しない ・（　　）

ⅲ施工 [9.2.4]

(1)防水層下地をモルタル塗りとする箇所：　・（ ） ⊙適用なし
(2)立上り打放しコンクリートの仕上げ：　※B種 ・（ ）

⊙ 塗膜防水
防水層の種別及び工程 [9.5.3]

防水の種類	種 別	特 記	仕上塗料の種別及び使用量
⊙ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系塗膜防水	・ X-1（絶縁工法）	脱気装置の種類：（　　） 設置数量　：（　　）	種類　：※塗遖所の仕様 ・（ ） 使用量：※塗遖所の仕様 ・（ ）
	⊙ X-2（密着工法）		種類　：※塗遖所の仕様 ・（ ） 使用量：※塗遖所の仕様 ・（ ）
・ｺﾞﾑｱｽﾌｧﾙﾄ系塗膜防水	・ Y-1		
	・ Y-2	保護層の設置：・要　・不要	

⊙ 超速硬化ウレタン防水

本工事はJIS A 6021に規定するウレタンゴム系高強度型を用いた吹付工法による塗膜防水密着工法に適用する。

仕様：ｵﾙﾀｯｸｽｽﾌﾟﾚｰ OTL-30Q-SP(ﾀｼﾞﾏ)同等品
適用：階段(2)塔屋屋根防水部

仕様：ｵﾙﾀｯｸｽｽﾌﾟﾚｰ 地下防水工法先やり工法(ﾀｼﾞﾏ)同等品
適用：地下階外壁

⊙ ポリマーセメント系塗膜防水

本工事は「ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄ系塗膜防水工事施工指針（案）・同解説」日本建築学会を適用する。
項目欄の[ ]内表示番号は上記施工指針の当該項目、又は当該表を示す。
(1)下地の種類：現場打ち鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄを標準とする。
(2)下地の形状：平滑のｺﾝｸﾘｰﾄ表面は金ごて仕上げとする。
立上り部のｺﾝｸﾘｰﾄはｽﾀﾘｯﾄ仕上げとし、型枠締め付け材はｺｰﾝを使用する。
(3)下地の状態：ｺﾝｸﾘｰﾄ下地は表面水(付着水・たまり水)および漏水、漏水がないものとする。

ⅰ防水下地の基本要件 [2.1～2.6]

Aﾀｲﾌﾟ（比較的動きの大きい地上部位）：・ PA-1 ・ PA-2 ・ PA-3
Bﾀｲﾌﾟ（比較的動きの少ない地下・水槽部位）：⊙ PB-1

ⅱ防水層の種別及び工程 [3.1]［表3.1］

ⅲ適用部位 [3.3]［表3.3］

防水仕様	適用部位		保護・仕上げの種類	施工個所
・ PA-2	屋外	ベランダ　下階居室有	軽歩行用仕上塗料	
・ PA-1		下階居室無	軽歩行用仕上塗料	
・ PA-3		開放廊下　下階居室有	軽歩行用仕上塗料	
・ PA-1		下階居室無	軽歩行用仕上塗料	
・ PA-1	屋内	OAﾌﾛｱ・ﾄﾚﾝﾁﾋﾟｯﾄ 注1	なし	
⊙ PB-1	地下	水槽類 注2	なし	※各種水槽、EVピット
・ PB-1		地下外壁 注3	保護緩衝材	

注1） 非常緊急時に防水機能を必要とする部位
注2） 受水槽・消火水槽・雨水槽の類
注3） 後やり防水

ⅲ材料 [4.1～4.4]

(1)プライマー［表4.1］
※防水材製遖業者の指定するもの
(2)ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄ系塗膜防水材の品質　※ 表4.2
(3)防水用補強布［表4.3］
※防水材製遖業者の指定するもの
(4)適用、仕様：⊙BIG SUN GR工法(大日化成)同等品(適用:P防水と図示のある部分)
⊙BIG SUN GR-B工法(大日化成)同等品(適用:排水槽（P.B)防水)

⊙ シーリング
ⅰ材料 [9.7.2]

シーリング材の種類及び施工カ所：　※下記による（下記以外は表9.7.1による）

被着体の組合せ			シーリング材の種類 記号	主成分による区分
⊙金属	⊙金属		※MS-2	変性シリコーン系
	⊙コンクリート		※MS-2	変性シリコーン系
	⊙ガラス		※SR-1	シリコーン系
	⊙石、タイル		※MS-2	変性シリコーン系
	・ALC(注1)	・仕上げなし	※MS-2	変性シリコーン系
		・仕上げあり		
	⊙押出成形セメント板		※MS-2	変性シリコーン系
・樹脂製建具	・樹脂製建具		※MS-2	変性シリコーン系
	・コンクリート		※MS-2	変性シリコーン系
	・ガラス		※SR-1	シリコーン系
	・石、タイル		※MS-2	変性シリコーン系
	・ALC(注1)	・仕上げなし	※MS-2	変性シリコーン系
		・仕上げあり		
	・押出成形セメント板		※MS-2	変性シリコーン系
⊙ガラス	⊙ガラス		※SR-1	シリコーン系
・石	・石	・外壁乾式工法の目地	※MS-2	変性シリコーン系
		・上記以外の目地	※PS-2	ポリサルファイド系
	・プレキャストコンクリート		※MS-2	変性シリコーン系
	⊙打継ぎ目地 ひび割れ誘発目地(注1)	・仕上げなし ⊙仕上げあり	※MS-2	変性シリコーン系
	・石、タイル		※PS-2	ポリサルファイド系
⊙コンクリート	・ALC(注1)	・仕上げなし ・仕上げあり	※MS-2	変性シリコーン系
	⊙押出成形セメント板(注1)	・仕上げなし ⊙仕上げあり	※MS-2	変性シリコーン系
・ALC	・ALC(注1)	・仕上げなし ・仕上げあり	※MS-2	変性シリコーン系
⊙押出成形セメント板	⊙押出成形セメント板(注1)	・仕上げなし ⊙仕上げあり	※MS-2	変性シリコーン系
⊙水回り	⊙浴室・水槽 ・キッチン、キャビネット回り ⊙洗面、化粧台回り		※SR-1	シリコーン系(注1)
⊙タイル	⊙タイル(伸縮調整目地)		※PS-2	ポリサルファイド系
⊙アルミニウム製建具等の工場シール(注1)				

注）注釈は表9.7.1による。
注）変性シリコーン系シールは、塗装可能なシールとする。（MS2500typeNB SUN STAR同等品）
注）カーテンウォール工法のシーリング材は第17章による
注）外装タイル接着剤りの場合のシーリング材は第11章による。

ⅱ目地寸法 [9.7.3]

(1)コンクリートの打継ぎ目地及びひび割れ誘発目地：
※幅20mm×深さ10mm以上　・（　）
(2)ガラス回りの目地：
※建具製遖所の仕様による
・幅・深さとも5mm以上　・（　）
(1)(2)以外の目地：
※幅・深さとも10mm以上　・（　）

ⅲシーリング材の試験 [9.7.5]

・外部に面するシーリング材の接着性試験：
※簡易接着試験　・引張接着性試験
※同材料の組合せで実施した試験成績書がある場合は、監督職員の承諾を受けて、試験を省略することができる。

第１０章　石工事

項目	特記事項
⊙ 共通事項	⊙缺当なし

第１１章　タイル工事

項目	特記事項
⊙ 伸縮調整目地及び ひび割れ誘発目地 [11.1.3]	(1)目地の位置：※表11.1.1　・図示 (2)伸縮調整目地の位置は、下地のひび割れ誘発目地、打継ぎ目地、構造スリット等と一致させる
⊙ 有機系接着剤による タイル張り [11.3.2]	(1)セラミックタイル： 耐凍害性　・有 滑り性　・ CSR-B=0.7以上　・ CSR=0.4以上 ・Ｄ内装タイル（壁）

タイルの種類	・タイル（Ｉ）	・タイル（Ｊ）
形状	⊙ 100角　・ 150角 ・ 300角 ・（　　）	・ 100角　・ 150角 ・ 300角 ・（　　）
寸法	Ｗ×Ｈ：90×90	Ｗ×Ｈ：　×
きじの質 （吸水率）	・Ⅰ類3.0%以下（磁器質） ⊙Ⅱ類10.0%以下（せっ器質） ・Ⅲ類50.0%以下（陶器質）	・Ⅰ類3.0%以下（磁器質） ・Ⅱ類10.0%以下（せっ器質） ・Ⅲ類50.0%以下（陶器質）
うわぐすりの有無	・施ゆう　⊙無ゆう	・施ゆう　・無ゆう
色	⊙標準色　・特注色	・標準色　・特注色
役物の適用	・適用する　⊙適用しない	・適用する　・適用しない
試験張りの実施	・実施する　⊙実施しない	・実施する　・実施しない
施工箇所	⊙風除室(1)(2)	
標準品の程度	⊙MAW-C1（名古屋ﾓﾃﾞｲﾀﾞ同等品	

・Ｅ外装タイル（壁）

タイルの種類	・タイル（Ｋ）	・タイル（Ｌ）
形状	・小口　・ボーダー ・二丁掛け ・（　　）	・小口　・ボーダー ・二丁掛け ・（　　）
寸法	厚さ：（　　）	厚さ：（　　）
	Ｗ×Ｈ：　×	Ｗ×Ｈ：　×
きじの質 （吸水率）	・Ⅰ類3.0%以下（磁器質） ・Ⅱ類10.0%以下（せっ器質）	・Ⅰ類3.0%以下（磁器質） ・Ⅱ類10.0%以下（せっ器質）
うわぐすりの有無	・施ゆう　・無ゆう	・施ゆう　・無ゆう
色	・標準色　・特注色	・標準色　・特注色
役物の適用	・適用する （・一体成形　・接着加工） ・適用しない	・適用する （・一体成形　・接着加工） ・適用しない
試験張りの実施	・実施する　・実施しない	・実施する　・実施しない
見本焼きの実施	・実施する　・実施しない	・実施する　・実施しない
施工箇所		
標準品の程度		

・Ｆモザイクタイル（内外装張）

タイルの種類	・タイル（Ｍ）	・タイル（Ｎ）
形状	・６分　・８分 ・50角 ・（　　）	・６分　・８分 ・50角 ・（　　）
寸法	Ｗ×Ｈ：　×	Ｗ×Ｈ：　×
きじの質（吸水率）	・Ⅰ類3.0%以下（磁器質）	・Ⅰ類3.0%以下（磁器質）
うわぐすりの有無	・施ゆう　・無ゆう	・施ゆう　・無ゆう
色	・標準色　・特注色	・標準色　・特注色
役物の適用	・適用する　・適用しない	・適用する　・適用しない
試験張りの実施	・実施する　・実施しない	・実施する　・実施しない
施工箇所		
標準品の程度		

⊙ 有機系接着剤による
タイル張り張付け用材料 [11.3.3]

(1)接着剤のホルムアルデヒド放散量：※Ｆ☆☆☆☆　・（　　）
(2)接着剤の目地詰め：⊙行う　・行わない

⊙ 有機系接着剤による
タイル張りシーリング材 [11.3.4]

⊙有機系接着剤による 目地のシーリング材：
※打継ぎ目地及びひび割れ誘発目地はポリウレタン系シーリング材、
伸縮調整目地その他の目地は変性シリコーン系シーリング材
・（　　）

⊙ 有機系接着剤による
タイル張り施工 [11.3.5]

(1)下地調整塗材のｺﾝｸﾘｰﾄ素地面の処理：　・目荒し工法(150Mpa程度の超高圧洗浄)
・ＭＣＲ工法
・（　　）
(2)壁タイル張り工法：タイルの種類
⊙内装タイル
・外装タイル（小口平以上二丁掛け以下）
・内装タイル以外のユニットタイル（50二丁以下）
(3)接着剤の目地詰め：⊙行う　・行わない

第１２章　木工事

項目	特記事項
⊙ 含水率 [12.2.1(1)]	(1)木材の現場搬入時の含水率：※Ａ種　・Ｂ種　・（　　）
⊙ ホルムアルデヒド放散量 [12.2.1(1)]	(1)ホルムアルデヒドの放散量：（Ⅰ）または（Ⅱ）のいずれかに適合するものとする。 （Ⅰ）放散量表示あり：※Ｆ☆☆☆☆ ・（　　） （Ⅱ）放散量表示なし： ※非ホルムアルデヒド系接着剤使用 ※非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 ※非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用
⊙ 製材 [12.2.1(2)]	(1)JAS 1083（製材）に基づく製材 （Ⅰ）下地用製材

適用箇所	二重床段部木束	木枠	腰壁木部
等級	※2級 ・（　　）	※2級 ・（　　）	※2級 ・（　　）
寸法	30×40	W40×D** ※D**は図示	W105×t12
含水率			
保存処理			
樹種	ｽｷﾞ	ﾅﾗ	ﾅﾗ
備考		2方上小節、ST仕上げ	羽目板加工、1方上小節

⊙ 合板等 [12.2.1(6)]

(1)下地用合板等：

	⊙普通合板	⊙構造用合板	⊙ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ	・構造用ﾊﾟﾈﾙ	・MDF
厚さ	※9.0mm・（）	※12mm・（）	※20mm・（）	・（　）	・（　）
寸法					
等級		※2級以上・（）			
表板の樹種名	・（　）	・（　）			
接着の程度	※1類　・2類	※特類　・1類			
板面の　広葉樹	※2等以上・（）	※2等以上・（）			
品質　針葉樹	※C-D以上・（）	※C-D以上・（）			
防虫処理	⊙有　・無	⊙有　・無			
強度等級		・（　）			
表裏面の状態による区分			・（ RN ）		・（　）
曲げ強さによる区分			※13ﾀｲﾌﾟ ・（　）		・（　）
接着剤による区分					・（　）
耐水性による区分			・MR1(M) ⊙MR2(P)		
難燃性による区分			・（　）		・（　）

⊙ 接合具等 [12.2.2]

(1)造作材の化粧面の釘打ち ※隠し釘打ち　・釘頭埋め木
・つぶし頭釘打ち　・釘頭現し
(2)接着剤のホルムアルデヒド放散量：※Ｆ☆☆☆☆　・（　）

⊙ 防腐・防蟻処理 [12.3.1]

⊙工場における薬剤の加圧注入処理等による防腐・防蟻処理
(1)適用部位：　⊙（ ﾗｳﾝﾄﾞ板 ）
(2)保存処理性能区分：　・Ｋ２　※Ｋ３　・Ｋ４
・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理
付属書Ａ（規定）に基づく表面処理用木材保存剤
・種類（　　）　・部材（　　）
処理の方法：　※薬剤の製遖所の仕様　・（　　）
・接着剤への薬剤混入による防腐・防蟻処理
・（　　）
・合板等の加圧注入による防腐・防蟻処理
・（　　）

⊙ 防虫処理 [12.3.2]

⊙行う　・行わない

第１３章　屋根及びとい工事

項目	特記事項
⊙ 長尺金属板葺 Ⅰ材料 [13.2.2]	(1)長尺金属板の種類：　[表13.2.1] ※JIS G 3322（塗装溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ-亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）の屋根用ｺｲﾙ ・板およびコイルの種類：（　　） ・塗膜の耐久性の種類　：（　　） ・めっき付着量　：（　　） ・厚さ　：（　　） ・塗膜の種類　：（　　） ・厚さ　：（　　） ・製作所　：（　　） (2)下葺材料：※JIS A 6005 ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ940 ・改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ下葺材 （・一般タイプ　・複層基材タイプ　・粘着層付タイプ ）
Ⅱ工法 [13.2.3]	(1)屋根葺形式：・心木なし瓦棒葺　⊙立平葺　・横葺　・（　　） (2)屋根葺工法(葺板の寸法・厚さ、下地、留付け方法等)：※図示　・（　　） 棧葺きのけら talk：　・つかみ込み納め　・けらば包み納め (3)建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法：※図示　・（　　） (4)雪止め：・設ける　⊙設けない (5)立上り部水切り：※アルミニウム製 L-20×49×t1.2；TA-209（ﾀｲｾｲ）同等品
⊙ とい Ⅰ材料 [13.5.2]	[表13.5.1]

(1)といその他：

種別	材種	仕様	呼び径	適用箇所
⊙竪とい	⊙アルミ	⊙ﾄﾞﾚﾝﾌｨﾙたてとい ﾊﾝﾄﾞﾚｽ (ﾀﾆｻﾜﾊﾝｼﾞﾝｸﾞ同等品)	⊙100φ	⊙屋根(1)
				⊙北側
			⊙125φ	⊙南側
			⊙50φ	⊙渡り廊下(2)

(2)とい受金物
※ [表13.5.2] による

材種	形状	止付間隔	適用箇所
⊙アルミ	⊙高強度金物	⊙3m以内	⊙すべて

多雪地域：・適用する(軒どいの取付間隔0.5m以下)　⊙適用しない

(3)防腐材のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量：※Ｆ☆☆☆☆　・（　　）　[表13.5.3]
(4)ルーフドレンの種類及び呼び

種別	材種	仕様	呼び径	適用箇所
⊙横引ﾄﾞﾚﾝ	⊙ねじ込み式 ・差し込み式	⊙SUS製	⊙ESXW-125 (ｶｽﾀﾑ)同等品	⊙φ125 ⊙φ100	⊙屋根 (A1-1部)
⊙竪引ﾄﾞﾚﾝ	⊙ねじ込み式 ・差し込み式	⊙SUS製	⊙ESSP-6 (ｶｽﾀﾑ)同等品	⊙φ100	⊙屋根(1)

Ⅱ工法 [13.5.3]	(1)銅管製といの防露巻き：※[表13.5.4]　・（　　）

第１４章　金属工事

項目	特記事項
⊙ 一般事項 Ⅰ工法 [14.1.3]	(1)あと施工アンカーの引抜き耐力の確認試験： ⊙適用する 設計用引張強度：※施工計画書の品質計画において定めたもの ・（　　） ・適用しない
⊙ アルミニウム及び アルミニウム合金の表面処理 [14.2.1]	(1)アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

使用部位	種 別
アルミ製金物全て	・ AB-1種　・ AB-2種　・ AC-1種　・ AC21種 ・ BA-1種　・ BA-2種　⊙ BB-1種　・ BB-2種 ・ BC-1種　・ BC-2種　・ C種
	・ AB-1種　・ AB-2種　・ AC-1種　・ AC21種 ・ BA-1種　・ BA-2種　・ BB-1種　・ BB-2種 ・ BC-1種　・ BC-2種　・ C種

(2)陽極酸化被膜の着色方法：・自然発色　※二次電解着色　・（　　）
(3)陽極酸化被膜の色合等　：・（　　）

⊙ 鉄鋼の亜鉛めっき [14.2.2]

使用部位	種 別
手すり	⊙ A種　・ B種　・ C種　・ D種 ・ E種　・ F種
屋外の鉄部	・ A種　⊙ B種　・ C種　・ D種 ・ E種　・ F種

⊙ ステンレスの表面仕上げ

(1)表面仕上げの種類：

使用部位	種 別
ﾌﾞｯｼｭ ﾎﾟｽﾄ、SUS製建具(外部)	・NO.2B　・HL　・ﾊﾟｲﾌﾟﾚｰｼｮﾝ ⊙鏡面　・
SUS製建具（内部）、衝突防止柵	・NO.2B　・HL　⊙ﾊﾟｲﾌﾟﾚｰｼｮﾝ ・鏡面　・

⊙ 軽量鉄骨天井下地
Ⅰ材料 [14.4.2]

(1)野縁等の種類：
屋内：※19形　・（　　）
屋外：※25形　・（　　）

Ⅱ形式及び寸法 [14.4.3]

(1)屋外の野縁受、つりボルト及びインサートの間隔：900mm
(2)屋外の野縁の間隔：300mm

Ⅲ工法 [14.4.4]

(1)つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法：
⊙製作所の仕様による
(2)天井ふところ寸が1.5m以上3.0m未満の場合の補強方法：
※標準仕様書[14.4.4](8)に準ずる　・（　　）
(3)天井ふところ寸が3m以上の場合の補強方法：
・（　　）
(4)耐風圧性を考慮した補強(屋外の軒天井、ﾋﾟﾛﾃｨ天井等)：
⊙適用する
(1)適用箇所：1階軒天井及びﾊﾟｻｰﾄﾞﾗｲ軒天井
(2)補強方法：耐風圧TOBAN1600Pa仕様(桐井製作所)同等品
1F軒天井：ｲﾝｻｰﾄﾋﾟｯﾁ 900mm　野縁受ﾋﾟｯﾁ 900mm　野縁ﾋﾟｯﾁ 300mm
ｲﾝｻｰﾄ(西側ｰX7通りまで) 補強ﾊﾞｲﾌﾟ有り：St-□ 19×t1.2
・適用しない

工事名称	（仮称）子ども・子育て支援複合施設整備事業建築工事		図面番号 A-005
図面名称	特記仕様書（2）	縮尺(A1)	
担当課	生涯学習部　生涯学習課	工事番号 08-01	通し番号 6
	健康こども部　こども課		
	財務部　営繕課		全 226 葉

○ 軽量鉄骨壁下地
Ⅰ形式及び寸法 [14.5.3]

(1)ｽﾀｯﾄﾞ、ﾗﾝﾅｰ等の種類 ：・(　形)
※スタッドの高さによる区分に応じた種類 [表14.5.1]

(2)ｽﾀｯﾄﾞの高さが5.0mを超える場合のｽﾀｯﾄﾞ、ﾗﾝﾅｰ等：(　　)

Ⅱ工法 [14.5.4]

鉄骨造の場合の上部ランナーの固定方法：
※上部ランナーを固定するための先付け金物はランナー底面が全面接するものとする。
・(　　)

○ 天井金属成形板張り
Ⅰ材料 [14.6.2]

(1)金属成形板の種別 ：・鋼板製　・ｽﾃﾝﾚｽ板製　・ｱﾙﾐﾆｳﾑ板製
○(屋外)高耐食性ﾒｯｷ鋼板有孔ﾊﾞﾙｶﾝﾌｧｲﾝﾊﾞﾙ (MAX KENZO) 同等品
○(屋内)ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板有孔ﾊﾞﾙｶﾝﾌｧｲﾝﾊﾞﾙ (MAX KENZO) 同等品
(2)金属成形板の表面処理：○(屋外)粉体塗装
○(屋内)焼付塗装

Ⅱ工法 [14.6.3]

(1)取付け用下地 ：※軽量鉄骨天井下地(1階、ﾊｲﾀｲﾄﾞﾗｲﾄ軒天)
○St-C 100×50×2.3下地(内部吹抜け天井及び2階軒天)
取付金物:St-L 100×100×7 (内部:@2000以内、外部:@1090以内)
(2)伸縮調整縁手 ：※図示　・(　　)

第１５章　左官工事

項目	特記事項
○ モルタル塗り Ⅰ材料 [15.3.2]	(1)種類 ：・現場調合材料（適用：　　）　○既調合材料（適用：　　） (2)既製目地材料の適用 ：・設ける（適用：　　）　○設けない (3)既製目地材料の形状 ：・(　　)　・図示
Ⅱ工法 [15.3.5]	(1)床目地の設置 ：○設ける　・設けない (2)床目地の種類 ：※押し目地　目地間隔 縦横2.0m程度、最大3.0m程度 ・(　　) (3)外壁タイル張り下地等の下地モルタルの接着力試験： ・適用する　・適用しない
○ ロックウール吹付け Ⅰ材料 [15.12.2]	○適用：耐火被覆のロックウール吹付は、第７章による。 (1)ロックウールのﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄ放散量 ：※Ｆ☆☆☆　・(　　) (2)接着剤のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄ放散量 ：※Ｆ☆☆☆　・(　　)
Ⅱ配合及び密度等 [15.12.3]	吹付ロックウールの仕上げ吹付け厚さ： 施工箇所 / 厚さ 隠ぺい部及び設備室柱・梁 / 25mm 外壁ｹｲｶﾙ板 / 30mm

第１６章　建具工事

項目	特記事項
○ 防火戸 [16.1.3]	(1)防火戸の指定 ：※図示（建具表）　・(　　) (2)防火戸の自動閉鎖機構及び感知器の種別 ：※図示（建具表）
○ アルミニウム製建具 Ⅰ性能及び構造形状及び仕上げ [16.2.2] [16.2.4]	(1)外部に面する建具の性能等級等 ：コンクリート系下地又は鉄骨下地

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み	適用箇所
○Ａ種	S-4	A-3	W-4	※70 ・100	
・Ｂ種	S-5	A-3	W-4	※70 ・100	
・Ｃ種	S-6	A-4	W-5	(　　)	
・Ｄ種	S-2	A-3	W-3	(　　)	(木下地)
・Ｅ種	S-3	A-3	W-3	(　　)	(木下地)
・その他	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)	

(2)遮音性、断熱性及び面内変形追随性等級：

適用種類	遮音性	断熱性	面内変形追随性
・ 防音ﾄﾞｱｾｯﾄ	※T-1 ・(　　)		
・ 防音ｻｯｼ			
・ 断熱ﾄﾞｱｾｯﾄ		※H-1 ・(　　)	
○ 断熱ｻｯｼ			
・ 耐震ﾄﾞｱｾｯﾄ			・(　　)

Ⅱ材料 [16.2.3]

網戸等の防虫網：※張りける
材料：※合成樹脂製、線径0.25mm以上、網目16～18ﾒｯｼｭ
・ガラス繊維入り合成樹脂製
・ステンレス(SUS316)製
形状：※収納型網戸　・ｽﾗｲﾄﾞ網戸（中桟なし）

Ⅲ形状および仕上げ [16.2.4]

(1)アルミニウムの表面処理：

建具の種類	表面処理の種別	色
○外部建具	・AB-1種 ・AB-2種 ・AC-1種 ・AC-2種 ・BA-1種 ・BA-2種 ○BB-1種 ・BB-2種 ・BC-1種 ・BC-2種 ・C種	○標準色（ﾏｯﾄ） ・特注色（ﾏｯﾄ）
・屋内建具	・AB-1種 ・AB-2種 ・AC-1種 ・AC-2種 ・BA-1種 ・BA-2種 ・BB-1種 ・BB-2種 ・BC-1種 ・BC-2種 ・C種	・標準色（ﾏｯﾄ） ・特注色（ﾏｯﾄ）

(2)結露水の処理方法：○図示　・(　　)

Ⅳ工法 [16.2.5]

(1)水切り板・ぜん板の加工、組立て：○図示（建具表・詳細図）
(2)内付け建具：※建具製造所の仕様（　　）

○ 鋼製建具
Ⅰ性能及び構造 [16.4.2]

(1)簡易気密型ドアセット（ＳＡＴ）の適用：　※図示(建具表)　・(　　)
(2)外部に面する鋼製建具の耐風圧性：　○Ｓ－４　・Ｓ－５　・Ｓ－６
(3)遮音性、断熱性及び面内変形追随性等級：

適用種類	遮音性	断熱性	面内変形追随性	適用箇所
○ 防音ﾄﾞｱｾｯﾄ	※T-1 ○T-2　○T-3			図示(建具表)
○ 断熱ﾄﾞｱｾｯﾄ		※H-1 ・(　　)		図示(建具表)
・ 耐震ﾄﾞｱｾｯﾄ			・(　　)	図示(建具表)

Ⅱ材料 [16.4.3]

(1)点検口の額の場合のくつずりの材質　　※ステンレスHL　・(　　)

Ⅲ形状及び仕上げ [16.4.4]

(1)鋼板額の厚さ：

区分		使用箇所	厚さ（mm）
窓	枠 類	枠、方立、無目、ぜん板、額縁、水切り板	※1.6　・(　　)
出入口	枠 類	一般部分	※1.6　・(　　)
		くつずり	※1.5　・(　　)
	戸	かまち、鏡板、表面板	※1.6　・(　　)
		力骨	※2.3　・(　　)
		中骨	※1.6　・(　　)
	その他	額縁、添え枠	※1.6　・(　　)
補強板の額			※2.3以上　・(　　)

注)※の適用は一枚の戸の有効開口幅950以内又は有効高さ2400以内の場合とする

(2)くつずりの仕上げ　※ステンレスHL　・(　　)

○ 鋼製軽量建具
Ⅰ性能及び構造 [16.5.2]

(1)簡易気密型ドアセット（ＳＡＴ）の適用：　※図示（建具表）　・(　　)
(2)遮音性、断熱性及び面内変形追随性等級：

適用種類	遮音性	断熱性	面内変形追随性	適用箇所
○ 防音ﾄﾞｱｾｯﾄ	※T-1 ・(　　)			図示(建具表)
・ 断熱ﾄﾞｱｾｯﾄ		※H-1 ・(　　)		図示(建具表)
・ 耐震ﾄﾞｱｾｯﾄ			・(　　)	図示(建具表)

Ⅱ材料 [16.5.3]

(1)ビニル被覆鋼板の適用：　※図示（建具表）
(2)カラー鋼板の適用：　※図示（建具表）
(3)召合せ、縦小口包み板の材質：※鋼板　・アルミニウム合金の押出形材
・ステンレス鋼板

Ⅲ形状及び仕上げ [16.5.4]

鋼板額の厚さ：

区 分	使用箇所		厚 さ（mm）
枠 類	一般部分		※1.6　・(　　)
	くつずり		※1.5　・(　　)
戸	表面板		※0.6以上・(　　)
	力骨、中骨		※1.6　・(　　)
	召合わせ	鋼板	※0.6以上・(　　)
	縦小口包み板	ステンレス鋼板	※0.6以上・(　　)
	押縁	アルミニウム押出形材	ー
その他	額縁、添え枠		※1.6　・(　　)
補強板の額			※2.3以上・(　　)

注)※の適用は一枚の戸の有効開口幅950以内又は有効高さ2400以内の場合とする

○ ステンレス製建具
Ⅰ性能及び構造 [16.6.2]

(1)簡易気密型ドアセット（ＳＡＴ）の適用：　※図示(建具表)　・(　　)
(2)外部に面する鋼製建具の耐風圧性：　○Ｓ－４　・Ｓ－５　・Ｓ－６
(3)遮音性、断熱性及び面内変形追随性等級：

適用種類	遮音性	断熱性	面内変形追随性	適用箇所
・ 防音ﾄﾞｱｾｯﾄ	※T-1 ・(　　)			図示(建具表)
・ 断熱ﾄﾞｱｾｯﾄ		※H-1 ・(　　)		図示(建具表)
・ 耐震ﾄﾞｱｾｯﾄ			・(　　)	図示(建具表)

Ⅱ材料 [16.6.3]

ステンレス鋼板の種類：・(　　)
※SUS304, SUS430JIL, SUS443J1

Ⅲ形状及び仕上げ [16.6.4]

表面仕上げ：・No.2B　・ＨＬ　○ﾍﾟｲﾝﾄﾞﾚｰｼｮﾝ　○鏡面

Ⅳ工法 [16.6.5]

曲げ加工：・普通曲げ　※角出し曲げ

○ 木製建具
Ⅰ材料 [16.7.2]

(1)建具材の加工組立時の含水率の種別：　※ A種　・B種　・(　　)
(2)フラッシュ戸の表面材の合板の種類：　・普通合板　・天然木化粧合板
・特殊加工化粧合板　・MDF　○OF

(3)フラッシュ戸の表面材の合板の種類及び品質：

品質＼種類	・普通合板	・天然木化粧合板	・特殊加工化粧合板
ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄ放散量	※Ｆ☆☆☆ 又は非ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄ系接着剤使用 ・(　　)	※Ｆ☆☆☆ 又は非ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄ系接着剤使用又は非ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄ系接着剤及びﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄを放散しない塗料使用 ・(　　)	※Ｆ☆☆☆ 又は非ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄ系接着剤及びﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄを放散しない塗料使用 ・(　　)
接着の程度 ・水掛り箇所	※１類 ・(　　)	※１類 ・(　　)	※１類 ・(　　)
接着の程度 ・その他	※２類 ・(　　)	※２類 ・(　　)	※２類 ・(　　)
板面の品質	※広葉樹1等 ・(　　)		
表板の樹種 ・生地又は透明塗料塗り	※ラワン ・(　　)		
表板の樹種 ・不透明塗料塗り	※しな ・(　　)		

○ＭＤＦ（ﾐﾃﾞｨｱﾑﾃﾞﾝｼﾃｨﾌｧｲﾊﾞｰﾎﾞｰﾄﾞ）
表裏面の状態による区分（　　）
曲げ強さによる区分　（　　）
接着剤による区分　（　　）
難燃性による区分　（　　）

(4)かまち戸のかまち及び鏡板の樹種：（　）
(5)ふすまの上張りの種類：・鳥の子　・新鳥の子　・ﾋﾞﾆﾙ紙
(6)接着材のホルムアルデヒド放散量：　※Ｆ☆☆☆　・（　）
(7)枠及びくつずりの材料：・木製　・鋼製　○ステンレス製

Ⅱ形状及び仕上げ [16.7.3]

(1)フラッシュ戸の表面板の厚さ：
・普通合板 ：※2.5以上 ・（　）
・天然木化粧合板 ：※3.2以上 ・（　）
・特殊加工化粧合板：※2.4以上 ・（　）
(2)かまち戸の見込み寸法：　※36mm ・（　）・図示
(3)ふすまの見込み寸法：　※19.5mm ・（　）・図示
(4)戸ふすまの見込み寸法：　※30mm ・（　）・図示
(5)紙張り障子の見込み寸法：　※30mm ・（　）・図示

Ⅲ工法 [16.7.4]

(1)引戸の召合せかまちの定規縁：　・いんろう付き　・いんろう無し
※２回塗り　・３回塗り
(2)ふすまの縁の仕上げ ：塗り縁 （ ※カシュー2回　・（　　） ）
・生地縁 （ ・素地　・ウレタンクリヤー塗装 ）

○ 建具用金物
Ⅰ材質・形状及び寸法 [16.8.2]

金物の種類及び見え掛り部の材質:

形式	金物の種類	見え掛り部の材質	
開き戸	○シリンダー箱錠	・握り玉	・SUS　・黄銅　・アルミ合金 ・木製　※（　図示　）
		※レバーハンドル	・SUS　・黄銅　・アルミ合金 ・木製　・樹脂　※（　図示　）
		※ｼﾘﾝﾀﾞｰｶﾊﾞｰ	※SUS　・黄銅　・アルミ合金 ・(　　)
	・本締り付きモノロック	握り玉	・SUS　・黄銅　・アルミ合金 ・木製　※（　図示　）
	○空錠	・握り玉	・SUS　・黄銅　・アルミ合金 ・木製　※（　図示　）
		※レバーハンドル	・SUS　・黄銅　・アルミ合金 ・木製　・樹脂　※（　図示　）
	○グレモン錠	レバーハンドル	・SUS ・亜鉛合金　※（　図示　）
	・ケースハンドル錠		・SUS　※（　図示　）
	○点検口錠		・SUS ・亜鉛合金程度　※(図示)
	○丁番		※SUS　・黄銅 ・(　　)
	○ピボットヒンジ	カバー部	※SUS ・亜鉛合金
	・軸吊ヒンジ		※建具製作所仕様
	・フロアヒンジ	カバー部	※SUS（本体は鋼）
	・ヒンジクローザー ・遅延開機能付		※鋼（焼付け塗装）・(　　)
	・ヒンジクローザー ・遅延開機能付	カバー部	※SUS（本体は鋼）
	○ドアクローザー ・遅延開機能付	本体 アーム部	※アルミ合金 ※鋼（焼付け塗装）
	○開錠順位調整器		※SUS ・鋼
	・押棒		・SUS　・黄銅　・アルミ合金 ・木製　・樹脂　※（　図示　）
	○フランス落し ○アームストッパー ○戸当り		・SUS　※亜鉛合金程度 ・SUS　※鋼（クロームめっき） ・SUS ・黄銅 ・亜鉛合金程度 ・あおり止め付き　※(図示)
	○引戸用錠		※建具製作所仕様
	○クレセント		※建具製作所仕様
引戸	○引手類		※建具製作所仕様 ※SUS ・黄銅
	○戸車（上吊りの場合を除く）	○木製建具の場合	※建具製作所仕様
	○レール（上吊りの場合を除く）		※SUS ・アルミニウム合金 ・黄銅（木製建具用のみ）
※その他			※建具製作所仕様

鋼製、鋼製軽量、ｽﾃﾝﾚｽ製建具以外のJIS A 1541-2（実用性能項目）：・(　　)

○金属製建具丁番：・枚数：　大きさ：　※［表16.8.2］による
・樹脂製建具丁番：・枚数：　大きさ：　※［表16.8.3］による
・木製建具丁番　：・枚数：　大きさ：　※［表16.8.4］による
○木製建具戸車レール　・(　　)　※［表16.8.5］による

Ⅱ取付け施工 [16.8.3]

(1)握り玉及びﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙの取付け位置：※図示(建具表)　・(　　)
(2)押板類の取付け位置：※図示(建具表)　・(　　)
(3)クレセントの取付け位置：※図示(建具表)　・(　　)

Ⅲ鍵 [16.8.4]

(1)マスターキー等の製作：
○グランドマスターキー：　※製作する　・製作しない
○マスターキー：　※製作する　・製作しない
・(　　)：　※製作する　・製作しない

(2)鍵は次による：
本数等 ：※３本１組、室名札付き、鍵箱収納

○ 自動ドア開閉装置
Ⅰ性能・機構 [16.9.2]

○引き戸用自動ドア駆動装置の性能値：
※［表16.9.1］による　※防錆の適用　・(　　)
○車椅子使用者用便房出入口に設置される引戸用駆動装置の性能値：
※［表16.9.2］による　※防錆の適用　・(　　)
○検出装置の性能：
※［表16.9.3］による　※防錆の適用　・(　　)

(1)戸の開閉方式及び引き戸用検出装置の種類：※建具表による　・(　　)
(2)寒冷地における凍結防止措置：　・する　○　しない

◔ 自閉式上吊り引戸装置
Ⅰ性能等 [16.10.3]

自閉式上吊り引戸装置の性能：　※［表16.10.1］による
・(　)

○ 重量シャッター
Ⅰ形式及び機構 [16.11.2]

シャッターの種類等：

ｼｬｯﾀｰの種類	耐風圧強度	開閉機能の種類	ｼｬｯﾀｰｹｰｽ
・管理用ｼｬｯﾀｰ		※電動式(手動併用) ・手動式	・設置する ・設置しない
○外壁用防火防煙ｼｬｯﾀｰ		※電動式(手動併用) ・手動式	※設置する
・屋内用防火ｼｬｯﾀｰ		※電動式(手動併用) ・手動式	※設置する
・ 防煙ｼｬｯﾀｰ		※電動式(手動併用) ・手動式	※設置する

○電動シャッターの不測落下に対する備え：
○装置等（ 急降下停止装置 ）　・設置箇所（　　）
○電動式シャッター障害物感知時自動停止機能
○設置箇所（全てのｼｬｯﾀｰ）
○感知器連動シャッター等危害防止機構：
○設置箇所（全てのｼｬｯﾀｰ）

Ⅱ材料 [16.11.3]

スラット、シャッターケース用鋼板

鋼板の種類	めっき付着量
○溶融亜鉛めっき鋼板 ・塗装溶融亜鉛めっき鋼板	※Z12又はF12を満足するもの　・（　）

○ ガラス
Ⅰ材料 [16.14.2]

(1)板ガラス：※厚さは図示による。

種 類	特 性 等
○フロート板ガラス	
○型板ガラス	品種： ・梨地　○霞　・石目 ・(　　)
○ 網入板ｶﾞﾗｽ	ﾜｲﾔｰの品種： ○ひし形ﾜｲﾔｰ　・角形ﾜｲﾔｰ ｶﾞﾗｽの品種： ○網入磨き板ｶﾞﾗｽ　・網入型板ｶﾞﾗｽ
・線入板ｶﾞﾗｽ	品種： ・線入磨き板ｶﾞﾗｽ　・線入型板ｶﾞﾗｽ
・合わせガラス	特性による種類： ・Ⅰ類　・Ⅱ－１類　・Ⅱ－２類　・Ⅲ類
○強化ガラス	・材料板ｶﾞﾗｽの種類による名称： ・型板強化ｶﾞﾗｽ ○ﾌﾛｰﾄ強化ｶﾞﾗｽ ・熱線反射強化ｶﾞﾗｽ
	特性による種類： ・Ⅰ類　○Ⅱ類
・熱線吸収板ガラス	板ｶﾞﾗｽによる種類： ・熱線吸収ﾌﾛｰﾄ板ｶﾞﾗｽ ・熱線吸収磨き板ｶﾞﾗｽ ・熱線吸収網入板ｶﾞﾗｽ ・熱線吸収網入磨き板ｶﾞﾗｽ ・熱線吸収線入板ｶﾞﾗｽ ・熱線吸収線入磨き板ｶﾞﾗｽ ・熱線吸収網入型板ｶﾞﾗｽ 性能による種類： ・１種（5mm日射熱取得率0.80以下） ・２種（5mm日射熱取得率0.70以下）
○複層ガラス	断熱性による区分： ○Ｔ１　・Ｔ２　・Ｔ３　・Ｔ４　・Ｔ５　・Ｔ６ 日射取得性及び日射遮蔽性による区分： ○Ｇ　・Ｓ 乾燥気体の種類： ○空気　・アルゴン　・クリプトン及びネオン
・熱線反射ガラス	日射熱遮蔽性区分： ・１種　・２種　・３種 耐久性区分： ・Ａ種　・Ｂ種
・倍強度ガラス	材料板ｶﾞﾗｽの種類： ・ﾌﾛｰﾄ板ｶﾞﾗｽ　・磨き板ｶﾞﾗｽ ・熱線吸収ﾌﾛｰﾄ板ｶﾞﾗｽ ・熱線吸収磨き板ｶﾞﾗｽ ・熱線反射ｶﾞﾗｽ

(2)ガラス留め材：

種 別	区 分	
○ｼｰﾘﾝｸﾞ材		
・ｶﾞｽｹｯﾄ	・ｸﾞﾚｰｼﾞﾝｸﾞｶﾞｽｹｯﾄ	・ｸﾞﾚｰｼﾞﾝｸﾞﾁｬﾝﾈﾙ(注) ・ｸﾞﾚｰｼﾞﾝｸﾞﾋﾞｰﾄﾞ ・先付ｸﾞﾚｰｼﾞﾝｸﾞﾋﾞｰﾄﾞ+ｼｰﾘﾝｸﾞ材 ・先付･後付ｸﾞﾚｰｼﾞﾝｸﾞﾋﾞｰﾄﾞ
	・構造ｶﾞｽｹｯﾄ	

(注)枠見込み70のｻｯｼに用いる引違い及び片引きの障子の場合のみ特定とする。
ただし、外部に面する複層ｶﾞﾗｽ、合せｶﾞﾗｽ、網入板ｶﾞﾗｽ及び線入板ｶﾞﾗｽの留め材には用いない。

・防火戸のガラス留め材：建築基準法に基づき定められ又は認定を受けた条件による。

Ⅱガラス溝の寸法、形状等 [16.14.3]

アルミ建具、鋼製建具、ステンレス製建具のガラス溝の大きさ
（面クリアランス・エッジクリアランス・掛り代）：
※建具の製造所の仕様による　・(　　)

第１７章　カーテンウォール工事

項目	特記事項
○ カーテンウォール Ⅰ性能 [17.1.3]	(1)諸性能値： 性 能 / ﾒｶﾙｺｰﾄﾞ ○耐風圧性能 / 1757N/㎡ ○耐震性能 / 1/100の層間変位に対し、ｶﾞﾗｽの損傷及びｽﾍﾟｰｽの脱落が生じないこと 1/300の層間変位に対し、殆ど損傷なく、継続使用に耐えられること ○層間変位追従性能 / L/200以下(L>4m)，L/150以下かつ20mm以下(L≦4m) ・耐温度差性能 ○水密性能 / 1000Pa ○気密性能 / A-4等級同等 ・遮音性能 ・断熱性能 ・耐火性能 ・ ・ (2)性能の確認方法及び判定方法： ※性能検討諸資料による監督員の承諾 ・(　　)

第１８章　塗装工事

項目	特記事項
○ 材料 [18.1.3]	(1)塗料のホルムアルデヒド放散量：※Ｆ☆☆☆　・(　　) (2)防火材料の指定 ：※図示　・(　　) (3)仕上げ：※指定色仕上げ
○ 素地ごしらえ [18.2.2] ～[18.2.7]	素地ごしらえの種別： 塗装面の種類 / 種 別 ○木 部 / ※A種(不透明塗料塗りの場合) ※B種(透明塗料塗りの場合) ○鉄鋼面 / ・A種　・B種　※C種　(DPの場合はB種) ○亜鉛めっき鋼面 / ・A種　・B種 ※塗り工法に応じた節の規定による ○ﾓﾙﾀﾙ面及び せっこうﾌﾟﾗｽﾀｰ面 / ・A種 ※B種 ・ｺﾝｸﾘｰﾄ面 及びALC･ﾎﾞﾙ面 / ・A種 ※B種 ※表18.2.6のA種(DP塗りの場合) ○ｺﾝｸﾘｰﾄ面 及び押出成形ｾﾒﾝﾄ板面 / ・A種　・B種 ※塗り工法に応じた節の規定による ○せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面 及びその他ﾎﾞｰﾄﾞ面 / ※A種(目地工法が継目処理工法の場合) ※B種(目地工法が継目処理工法以外の場合)
○ 錆止め塗料塗り Ⅰ塗料種別 [18.3.2]	錆止め塗料の種別：

塗装下地面の種類			錆止め塗料の種別	工程の種別
鉄鋼面	見え掛り部分	SOP	※A種	※A種 ・B種
		DP	※1回目　C種 2，3回目　D種	〔表18.3.4〕
		EP-G	・A種　※B種	※A種 ・B種
	見え隠れ部分	SOP	※A種	・A種　※B種
		DP	※1回目　C種 2，3回目　D種	〔表18.3.4〕
		EP-G	・A種　※B種	・A種　※B種
亜鉛めっき鋼面	鋼製建具等	SOP	※A種 ・B種	※A種 ・B種
		DP	※B種	〔表18.3.6〕
		EP-G	※C種	※A種 ・B種
	鋼製建具以外	SOP	・A種　※B種	・A種　※B種
		DP	※B種	〔表18.3.6〕
		EP-G	※C種	・A種　※B種

Ⅱ錆止め塗料塗り [18.3.3]

○ 耐候性塗装塗り（ＤＰ）
Ⅰ鉄鋼面対候性塗料塗 [18.7.2]

上塗り材料の等級：○１級(フッ素系)　・２級（シリコン系）　・３級（ポリウレタン系）

Ⅱ亜鉛メッキ鋼面対候性塗料塗 [18.7.3]

上塗り材料の等級：○１級(フッ素系)　・２級（シリコン系）　・３級（ポリウレタン系）

Ⅲ押出成形セメント板面
耐候性塗装塗り [18.7.4]

工程種別：・Ａ種(フッ素系)　・Ｂ種（シリコン系）　・Ｃ種（ポリウレタン系）
(1)色　：・透明（着色）　・透明（無着色）　・不透明
(2)仕上　：・溝筋防止処理　・(　　)
(3)程度　：・(　　)

◔ つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（ＥＰ－Ｇ）
Ⅰ ｺﾝｸﾘｰﾄ面、ﾓﾙﾀﾙ面、ﾌﾟﾗｽﾀｰ面、せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面、その他ﾎﾞｰﾄﾞ面等 [18.8.2]

※適用：艶については原則3部ｳﾔとするが、色見本を提出の上、監督員の確認を得ること。
工程種別：・Ａ種　※Ｂ種

Ⅱ屋内鉄鋼面 [18.8.4]

工程種別：・Ａ種　※Ｂ種

・ 合成樹脂エマルションペイント塗り（ＥＰ） [18.9.2]

工程種別 ：・Ａ種　※Ｂ種

○ ウレタン樹脂ワニス塗り（ＵＣ） [18.10.2]

工程種別 ：・Ａ種　※Ｂ種
工程１着色：・適用

・ ピグメントステイン塗り [18.11.2]

※表18.11.1による
※仕様：（　　）同等品

・ 木材保護塗装塗り(ＷＰ) [18.12.2]

工程種別：・Ａ種　※Ｂ種

○ 疎水剤塗布（ＣＷＰ）

適用箇所：※図示
仕様：ランデックスコートWS疎水剤 B工法　指定色（大日技研工業）同等品

工事名称	（仮称）子ども・子育て支援複合施設整備事業建築工事		図面番号 A-006
図面名称	特記仕様書（3）	縮尺(A1)	
担当課	生涯学習部　生涯学習課	工事番号 08-01	通し番号 7
	健康こども部　こども課		
	財務部　営繕課		全 226 葉

第１９章　塗装工事

項目 / 特記事項

⊙ ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り

Ⅰ材料　[19.2.2]

(1) ビニル床シート：

仕上げの略記号	種類	色柄	厚さ(mm)	熱溶接工法	使用箇所	参考品番等
⊙FS(A)	※FS ・(　　)	⊙無地 ・ﾏｰﾌﾞﾙ ・(　　)	※2.0 ・2.5 ・(　　)	※行う ・行わない	※図示 ・(　　)	⊙ﾊﾟｰﾏﾑｰﾑ EM(ｶﾀﾛｸﾞ)同等品
⊙FS(B)	※FS ・(　　)	・無地 ・ﾏｰﾌﾞﾙ ⊙仕様による	※2.0 ・2.5 ・(　　)	※行う ・行わない	※図示 ・(　　)	⊙消臭ｳｨﾙｸﾘｰﾝ(ｶﾀﾛｸﾞ)同等品
⊙FS(C)	※FS ・(　　)	・無地 ・ﾏｰﾌﾞﾙ ⊙仕様による	・2.0 ⊙2.5 ・(　　)	※行う ・行わない	※図示 ・(　　)	⊙ﾋﾞｭｰｼﾞｽ SAND-Hexa(ｶﾀﾛｸﾞ)同等品

(2) ビニル床タイル：

仕上げの略記号	種類	色柄	寸法(mm) W×D	厚さ(mm)	使用箇所	参考品番等
⊙KT	※KT	・(　　) ⊙仕様による	450×450	・2.0 ⊙3.0 ・(　　)	※図示 ・(　　)	⊙ﾓﾙﾀﾙ ﾀｲﾙ(ｶﾀﾛｸﾞ)同等品

(3) ビニル幅木：

仕上げの略記号	種類	高さ(mm)	厚さ(mm)	形状	使用箇所	参考品番等
⊙VB(　)	⊙ソフト幅木 ・長尺幅木	※40・60 ・75・100	※1.5以上	※棒なし ・棒あり	※図示 ・(　　)	

(4) 接着剤：
ビニル床シート及びビニル床タイル用接着剤のホルムアルデヒド放散量：
※Ｆ☆☆☆☆　・(　　)

⊙ﾓﾙﾀﾙ塗り下地、ｺﾝｸﾘｰﾄ下地、ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ材塗り下地、木造下地以外の下地の工法：非吸水工法(下地:金属)
⊙ビニル床シート張りの接合部の処理する場合の工法
※熱溶接工法　・(　　)

Ⅱ施工　[19.2.3]

⊙ カーペット敷き

Ⅰ材料　[19.3.2]

・(1) 織じゅうたんの品質：

仕上げの略記号	種別	織り方	パイル形状	帯電性	使用箇所	参考品番等
・CP(　)	・A種 ・B種 ・C種	・ｳｨﾙﾄﾝ ・ﾀﾞﾌﾞﾙﾌｪｰｽ ・ｱﾈﾐﾆｽﾀｯﾌﾟﾄﾞ	・ｶｯﾄ ・ﾙｰﾌﾟ	・3kV以下 ・(　　)		

・パイル糸の種類等に特記なき場合の種別：　・A種　　・B種　　・C種

・(2) タフテッドカーペットの品質：

仕上げの略記号	パイル長	パイル形状	帯電性	使用箇所	参考品番等
・CP(　)		・ｶｯﾄﾊﾟｲﾙ ・ﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ ・ｶｯﾄ/ﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ	・3kV以下 ・(　　)		

・(3) タイルカーペット（JIS L 4406）：

仕上げの略記号	種別	パイル形状	寸法	総厚さ(mm)	使用箇所	参考品番等
⊙TCP	※第一種 ・第二種	・ｶｯﾄ ※ﾙｰﾌﾟ ・ｶｯﾄ/ﾙｰﾌﾟ	※500角 ・(　　)	※6.0 ・(　　)	⊙図示	⊙ﾀﾋﾞｽﾀﾌﾞﾚｰｽ Ⅱ(ｶﾀﾛｸﾞ)同等品

(4) 下敷き材(グリッパー工法で使用する下敷き材)：
※JIS L 3204（反毛フェルト）第2種2号 呼び厚さ8mm
・(　　)

(5) 見切り、押え金物：
材 質：※SUS

(6) 接着剤のホルムアルデヒド放散量：
※Ｆ☆☆☆☆　・(　　)

Ⅱ工法　[19.3.3]

(1) タフテッドカーペットの工法：　・グリッパー工法　　・全面接着工法
(2) 織じゅうたんの接合方法　：※ヒートボンド工法　・つづり縫い
(3) タイルカーペットの敷き方：
平　場　：　・市松敷き　　※模様流し　・(　　)
階段部分：　・市松敷き　　※模様流し　・(　　)

⊙ 合成樹脂塗床

Ⅰ材料及び工法　[19.4.2]　[19.4.3]

(1) 塗床材のホルムアルデヒド放散量：※Ｆ☆☆☆☆　・(　　)
(2) 薄膜型塗床材（合成樹脂塗床材）：

仕上げの略記号	塗床材の種類	工法・仕上げの種類	性能	使用箇所	参考品番等
⊙塗床(P)(駐車場)	・ｴﾎﾟｷｼ樹脂系 ⊙二液水性ｳﾚﾀﾝ樹脂系	・薄膜型塗床工法 ・平滑仕上 ⊙製作所の仕様	・耐薬品 ・耐熱 ・耐荷重 ⊙防塵 ・帯電防止 ⊙防滑 ⊙耐摩耗 ⊙高耐久	⊙駐車場 ⊙搬入作業室	⊙水性ｱｰﾓﾌﾛｱｰU NS工法(SK化研)同等品

(3) 無機質系塗床材：

仕上げの略記号	材料		仕様	使用箇所	参考品番等
⊙塗床(M)	・塗布形 ・一体形 ※浸透形	・ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄ系 ・ｾﾒﾝﾄ系 ・特殊ｼﾘｶ系 ・ｳﾚﾀﾝ化系 ・ｱｸﾘﾙ樹脂系 ※特殊けい酸塩系	・耐磨耗 ・耐熱 ・耐衝撃 ※防塵 ・防滑 ・(　　)	⊙OAﾌﾛｱ下地 ⊙機械室 ⊙電気室 ※EPS、PS ※図示	⊙SKﾊﾟﾘｱｺｰﾄ(SK化研)同等品

⊙ フローリング張り

Ⅰ材料　[19.5.2]

(1) フローリング（JAS 1073）のホルムアルデヒド放散量：
※Ｆ☆☆☆☆、接着剤等不使用（単層ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞに限る）、ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞを放散しない塗料等使用
（単層ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞに限る）、非ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ系接着剤使用並びに非ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ系接着剤及び
ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞを放散しない塗料等使用

Ⅱ工法　[19.5.3]　～[19.5.6]

(1) 単層フローリング：

品名	工法	樹種	厚さ(mm)	幅×長さ(mm)	裏面不陸緩和材	塗装
⊙ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ1等(根太張用)	釘留め	⊙なら ・ぶな ・ひのき ・(　　)	⊙15	⊙75×450以上		※下記による ・OS-ｳｯｸｽ ・生地-ｳｯｸｽ
・ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ1等(直張用)	釘留め	・なら ・ぶな ・かば ・(　　)	・12以上	・75×400以上		※UC(1液形、B種) ・OS-ｳｯｸｽ ・生地-ｳｯｸｽ
・ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ1等(直張用)	接着	・なら ・ぶな ・かば ・(　　)	・8以上	・75×400以上	※合成樹脂発泡ｼｰﾄ	※UC(1液形、B種) ・OS-ｳｯｸｽ ・生地-ｳｯｸｽ
・ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ1等(直張用)	接着	・なら ・ぶな ・かば ・(　　)	・15	・303×303	※合成樹脂発泡ｼｰﾄ	※UC(1液形、B種) ・OS-ｳｯｸｽ ・生地-ｳｯｸｽ

※ならは、国産材とする。
⊙仕様：国産ナラ材無垢材　ABBグレード　t15×75×L450　～900定尺貼り
特色染色ｳﾚﾀﾝ艶消し上げ　株式会社昭和洋樽製作所同等品
※割付は、監督員、監理者の確認を得ること

(3) 釘留め工法及び接着工法に用いる接着剤のホルムアルデヒド放散量：
※Ｆ☆☆☆☆　・(　　)

⊙ コルクタイル敷き

(1) コルクタイル及び接着剤のホルムアルデヒド放散量：※Ｆ☆☆☆☆　・(　　)
(2) 床暖房対応：⊙する　・しない
(3) サイズ：⊙300×300×t5.0
(4) 仕様：⊙特殊樹脂ﾜｯｸｽ仕上ｺﾙｸﾀｲﾙAWM-NS(ﾅﾁｭﾗﾙ)（東亜ｺﾙｸ）同等品

⊙ せっこうボード、その他ボード及び合板張り　[19.7.1]　～[19.7.3]

Ⅰせっこうボード、その他ボード

(1) ボード類の規格：　表19.7.1による

仕上げの略記号	規格名称	厚さ(mm) 防火性能	程度
⊙GB-R	石膏ボード	・9.5(準不燃) ⊙12.5(不燃) ・15.0(不燃)	
⊙GB-F	強化石膏ボード	⊙12.5(不燃) ・15.0(不燃) ⊙21.0(不燃)	
⊙GB-H	硬質石膏ボード	⊙・9.5(不燃) ・12.5(不燃)	
⊙GB-S	シージング石膏ボード	・9.5(準不燃) ・12.5(準不燃) ⊙12.5(不燃)	
・GB-NC	不燃積層石膏ボード	・9.5(不燃)	
⊙FG	ｶﾞﾗｽ繊維不織布入り石膏ボード	⊙・6.0(不燃) ・8.0(不燃) ・12.5(不燃)	※ｴﾌｼﾞｰﾎﾞｰﾄﾞ(ユーフンドエーマテリアル)同等品
・GB-P	吸音用有孔石膏ボード	・9.5(準不燃) ・12.5(準不燃)	
⊙FK	無石綿ｾﾒﾝﾄ珪酸ｶﾙｼｳﾑ板	・5.0(不燃) ⊙・6.0(不燃) ・8.0(不燃) ・10.0(不燃) ・12.0(不燃)	
・FK-D	化粧無石綿ｾﾒﾝﾄ珪酸ｶﾙｼｳﾑ板	・5.0(不燃) ・6.0(不燃)	
⊙FK(A)	ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙ板（内装、軒天用）	・3.0(不燃) ・4.0(不燃) ・5.0(不燃) ⊙6.0(不燃)	※ﾁﾀﾖﾀﾞｵｰﾄﾌﾚｰﾙ(ﾁﾀﾖﾀﾞｳｰﾗ)同等品
・FK(B)	ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙ板（外装用）	・4.0(不燃) ・5.0(不燃) ・6.0(不燃)	※ﾁﾀﾖﾀﾞｾﾗﾌﾚｷ(ﾁﾀﾖﾀﾞｳｰﾗ)同等品
⊙GB-D	天井用化粧石膏ボード	・9.5(準不燃) ⊙9.5(不燃)	
・GB-DW	天井用木調化粧石膏ボード	・9.5(準不燃) ・12.5(不燃)	
・GB-P	天井用石膏吸音ボード	・12.5（不燃） ・	
⊙DR	ロックウール化粧吸音板	⊙・9.0(不燃) ・12.0(不燃)	※ｼｰﾗﾝ平板ｽﾀｰﾀﾞｽﾄ4柄（吉野石膏）同等品
・DR-K	ロックウール化粧吸音板（凹凸）	・12.0(不燃) ・15.0(不燃)	
・DR（軒）	ロックウール化粧吸音板（軒天）	・9.0(不燃) ・12.0(不燃)	
・DR（軒K）	ロックウール化粧吸音板（軒天凹凸）	・15.0(不燃)	
・化粧ﾒﾗﾐﾝ板		・3.0(不燃)	※ｾﾗｰﾙ(AICA)同等品
・内装用木毛ｾﾒﾝﾄ板(F(CB-I))	内装用細木太木繊維化粧板 仕上げ色： ※ﾅﾁｭﾗﾙ　・ｸﾘｰﾑ　・白 ・ﾗｲﾄｸﾞﾚｰ　・指定色	・14(準不燃) ・18(準不燃)	※ﾚｲﾔﾄﾞ（竹村工業）同等品 ※見えがかり部のﾋﾞｽ部は同色仕上げ(NAD艶消し)とする
・高圧木毛ｾﾒﾝﾄ板(F(CB-HP))	高圧木毛ｾﾒﾝﾄ板	・15(準不燃) ・20(準不燃) ・25(準不燃) ・30(準不燃)	※TSﾎﾞｰﾄﾞ（竹村工業）同等品 ※見えがかり部のﾋﾞｽ部は同色仕上げ(NAD艶消し)とする
・強化高圧木毛ｾﾒﾝﾄ板(F(CB-RP))	強化高圧木毛ｾﾒﾝﾄ板	※20	※ｽﾗﾗﾎﾞｰ（竹村工業）同等品 見えがかり部のﾋﾞｽ部は同色仕上げ(NAD艶消し)とする
・木毛ｾﾒﾝﾄ板(F(CB))	普通木毛ｾﾒﾝﾄ板	・15(準不燃) ・20(準不燃) ・25(準不燃) ・	※見えがかり部のﾋﾞｽ部は同色仕上げ(NAD艶消し)とする
・不燃木毛ｾﾒﾝﾄ板(F(CB-NC))	不燃木毛ｾﾒﾝﾄ板	・15(不燃) ・20(不燃) ・25(不燃) ・	※日化ﾉﾝﾒﾝﾎﾞｰﾄﾞ（日化ﾎﾞｰﾄﾞ）同等品 ※見えがかり部のﾋﾞｽ部は同色仕上げ(NAD艶消し)とする

(2) ホルムアルデヒド放散量：※Ｆ☆☆☆☆　・(　　)

Ⅱ合板類

(1) 合板類：

種類	表板の樹種	板面の品質	厚さ(mm)	接着の程度	処理
・普通合板	・ﾗﾜﾝ ・しな ・生地のまま	・1等 ・2等	・4.0 ・5.5 ・6.0 ・9.0	・1類 ・2類	・防虫

種類	化粧板の樹種		厚さ(mm)	接着の程度	処理
・天然木化粧合板	・ﾒｰﾌﾟﾙ ・ﾎﾜｲﾄﾊﾞｰﾁ ・ｵｰｸ		・6.0	・1類 ・2類	・防虫

種類	化粧加工の方法	表面性能	厚さ(mm)	接着の程度	処理
・特殊加工化粧合板	・ｵｰﾊﾞｰﾚｲ ・ﾌﾟﾘﾝﾄ ・塗装	・ﾄﾞﾗｲﾌﾞ ・FWﾀｲﾌﾟ ・WWﾀｲﾌﾟ ・SWﾀｲﾌﾟ	・3.0 ・6.0	・1類 ・2類	・防虫

(2) ホルムアルデヒド放散量：※Ｆ☆☆☆☆　・(　　)

・軽量鉄骨下地ボード遮音壁に用いる遮音シール材：
・アクリル系シーリング
※ポリウレタン系シーリング
・ジョイントコンパウンド

・合板の張付け：
・Ａ種 ※Ｂ種

Ⅲ遮音シール材

⊙せっこうボードの目地工法等：
※縁目処理工法（見えがかり部）　※突き付け工法（見え隠れ部）　・目透し工法

⊙縁ぎ目工法のせっこうボードのエッジの種類：
※テーパーエッジ　・ベベルエッジ

⊙突付け工法、目透かし工法のせっこうボードのエッジの種類：
※ベベルエッジ　・スクェアエッジ

Ⅳ工法　[19.7.3]

⊙ 壁紙張り

Ⅰ材料　[19.8.2]

(1) 壁紙：

仕上げの略記号	壁紙の種類	防火性能	参考品番等
・VC(　)	・紙系壁紙 ・繊維系壁紙 ・塩化ﾋﾞﾆﾙ樹脂系壁紙 ・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ系壁紙 ・無機質系壁紙 ・	・不燃 ・準不燃 ・難燃	
⊙KC	・紙系壁紙 ・繊維系壁紙 ・塩化ﾋﾞﾆﾙ樹脂系壁紙 ・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ系壁紙 ・無機質系壁紙 ※紙系繊維壁紙	※不燃 ・準不燃 ・難燃	※ﾙﾌｧｻﾞｰ・ﾌﾘｰｽﾞ(エンボスタイプ)(日本ﾙﾌｧｻﾞｰ)同等品

(2) 壁紙・接着剤のホルムアルデヒド放散量：※Ｆ☆☆☆☆　・(　　)

・コンクリート面の素地ごしらえ　：・Ａ種　※Ｂ種　[表18.2.5]
・せっこうボード面の素地ごしらえ：・Ａ種　※Ｂ種　[表18.2.7]

Ⅱ施工　[19.8.3]

⊙ 断熱・防露

Ⅰ断熱材打込み工法　[19.9.2]

(1) 材料：JIS A 9521(建築用断熱材)

種類		厚さ(mm)	程度
・ﾋﾞｰｽﾞ法ﾎﾞﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材又は保温材	・1号 ・2号 ・3号 ・4号	・25 ・50 ・図示	
⊙押出法ﾎﾞﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材又は保温材	・1種b	・25	
	⊙3種bC	⊙50	⊙土に面するｽﾗﾌﾞ底
	⊙3種bA	⊙50	⊙地下二重壁内ﾄﾞﾚｲﾅｰﾊﾞﾙﾙ(ﾀﾞｲﾖﾎﾟﾝ)同等品
	⊙3種bAⅡ	⊙50	⊙A防水断熱
・硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱材又は保温材A種	・1種1号 ・1種2号 ・1種3号 ・2種1号 ・2種2号 ・3種1号 ・3種2号	・15 ・25 ・30 ・図示	
⊙ﾌｪｰﾙﾌｫｰﾑ断熱材又は保温材	・1種1号 ⊙1種2号ⅡB ・1種3号 ・2種1号 ・2種2号 ・2種3号 ・3種1号	・15 ・20 ・25 ⊙30 ・	適用:金属屋根下地断熱

(2) フェノールフォーム断熱材のホルムアルデヒド放散量：
※Ｆ☆☆☆☆　・(　　)

(3) 開口部等補修のため貼り付け用接着剤のホルムアルデヒド放散量：
※Ｆ☆☆☆☆　・(　　)

Ⅱ断熱材現場発泡工法　[19.9.3]

断熱材：JIS A 9526（建築物断熱用吹付硬質ウレタンフォーム）

材種	種類	厚さ(mm)	程度
⊙現場吹付硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ	※A種1 ⊙A種1H ・(　　)	・15 ⊙25 ・30 ・図示	

※現場吹付け硬質ウレタンフォームの発泡剤については、オゾン層を破壊しないフロン（HFC）等若しくはフロンを使用しない工法とすること。

⊙ 吸音材

材種 仕上の略記号	品質・規格	厚さ(mm)	程度
・ﾛｯｸｳｰﾙ吸音材(RW)	ﾛｯｸｳｰﾙ吸音ﾍﾞﾙﾄ1号	・25 ・図示	
⊙ｸﾞﾗｽｳｰﾙ吸音材(GW)	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ吸音材 ⊙24K ・32K ・(　　)	・25 ・50 ⊙図示	
・ｸﾞﾗｽｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ(GW-B)	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ吸音材 ・24K ・32K ・(　　)	・25 ・50 ・図示	
⊙ｸﾞﾗｽｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ 障子ｶﾞﾗｽロス額縁貼り(GW-GC(A))	ｶﾞﾗｽロス色: ※ホワイト ※ﾌﾞﾗｯｸ/ｸﾞﾚｰ/ﾗｲﾄﾞｸﾞﾚｰ 密度: ※32K ・40K ・(　　)	⊙25 ・50 ・図示	
⊙ｸﾞﾗｽｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ 障子ｶﾞﾗｽロス額縁貼り(GW-GC(B))	ｶﾞﾗｽロス色: ※ホワイト ・ﾌﾞﾗｯｸ/ｸﾞﾚｰ/ﾗｲﾄﾞｸﾞﾚｰ 密度: ※32K ・40K ・(　　)	⊙25 ・50 ・図示	
⊙撥水ｸﾞﾗｽｰﾙﾎﾞｰﾄﾞ 十撥水ｶﾞﾗｽクロス(GW-WR)	密度: ※32K	※50	

第２０章　ユニット及びその他工事

項目 / 特記事項

⊙ フリーアクセスフロア　[20.2.2]

適用箇所	⊙図書館事務室	・	・
寸法(mm)	※500×500 ・	※500×500 ・	※500×500 ・
材質	⊙ｽﾁｰﾙ製 ・ｽﾁｰﾙ製(芯:ｳｯﾄﾞｺｱ) ・FRC製 ・樹脂製	・ｽﾁｰﾙ製 ・ｽﾁｰﾙ製(芯:ｳｯﾄﾞｺｱ) ・FRC製 ・樹脂製	・ｽﾁｰﾙ製 ・ｽﾁｰﾙ製(芯:ｳｯﾄﾞｺｱ) ・FRC製 ・樹脂製
高さ(mm)	・	・	・
構法	※製作所の仕様による ・(　　)	・(　　)	・(　　)
耐震性能	※製作所の仕様による ・(　　)	・(　　)	・(　　)
所定荷重	・3000N ・5000N	・3000N ・5000N	・3000N ・5000N
帯電防止性能	※製作所の仕様による ・(　　)	・(　　)	・(　　)
漏えい抵抗	※製作所の仕様による ・(　　)	・(　　)	・(　　)
耐荷重性能	※標準仕様書による ・(　　)	※標準仕様書による ・(　　)	※標準仕様書による ・(　　)
耐衝撃性能	※標準仕様書による ・(　　)	※標準仕様書による ・(　　)	※標準仕様書による ・(　　)
ﾛｰﾘﾝｸﾞﾛｰﾄﾞ性能	※標準仕様書による ・(　　)	※標準仕様書による ・(　　)	※標準仕様書による ・(　　)
耐燃焼性能	※標準仕様書による ・(　　)	※標準仕様書による ・(　　)	※標準仕様書による ・(　　)
参考品番等	・	・	・

寸法精度：※20.2.2(2)(ｲ)による　・(　　)

⊙ 可動間仕切　[20.2.3]

適用箇所	⊙ｶﾞﾗｽﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝ	・	・
構造形式による種類	・ｽﾀｯﾄﾞ式⊙仕様による(・内観　・露出) ・ﾊﾟﾈﾙ式 ・ｽﾀｯﾄﾞﾊﾟﾈﾙ式	・ｽﾀｯﾄﾞ式(・内観　・露出) ・ﾊﾟﾈﾙ式 ・ｽﾀｯﾄﾞﾊﾟﾈﾙ式	・ｽﾀｯﾄﾞ式(・内観　・露出) ・ﾊﾟﾈﾙ式 ・ｽﾀｯﾄﾞﾊﾟﾈﾙ式
構成材の種類	※仕様による ・(　　)	※図示 ・(　　)	※図示 ・(　　)
遮音性	※仕様による	※(　　)	※(　　)
パネルのﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量	※Ｆ☆☆☆☆ ・(　　)	※Ｆ☆☆☆☆ ・(　　)	※Ｆ☆☆☆☆ ・(　　)
表面仕上げ	※仕様による	※図示	※図示
パネル内に取り付ける建具の寸法形状	※図示	※図示	※図示
程度	※CB-GS(ｺﾏﾆｰ)同等品		

⊙ トイレブース　[20.2.5]

(1) パネル表面材　：・メラミン化粧板　・ポリエステル樹脂系化粧板
・シート貼り　⊙塗装鋼板
(2) パネルのﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量：※Ｆ☆☆☆☆　・(　　)
(3) 脚部の種類　：※中ホタイプ　・(　　)
(4) ドアエッジの材質　：※製造所の仕様による　・(　　)
(5) パネル構造　：※フラッシュ構造　・積層構造　・ハニカム構造
(6) 付属金物　：※図示
(7) 程度　：※BRIDIA(ｺﾏﾆｰ)　同等品

⊙ 手すり　[20.2.6]

材料及び仕上げ：

施工箇所	材料の種別		仕上げ		強度(水平荷重)(N/m)	
⊙外部手摺	⊙鋼 ・ｱﾙﾐﾆｳﾑ	・ｽﾃﾝﾚｽ ・(　　)	⊙溶融亜鉛ﾒｯｷ ・ﾘﾝ酸処理		・495 ・980 ⊙1450 ・2950	・735 ・1225 ・1960 ・(　　)
⊙内部手摺	⊙鋼 ・ｱﾙﾐﾆｳﾑ	・ｽﾃﾝﾚｽ ・(　　)	⊙塗装(EP-G)		・495 ・980 ⊙1450 ・2950	・735 ・1225 ・1960 ・(　　)

⊙ 階段滑り止め　[20.2.7]

(1) 材種：・ステンレス製（SUS304）　・黄銅製押出形材
・アルミ製押出型材　・ｺﾝｸﾘｰﾄ切欠き(10mm×10mm)
(2) 形状：・タイヤ入り　・タイヤ無し
(3) 寸法：・15mm程度　・35mm程度　・40mm程度　・50mm程度
(4) 工法：・埋込み工法　※接着工法
(5) 程度：※(　　)同等品

⊙ 鏡　[20.2.10]

施工箇所	寸法（W×H）(mm)	取付下地(mm) 仕様	取付下地(mm) 寸法	厚さ
⊙各種トイレ ⊙姿見 ⊙手洗い部鏡	※図示	※耐水合板t12.0	※W(=鏡W)×H200 ×H200×2箇所 (上下2)/箇所	※5mm

※枠なしとする。

⊙ 表示　[20.2.11]

(1) 衝突防止表示：※図示　・形状(　　)　寸法(　　)　材質(　　)
(2) 非常用進入口等の表示（消防法適合市販品）：・適用する　⊙適用しない
(3) 表示の詳細：※サイン図による

材料及び仕上げ：

施工箇所	材料の種別	表面処理の種別
※ピット人通孔上 ※床点検口 ・	※ ｽﾃﾝﾚｽ　・銅 ・ｱﾙﾐ　・(　　)	※研磨等仕上げを行わない ・亜鉛めっきC種 ・No.2B　・(　　)

⊙ タラップ　[20.2.12]

⊙横型

種類	寸法(mm)(W×H)	スラット	スラットの幅(mm)	ヘットボックスの材質	ボトムレールの材質	駆動
※ギヤ式 ・(　　)	W×H	※アルミ	※25	※銅製	※銅製	・手動 ・電動

※程度：図示による

⊙ ブラインド　[20.2.14]

⊙手動：※程度：図示による

施工箇所		
操作方式	・スプリング式 ・チェーン式	・スプリング式 ・チェーン式
寸法(W×H)(mm)	W×H	W×H
スクリーンの材種	※製造所の仕様による	※製造所の仕様による
程度	※(　　)同等品	※(　　)同等品
その他の材料	※製造所の仕様による	※製造所の仕様による

⊙ ロールスクリーン　[20.2.15]

⊙手動：※程度：図示による

施工箇所		
操作方式	・スプリング式 ・チェーン式	・スプリング式 ・チェーン式
寸法(W×H)(mm)	W×H	W×H
スクリーンの材種	※製造所の仕様による	※製造所の仕様による
程度	※(　　)同等品	※(　　)同等品
その他の材料	※製造所の仕様による	※製造所の仕様による

⊙ カーテン及びカーテンレール　[20.2.16]

(1) カーテンの形式、付属金物、生地等：※程度：図示による

施工箇所		
シングル・ダブルの別	・シングル ・ダブル	・シングル ・ダブル
形式	・片引き　・(　　) ・引分け　・(　　)	・片引き　・(　　) ・引分け　・(　　)
開閉操作方式	・手引き　・ひも引き ・電動	・手引き　・ひも引き ・電動
生地の種別		
程度	※(　　)同等品	※(　　)同等品
ひだの種類	・つまみひだ(・三つ山　・二つ山) ・箱ひだ　・片ひだ ・プレーンひだ	・つまみひだ(・三つ山　・二つ山) ・箱ひだ　・片ひだ ・プレーンひだ
特殊加工		

(2) カーテンレール及びその付属金物：　※程度：図示による

	レール	ブラケット
強さ区分	※10-90 ・(　　)	・10-90 ・天井直付
材 料、仕上げ	・アルミ(・アルマイト　・着色アルマイト) ・ステンレス(HL) ・スチール(ポリフィン系樹脂被覆)	
形 状	※角型 ・(　　)	
程 度	※(　　)同等品	

(3) フック(ひるかん)の材種：　※銅製　・樹脂製
(4) 暗幕用カーテンの両端、上部及び召合せの重なり：
※300mm以上　・(　　)

⊙ 点検口

⊙天井点検口
材質：※アルミ押出型材 焼付塗装(標準色)
程度：※目地タイプ　ﾊﾟﾈｯｸMMⅡ(ｹｲﾋﾝ業)同等品
サイズ、個数及び開口補強個数：
※450×450：73箇所
※600×600：6箇所

⊙床点検口(外部)
材質：※ステンレス
仕様：※床材仕上はめ込みタイプ　※密閉型　※鍵付　※T-20
程度：※MKSMR-S-6070(ｶｽﾉｸﾘ)同等品
サイズ、個数及び開口補強個数：
※600×600：10箇所

⊙床点検口(内部)
材質：※ステンレス
仕様：※床材仕上はめ込みタイプ　※密閉型(防水防臭型)　※鍵付
程度：※ﾆｭｰﾊｯﾁNHBBS　NHBBS-6006(ｹｲﾋﾝ業)同等品
サイズ、個数及び開口補強個数：
※600×600：12箇所

工事名称	（仮称）子ども・子育て支援複合施設整備事業建築工事		図面番号 A-007
図面名称	特記仕様書（4）	縮尺(A1)	
担当課	生涯学習部　生涯学習課	工事番号 08-01	通し番号 8
	健康こども部　こども課		
	財務部　営繕課		全 226 葉

⊙地下二重壁点検口
材質： ※ビニール
仕様： ※壁材仕上はめ込みタイプ　※鍵なし
程度： ※WGS60O-6(創建)同等品
サイズ、個数及び開口補強個数：
※600×600：8箇所

⊙ 可動防煙垂壁　⊙回転式　・巻上げ式
⊙仕様：ｾﾚｵｰﾙｽﾁｰﾙ製回転式（文化ｼｬｯﾀｰ）同等品

⊙ ピクチャーレール　⊙仕様：壁付ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ L-3(12.5mm)（TOSO）同等品
⊙ﾌｯｸ付　仕様：L ﾌｯｸ15B（TOSO）同等品　箇所数：12個/箇所

⊙ 縁受石　⊙仕様：既製ｺﾝｸﾘｰﾄ製　W250×L300×H150

⊙ 家具　⊙図示による

⊙ サイン　⊙図示による
⊙屋外ｻｲﾝの基礎：鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ　18-8-25　サイズ、配筋は図示による

⊙ 洗面カウンター　施工箇所：※図示
仕様　：※図示

⊙ 調乳器　施工箇所：※図示
仕様　：※調乳用温水器CH22-3（シンクー体型）（Combi）同等品

⊙ 汚垂石　施工箇所：※図示
仕様　：※ﾊｲﾄﾞﾛｾﾗ-ﾌﾛｱ PU（薄型）600×900（TOTO）同等品

⊙ トイレ手摺　小便器用手摺　：※OAS-HB-301-UF2MB(ユニオン)同等品　（取付下地は図示による）
大便器用手摺　：※OAS-HB-202-UF2MB(ユニオン)同等品　（取付下地は図示による）
~~洗面用手摺　：※OAS-HB-401-UF2MB(ユニオン)同等品(2本ﾆ箇所)~~
大便器（幼児用）手摺　：※TYB10P1#NW1(TOTO)同等品

⊙ ベビーチェア　仕様：⊙平壁設置ﾀｲﾌﾟ　（YKA15S(TOTO)同等品）
取付下地：※耐水合板t12 H200×W500×6箇所/箇所
⊙コーナー設置ﾀｲﾌﾟ（YKA16S(TOTO)同等品）
取付下地：※耐水合板t12 H200×W200×4箇所/箇所

⊙ ベビーシート　仕様：⊙側面ﾀｲﾌﾟ（YKA25S(TOTO)同等品）
取付下地：※耐水合板t12 H360×W800/箇所
・正面ﾀｲﾌﾟ（YKA24S(TOTO)同等品）
取付下地：耐水合板t12 H200×W800/箇所

⊙ ベビーゲート　寸法：⊙W900×H1200 窓有
仕様：⊙ﾍﾞﾋﾞｰｹﾞｰﾄXQDN7953(ｱｲｶ)同等品
設置個所：⊙親子の広場

⊙ 収納式多目的シート　仕様：※EWCS20ARS(TOTO)同等品

⊙ 鍵箱　※100本用(既製品)　×２個
程度：KC-100(BK)(杉田ｴｰｽ)同等品
付属：ﾌﾟﾚｰﾄは1箱あたり300枚用意の上、キー名称を記載すること

⊙ ブックポスト　仕様：⊙ステンレス製(鏡面仕上げ)
程度：⊙図示による

⊙ 郵便ポスト　⊙ｻｲｽﾞ：W391×H390×D412.5
⊙仕様：ｽﾃﾝﾚｽ製 SOV-F150WN型（三協立山）同等品

⊙ 再生木デッキ　⊙ｻｲｽﾞ：W138×t23
⊙仕様：ﾖｰﾛﾟﾋﾟｱﾏﾂｷ（昭和洋樟）同等品
⊙束　：樹脂束

⊙ 掲示板　仕様：⊙図示

⊙ エキスパンション
ジョイント金物　材質　：・アルミニウム　⊙ステンレス
クリアランス：・50　・100　⊙150　・（　）
耐火性能　：⊙有り　・無し

⊙ ｶﾞﾗｽ繊維三軸織物　仕様：⊙G-Trix/SG-1003(ｻﾝｶﾄﾞﾃｯｸ)同等品

⊙ 視覚障害者誘導ブロック　仕様：・インターロッキング　・タイル
※ステンレス製(既製品)　・合成樹脂製(既製品)
程度：誘導ﾌﾞﾛｯｸ(ﾌﾗｯﾄ)
※NSH316TC-290-F(ｶﾅｴ業)同等品 4個/300mm×300mm
警告ﾌﾞﾛｯｸ(ﾌﾗｯﾄ)
※NSH316TC-22-F(ｶﾅｴ業)同等品　25個/300mm×300mm

⊙ くつふきマット　材種　：・塩化ビニル　・天然ゴム　※硬質アルミ合金　・ステンレス鋼
受枠　：※ステンレス鋼(SUS304)8×25
程度　：※Clic-19(ﾐﾂﾏﾝ)同等品
床下地：※防水ﾓﾙﾀﾙ塗り

⊙ 消火器ボックス　⊙床置型　：※UFB-3F-2401（ユニオン）同等品　指定色仕上げ
⊙壁埋込型：※UFB-1F-3025（ユニオン）同等品　指定色仕上げ
・屋外用　：※UFB-3S-3028（ユニオン）同等品

⊙ 消火器　⊙粉末(ABC)蓄圧式消火器
⊙10型　：19本
・50型　：（　）本
・（ ）型：（　）本
※設置位置については、所轄消防署へ確認の上、設置届を提出すること。

⊙ 傘立　サイズ：※図示
箇所数：※図示
配置　：※図示
フレーム、パネル：※図示
程度　：風除室1,2：B11-1312H-St-R4(ﾋﾞｽﾞﾉ)同等品
EV(2)横　：B11-1309H-St-R4(ﾋﾞｽﾞﾉ)同等品

⊙ 車止め　仕様：※NSP-120B（標準ﾀｲﾌﾟ）（ｻｲｺｳ工業）同等品

⊙ 自動ドア開閉ボタン　仕様：※HDS-4iα TL（ﾅﾌﾟｺ）同等品　適用：※トイレ出入口自動ドア内外共

⊙ 鋼製床　仕様：※図示による

⊙ 止水板　材種：※水膨張止水ゴム(10×20)　適用：※土及び水槽に面するﾋﾞｯﾄの基礎打継部分

⊙ 飛散防止フィルム　仕様：※NANO90S(3M)同等品　適用：※ガラス部全て

⊙ 開口補強リスト　(1)天井開口補強(設備用：本工事)

形状	箇所数	形状	箇所数
1000 × 10	8箇所	1000 × 100	12箇所
1000 × 400	7箇所	150 × 150	14箇所
200 × 200	14箇所	250 × 250	12箇所
300 × 300	18箇所	350 × 350	4箇所
550 × 550	4箇所	800 × 400	3箇所
150 × 1235	22箇所	450 × 450	3箇所

(2)壁開口補強

形状	箇所数 開口部の仕様 St-C 100×100 (補強はLGS100に則る)	形状	箇所数 開口部の仕様 St-C 100×100 (補強はLGS100に則る)
150 × 150	1箇所	200 × 200	2箇所
250 × 250	1箇所	300 × 300	4箇所
550 × 550	3箇所		

※建具開口補強の形状及び箇所数については、建具表による。

(3)床（二重床）開口

形状	箇所数	形状	箇所数
Φ150	16箇所	Φ200	55箇所
12,740 × 200	1箇所	6,100 × 70	1箇所
15,600 × 70	1箇所		

(4)床点検口（二重床）

形状	箇所数	形状	箇所数
450 × 450	6箇所		

※床点検口（二重床）の仕様は図示による。

(5)床（RC:1Fｽﾗﾌﾞ）開口補強

形状	箇所数	形状	箇所数
Φ50	4箇所	Φ65	1箇所
Φ75	4箇所	Φ90	1箇所
Φ125	2箇所		

(6)床（RC:1.5F・2F・2.5Fｽﾗﾌﾞ）開口補強

形状	箇所数	形状	箇所数
Φ50	3箇所	Φ75	5箇所
Φ90	1箇所	Φ125	3箇所
Φ200	14箇所	450 × 450	1箇所
450 × 400	2箇所		

(7)床（RC:RFｽﾗﾌﾞ）開口補強

形状	箇所数	形状	箇所数
Φ75	1箇所	Φ125	1箇所
Φ100	11箇所		

第２１章　排 水 工 事

項目 / 特記事項

⊙ 材料
Ⅰ排水管 [21.2.1]

配水管材料：

材種（規格名称）	管の種類・記号	呼び径
・遠心力鉄筋コンクリート管	外圧管（1種）	※図示 ・（ ）
⊙硬質ポリ塩化ビニル管	・ＶＰ	※図示 ・（ ）
	※ＶＵ	※図示 ・（ ）
・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管	・ＲＳ－ＶＰ	※図示 ・（ ）
	※ＲＳ－ＶＵ	※図示 ・（ ）
⊙硬質ポリ塩化ビニル管継手	・ＤＶ	※図示 ・（ ）
	※ＶＵ継手	※図示 ・（ ）

Ⅱ側塊・排水桝等 [21.2.1]
⊙側塊
形状及び寸法：※図示

⊙排水桝及びふた
Ａ 適用荷重 ：⊙歩行用　・T-2　・T-6　・T-14　・T-20　⊙T-25
Ｂ 種類　　：※鋳鉄製　・鋼製　・ＳＵＳ製

⊙鋳鉄製ふたの名称及び種類：

名称	種類	適用荷重
・マンホールふた	・水封形	・500K　・1500K ・5000K　・（　）
	・簡易密閉形（パッキン式）	・500K　・1500K ・5000K　・（　）
	・密閉形（テーパ・パッキン式）	・500K　・1500K ・5000K　・（　）
	・密閉形（ボルト・パッキン式）	・500K　・（　）
・角形格子ふた		・500K　・1500K ・5000K　・（　）
・床化粧マンホールふた	・簡易密閉形（パッキン式）	・1500K　・（　）
	・密閉形（ボルト・パッキン式）	・1500K　・（　）
⊙インタロッキングブロック用化粧マンホールふた	※簡易密閉形（パッキン式）	⊙5000K　・（　）

⊙グレーチング：
Ａ材質　　：※ＳＵＳ製　・鋳鉄製　・鋼製
Ｂ用途　　：・歩行用　⊙車両用
Ｃ適用荷重：・歩行用　⊙T-2　・T-6　・T-14　・T-20　⊙T-25
Ｄメインバーピッチ：※図示　・（ ）mm×#（ ）mm
Ｅボルト固定：⊙有　・無

⊙地業の材料：
砂地業：※山砂　・川砂　・砕砂
砂利事業：※再生クラッシャーラン　・砕切込砂利　・切込砕石

⊙コンクリート材料：※無筋コンクリート　※鉄筋コンクリート
コンクリートの種類：※普通コンクリート
設計基準強度　：※ 18N/mm
スランプ　　：※ 15cm　・ 18cm

⊙鉄筋の種類：※ SD295　・（　）

・凍上抑制層に用いる材料：・（　）
砂の粒度試験：・適用する　⊙適用しない

⊙埋戻し材料の種別：　・ A種 ※B種　・ C種　・ D種

・内法600超かつ深さ1.2m超の排水桝の足掛け金物：
※幅400mm、径22mmのステンレス製
・径22mmの防錆処置を行った鋼製
・径19mmの合成樹脂被覆

・遠心力鉄筋コンクリート管：基床の厚さ：・（ ）mm　種類：・（　）

⊙硬質ポリ塩化ビニル管　：基床の厚さ：※100mm　種類：※砂（埋戻し用）

⊙硬質ポリ塩化ビニル管の継手：※接着剤使用　・ゴム輪使用

Ⅲその他の材料 [21.2.1]

Ⅳ施工 [21.2.2]

⊙ 銜きょ、縁石及び側溝
Ⅰ材料 [21.3.1]

(1)コンクリート縁石及び側溝の形状、寸法：

名称	形状・寸法
・縁石	※図示　・W***×H***
・L型側溝	※図示　・W***×H***
⊙U型側溝	※図示　・W***×H***
⊙U型側溝ふた	※図示　・W***×H***

(2)地業の材料：※再生クラッシャン、切込砂利又は切込砕石
粒度C-40程度

Ⅱ 施工 [21.3.2]
(1)砂利事業の厚さ：※ 100　・（　）

第２２章　舗 装 工 事

項目 / 特記事項

⊙ 共通事項　⊙該当なし

第２３章　植 栽 工 事

項目 / 特記事項

⊙ 共通事項　⊙該当なし

第２４章　環 境 配 慮 改 修 工 事

項目 / 特記事項

⊙ 石綿含有建材の除去工事
Ⅰ一般事項 改修[9.1.1]　⊙浦安市工事特記仕様書（３）による

Ⅱ除去工事共通事項 [改修9.1.2]　⊙浦安市工事特記仕様書（３）による

Ⅲ石綿含有吹付け材の除去
石綿含有保温材等の除去
石綿含有成形板等の除去
石綿含有仕上塗材の除去
[改修9.1.3]～[改修9.1.6]

(1)アスベスト含有建材の除去工法

アスベスト含有建材の種別	工法種別	処分方法
・石綿含有吹付け材	※除去処理 ・封じ込め処理 ・囲い込み処理	※埋立処分(管理型最終処分場) ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）
・石綿含有保温材等	※除去処理 ・封じ込め処理 ・囲い込み処理	※埋立処分(管理型最終処分場) ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）
・石綿含有成形板等	※除去処理 ・封じ込め処理 ・囲い込み処理	※埋立処分(石綿含有石膏ﾎﾞｰﾄﾞ：管理型最終処分場) ※埋立処分(石綿含有石膏ﾎﾞｰﾄﾞ以外：安定型最終処分場) ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）
⊙石綿含有仕上塗材	※除去処理 ・封じ込め処理 ・囲い込み処理	※埋立処分(石綿含有石膏ﾎﾞｰﾄﾞ：管理型最終処分場) ※埋立処分(石綿含有石膏ﾎﾞｰﾄﾞ以外：安定型最終処分場) ・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

(2)アスベスト含有吹付け材の処理を行う範囲は下記による。

棟名	室名	処理を行うアスベスト含有吹付け材の仕様

除去方法は国立研究開発法人建築研究所「建築物の改修・解体時における石綿含有建築用仕上塗材からの石綿粉じん飛散防止処理技術指針」に基づく処理方法とする。

1)アスベスト含有吹付け材の飛散防止措置
※湿潤化　・固形化

(3)アスベスト含有吹保温材等の処理を行う範囲は下記による。

棟名	室名	処理を行うアスベスト含有吹保温材等の仕様

(4)アスベスト含有成形板等の処理を行う範囲は下記による。

棟名	室名	処理を行うアスベスト含有成形板等の仕様

1)アスベスト含有成形板等の除去に伴う外部への飛散防止
※養生シートによる養生を行う　・行わない

(5)石綿含有仕上塗材の処理を行う範囲は下記による。

棟名	室名	処理を行うアスベスト含有成形板等の仕様
日の出公民館	南側外壁	ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系吹付ﾀｲﾙ（主材・下地調整材共）

第２５章　改修３章　防水改修工事

項目 / 特記事項

⊙ 共通事項
Ⅰ改修工法の種類及び工程 改修[3.1.4]　⊙防水改修工法：P1B工法（適用：ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ撤去廻り）
既存仕上げ材（磁器質ﾀｲﾙ）撤去の上、保護ｺﾝｸﾘｰﾄ補修（適用：一般部）

⊙ アスファルト防水
Ⅰ材料 改修[3.3.2]　(1)アスファルトルーフィング類：
⊙改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの種類及び厚さ：
・改修[表3.3.3～表3.3.9]による
⊙種類：仕様による　厚さ：仕様による

⊙部分粘着層付改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの種類及び厚さ：
・改修[表3.3.3, 表3.3.4, 表3.3.8, 表3.3.9]による
⊙種類：仕様による　厚さ：仕様による

Ⅱ種別及び工程 改修[3.3.3]　(1)種別及び工程
⊙改質ｱｽﾌｧﾙﾄ防水常温複合工法
⊙仕様：ﾚｲﾔｰﾙ工法露出砂付仕上げ（ｶﾀﾞﾏ）同等品
平場部：SL-1 SPﾌｧｲﾝｶﾗｰ仕上げ（ｶﾀﾞﾏ）同等品
立上り部：SLV-T SPﾌｧｲﾝｶﾗｰ仕上げ（ｶﾀﾞﾏ）同等品

工事名称	（仮称）子ども・子育て支援複合施設整備事業建築工事		図面番号 A-008
図面名称	特記仕様書（5）	縮尺(A1)	
担当課	生涯学習部　生涯学習課	工事番号 08-01	通し番号 9
	健康こども部　こども課		
	財務部　営繕課		全 226 葉

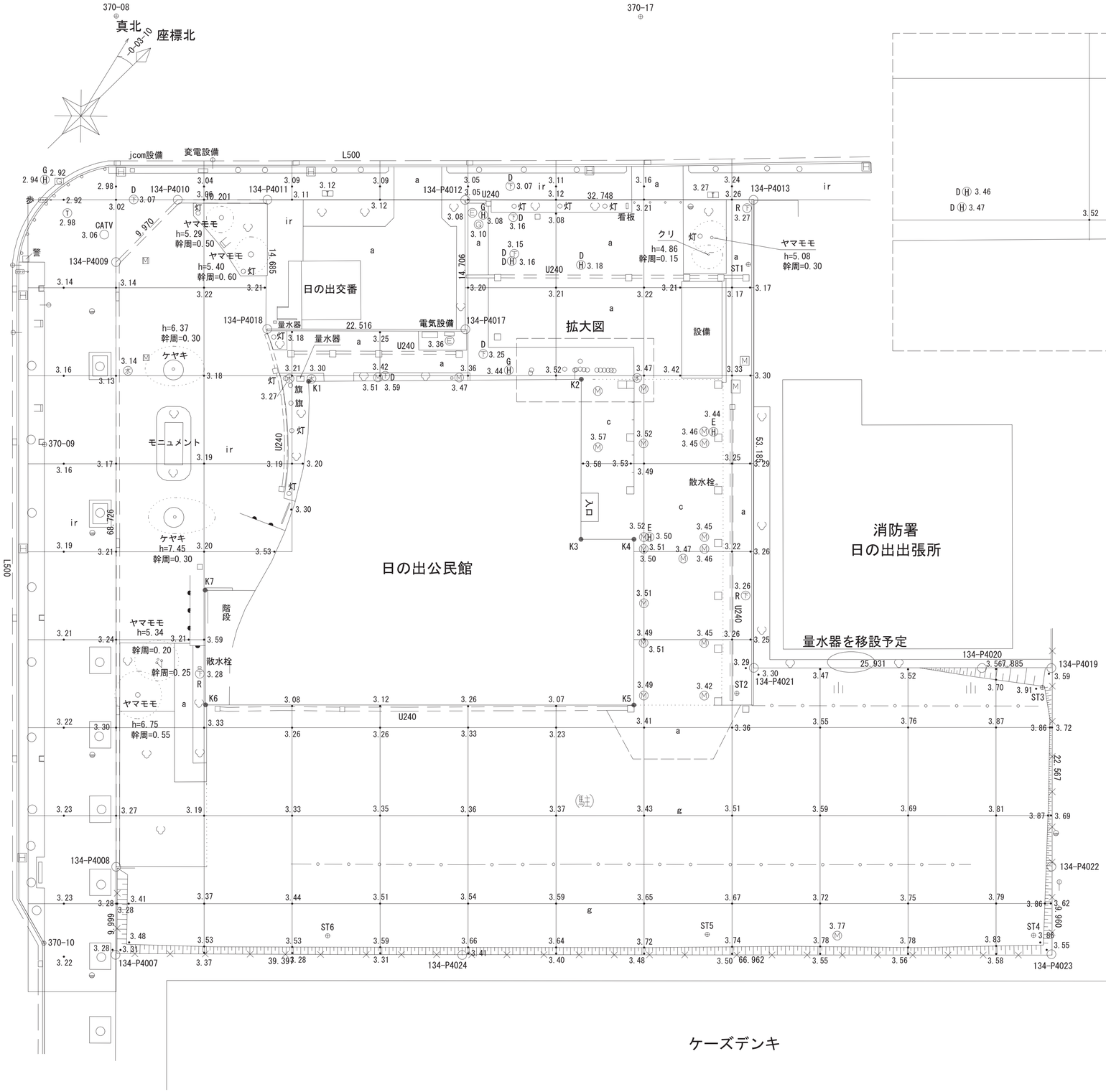
項目			区分	建築	電気	機械	外構	植栽	備考
名称		摘要							
1 各種水槽・ピット（建物と一体構造）	1	コンクリート造の各種水槽・ピット・釜場・人孔蓋・タラップ		○					
	2	SUS,FRP製の各種槽類				□			
	3	各種槽類　屋外大型のものの基礎		○					
	4	各種槽類　屋内外設置のものの基礎		○					
	5	ﾋﾟｯﾄ内人通口（φ600）・通気管（VPφ100）通水管（φ150半割）		○					
	6	二重壁内の水抜管（VP管50φ（１スパン２個）		○					
	7	各種水槽の排水設備の設置及び２次側電気設備				□			
	8	上記の１次側電源供給			△				
	9	汚水槽及び、コンクリート水槽（躯体）防水工事・仕上げ		○					
	10	各種水槽防水工事・仕上げ、オーバーフロー、連通管		○					
2 トレンチ・排水溝	1	共同溝（歩床コンクリート共）		○					
	2	建物、共同溝、接続トレンチ		○					
	3	同上接続部止水板		○					
	4	地下部分の二重壁内（防水・排水）		○					
	5	機器廻りの排水				□			
	6	屋内排水溝		○					排水管は設備工事
3 機器・水槽等の基礎	1	大型機械基礎		○					
	2	一般機器類の基礎（配管、ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ、仕上げ共 ）		○					
	3	機械用ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ型枠入れ ﾎﾞｲﾗｰ、冷凍機等機械設備開係機器				□			墨出し共
	4	機械用ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ型枠入れ 自家発電機その他電気開係機器			△				墨出し共
	5	機器・水槽用基礎（コンクリート・鉄骨等）仕上げ		○					設備配管用基礎・架台は、各々電気・設備工事
		屋内・屋上		○					
		屋外（フェンス共）		○					
	6	機器・水槽等のアンカー取付			△	□			
	7	屋上ハト小屋		○					
	8	屋上及び、屋外設置機器の基礎及び、補強		○					
	9	同上仕上		○					
	10	同上アンカーボルト、箱入、埋込み		○	△	□			
	11	屋内設置機器の床上基礎及び、補強		○					
	12	同上仕上		○					
	13	同上アンカーボルト、箱入、埋込み		○	△	□			
	14	屋内設置機器の床下基礎及び、補強		○					
	15	室外機架台（鉄骨）		○					
	16	共同溝内架台			△	□			
	17	館銘板		○					
	18	同上　照明			△				
4 スリーブ及び補強	1	コンクリート穴あけ 梁、壁木製型枠入れ		○					墨出し、補修除く
	2	コンクリート穴あけ 梁、壁、床スリーブ入れ、箱入		○	△	□			ボイド等
	3	コンクリート穴あけ 床スラブ木製型枠入れ		○					墨出し、補修除く
	4	同上開口部補強 鉄筋切断及び補強筋入れ		○					
	5	開口部補強を必要としないボード等の切開			△	□			
	6	軽量鉄骨下地開口部補強 天井及び壁、ボード切開		○					照明器具、空調吹出口、吸排気ﾀﾞｸﾄ等
	7	軽鉄下地開口部墨出し（電気関係開口部）			△				照明器具等
	8	〃　（機械設備関係開口部）				□			空調吹出口
	9	盤等重量物の下地補強 露出形器具取付用		○					
	10	床下改め口取付及び、開口部補強		○					墨出し共
	11	天井改め口取付及び、開口部補強		○					ボード切込、墨出し共
	12	ECPパネルの穴あけ、補修 ダクト等の貫通部		○					
	13	同上補修 区画貫通処理		○	△	□			モルタル充填等
	14	各種配管用スリーブ		○	△	□			鉄骨ﾌﾚｰﾑ補強は、建築工事
	15	ダクト・ガラリ用スリーブ		○※		□			※建築が取付けるｶﾞﾗﾘの場合
	16	衛生器具（大便器）用取付穴等の箱入れ				□			
	17	埋込型屋内消火栓用取付穴等の箱入れ				□			
	18	分電盤用取付穴等の箱入れ			△				
	19	床貫通の型枠加工		○	△	□			
	20	壁貫通の型枠加工		○	△	□			補強は、建築工事
	21	梁貫通スリーブ・箱入れ部分の補強		○					
	22	床・壁貫通スリーブ・箱入れ部分の補強		○					
	23	外壁貫通スリーブまわりの防水			△	□			
	24	床貫通スリーブまわりの防水		○					
	25	貫通穴及びダクトまわりの空隙モルタル等充填			△	□			
	26	穴埋後の仕上げ補修		○					
	27	設備機器のための床・梁補強		○					
	28	昇降機用スリーブ及び箱入れ		○					
	29	Ｓ，ＳＲＣ梁のスリーブ及び同上の補強		○					
	30	コンクリート水槽連通管、通気管、水抜管、人孔のスリーブ及び、箱入		○					
	31	同上貫通の開口補強		○					
	32	工場製作開仕切及び、同左の天井、床各種設備器具の穴あけ、取付け枠及び、補強		○					
	33	現場製作開仕切・床各種設備器具の穴あけ、取付け枠		○	△	□			補強工事は建築
	34	天井付各種設備器具の穴あけ、取付け枠及び、補強		○	△	□			補強工事は建築
	35	水槽のマンホール及び、タラップ（蓄熱水槽は防臭型＋断熱処理）（汚水・雑排水槽は防臭型）		○					
5 天井切込み	1	埋込照明器具・スピーカー・空調換気用吹出口等の為の下地補強		○					墨出しは、電気・機械工事
	2	埋込照明器具・スピーカー・空調換気用吹出口等の為の天井切込み			△	□			特殊天井仕上は建築工事
	3	換気扇取付用枠及び穴明け		○					
	4	換気扇及び取付枠				□			
	5	換気扇取付工事				□			
6 点検口・点検扉	1	天井点検口		○					
	2	各種シャフト点検扉		○					
	3	床点検口		○					
	4	マンホール（各所）		○					
	5	壁点検口		○					
7 はつり及び補修	1	防火区画貫通部補修		○	△	□			モルタル充填等
	2	機器・配管取付後の壁、床等の補修		○	△	□			仕上げは建築工事
	3	配管の為の貫通及び埋込み個所のはつり・補修		○	△	□			仕上げは建築工事
8 給排水その他設備	1	給水設備				□			
	2	給湯設備				□			
	3	排水設備				□			
	4	衛生器具設備				□			
	5	ガス設備				□			
	6	各種排水金物				□			RDは建築工事
	7	製作流し（含む排水金具）		○					排水接続は設備工事
	8	既製品流し（含む排水金具）				□			
	9	化粧洗面台		○					排水接続は設備工事
	10	化粧洗面台に取付く洗面器具（化粧洗面台と一体のものに限る）		○					排水接続は設備工事
	11	化粧洗面台に取付く電気温水器				□			電源接続は電気工事

項目			区分	建築	電気	機械	外構	植栽	備考
名称		摘要							
	12	化粧マンホール蓋		○	△	□	●		
	13	上記以外のマンホール蓋			△	□			
	14	流し台（造り付け、既製品、排水トラップ、金具付）		○					水切り板、同あけ共
	15	流し台 排水管の接続工事				□			
	16	洗面カウンター		○					
	17	上記に取付く洗面器				□			
	18	陶器製流し台 手洗い				□			
	19	湯沸器				□			電源接続は電気工事
	20	生活排水　建物及び第1桝までの配管（第1桝を含む）				□			
	21	生活排水　第1桝から排水幹線までの配管				□			
	22	生活排水　幹線の配管				□			
9 雨水排水	1	ルーフドレン・オーバーフロー管		○					
	2	フロアードレイン及び排水接続		○					
	3	竪樋・雨水管の防露巻き（室内）		○					
	4	雨水排水管　建物及び第1桝までの配管		○					
	5	雨水排水管　第1桝から雨水貯留槽までの配管(桝を含む)		○					
	6	雨水排水管　雨水貯留槽から第1桝までの配管(桝を含む)		○					
	7	雨水排水管　第1桝から最終桝までの配管(桝を含む)					●		
10 ガラリ	1	外壁・建具に取付けるガラリ（給排気用）		○					
	2	上記チャンバー		○		□			図示による
	3	内壁に取付けるガラリ(遮光ガラリ共)		○					
	4	ガラリへの給排気ダクト接続				□			
	5	外部ガラリ防虫・防鳥ネット		○					
	6	ドアガラリ		○					
	7	外部取付ガラリの排水及び接続				□			
11 電力・動力	1	電力引込設備			△				
	2	受変電設備			△				
	3	幹線動力設備　動力幹線			△				
	4	幹線動力設備　電灯幹線			△				
	5	照明設備		○	△				造作家具付随物は建築工事
	6	コンセント設備		○	△				造作家具付随物は建築工事
	7	外壁・屋外照明設備			△				
	8	動力操作盤及び電動機端子接続までの配管・配線			△	□			
	9	パッケージ型空調機用電源の配管・配線				□			電源供給は電気工事
	10	電動シャッター・自動ドアとその電源の二次側配管・配線及び操作盤押ボタン取付け		○					電源供給は電気工事
	11	同上一次側配線配管、接続			△				
	12	造作家具等への二次側配管・配線		○					電源供給は電気工事
	13	電動書架への二次側配管・配線		○					
12 制御	1	各制御盤以降の配管、配線共			△	□			
	2	各制御盤主開閉器までの配管、配線（一次側）			△				接地共
	3	空調用制御機器及び操作用機器取付けとその配管･配線				□			
	4	衛生用浴面制御機器への取付けとその配管・配線				□			
	5	中央監視設備（一括故障表示設備）				□			
	6	換気扇等の接続及びセンサー			△				
	7	液面電極棒・液面リレー及び電極保持器とそれのへの配線				□			
	8	インターロック連動用配管・配線			△	□			
	9	自動扉及び制御盤（操作機器）		○					
	10	同上用二次側配管配線		○					
	11	同上用電源供給			△				
	12	電動シャッター及び制御盤		○					
	13	同上用二次側配管配線		○					
	14	同上用電源供給			△				
	15	電動ブラインド及び制御盤		○					
	16	同上用二次側配管配線		○					
	17	同上用電源供給			△				
	18	パッケージ制御盤				□			
	19	同上用負荷側配管配線				□			
	20	空調自動制御機器				□			
	21	同上用配管配線				□			
	22	同上用電源供給			△				
	23	動力制御盤				□			
	24	同上用負荷側配管配線				□			
	25	各制御盤遠方監視及び操作回路				□			
	26	同上用ドレン配管				□			
	27	同上用排水金物給水器具				□			
	28	電話交換機			△				
13 空調・換気	1	換気扇取付　ダクトのあるもの				□			
	2	換気扇取付　壁、サッシ等への取付(材共)				□			ﾌｰﾄﾞ取付及び防水共
	3	同上取付板等　木製、アルミ製、鉄製		○					
	4	空調機設備				□			
	5	熱源設備				□			
	6	上記配管設備				□			
	7	一般換気設備・ダクト				□			
14 弱電設備	1	電話配線配管設備			△				
	2	TV共聴設備			△				
	3	機械警備用配管			△				
	4	機械警備用本体及び配線			△				
	5	監視設備			△				
	6	ITV設備用配管			△				
	7	インターホン設備			△				
	8	LAN設備			△				
	9	表示設備			△				
15 防災	1	煙感知器連動防火戸		○					
	2	同上用煙感知器 リレー及びリレーまでの配管配線共			△				
	3	煙感知器連動シャッター リレー取付まで		○					
	4	同上用煙感知器　リレーまでの配管配線共			△				
	5	屋内消火栓 消火ポンプ、制御盤				□			
	6	屋内消火栓起動リレー			△				
	7	同上表示灯及び起動装置			△				
	8	自動火災報知器			△				
	9	防火戸の自動閉鎖装置及び二次側配管・配線			△				
	10	上記切り込み補強		○					
	11	上記の電源供給及びその制御盤・検出器の取付けと配管・配線			△				
	12	消火器		○					
	13	消火器ボックス及び埋込型ボックス		○					
	14	防火防煙シャッター閉鎖装置		○					
	15	上記１次側電源供給			△				
	16	上記連動制御機器取付煙感知器			△				

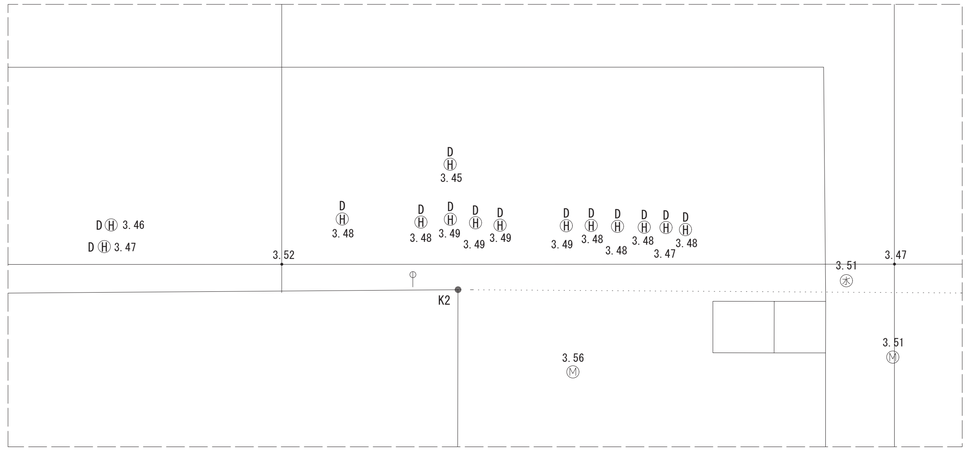
項目			区分	建築	電気	機械	外構	植栽	備考
名称		摘要							
	17	ダクトダンパーの取り付け					□		
	18	自動火災報知設備			△				
	19	非常用照明設備			△				
	20	誘導灯			△				
	21	非常警報設備			△				
	22	非常放送設備			△				
	23	屋内消火栓設備				□			
	24	消火栓ボックス					□		組込み火報総合盤は電気工事
	25	煙感知器連動防火・防煙ダンパーのレリーズ			△				
	26	同上用煙感知器及び防災壁までの配管配線			△				
	27	非常口電気錠開錠機構本体		○					
	28	同上用レリーズ		○					
	29	同上用配管配線及び制御盤		○	△				配線のみ電気工事
	30	消火栓内押釦及び起動表示灯			△				
16 各種ｼｬﾌﾄ	1	コンクリートシャフト改め口		○					
	2	コンクリートダクト内面仕上（モルタル仕上・吸音材内貼・防水）		○					
17 昇降機	1	昇降機設備本体 三方枠、同取付後の壁補修まで（トロ詰め）		○					
	2	三方枠周囲の壁仕上		○					
	3	各階出入口用開口（敷居取付用持出し共）		○					
	4	ピット内防水		○					
	5	動力、照明用電源、接地引込み			△				
	6	コンセント設置　ピット内、機械室内			△				
	7	インタホン配線（シャフト外）			△				
	8	〃　（シャフト内）		○					
	9	昇降機本体及び昇降機扉用三方枠		○					
	10	昇降機遠方制御盤機器の配管・配線		○					
	11	昇降機据付後の出入口壁等の補修		○					
	12	昇降機吊込フック及び取付け		○					
	13	昇降機用受電盤及び二次側配管・配線		○					
	14	昇降機乗場の呼ボタン・インジケータ		○					
	15	マシン・ビーム及び取付け及び防錆塗装		○					
	16	昇降機シャフト・ピット点検用タラップ		○					
	17	昇降機ピット内保守用コンセント			△				
	18	昇降路防煙区画		○					
	19	インターホン用配管・配線			△				
	20	放送用SPかご内取付け		○					
	21	SP用配管・配線（昇降路外）			△				
	22	昇降機インターホン機器取付け		○					
	23	昇降路内煙感知器取付け			△				
	24	監視室監視盤と昇降路間の通信用配管配線工事　（シャフト内）		○	△				
	25	〃　（シャフト外）			△				
	26	昇降機設備　受電盤椅子までの動力、照明用配管配線接続線の引込工事			△				
	27	昇降機庵内保安灯、蓄電池		○					
	28	各階乗り場出入口の敷居受用持出し工事		○					
	29	昇降機かご内空調機		○					
	30	同上用シャフト排水配管				□			
20 その他	1	配管配線用ピット(蓋の切開共)		○					
	2	ニ重床の配管、配線用開口　フリーアクセスフロア等		○					
	3	天井フック		○					
	4	機械室の防音遮音処理		○					
	5	鏡(化粧カウンターは除く)		○					
	6	既製品鏡		○					
	7	特殊サイズ製作鏡		○					
	8	保守管理用タラップ、はしご(トレンチ、床下部、屋上)		○					
	9	テレビアンテナ(取付共)			△				
	10	スチールパーティション取付コンセント等設備器具開口及び補強		○					
	11	同　上　設備器具ﾎﾞｯｸｽ及び天井（床）までの配管			△	□			
	12	機械室・電気室床嵩上げコンクリート打ち		○					
	13	機械室等の消音用内張り仕上げ		○					
	14	壁・天井断熱材吹付け		○					
	15	プロジェクター吊り金物		○					
	16	電気錠・リードケーブル		○	△				電源は電気工事
	17	上記制御盤			△				
	18	視覚障害者用誘導表示		○					
	19	カーテンボックス・ブラインド・スクリーンボックス		○					
	20	カーテン・ブラインド・スクリーン本体（電動）		○	△				1次電源は電気工事
	21	カーテン・ブラインド・スクリーン本体（手動）		○					
	22	ピクチャーレール		○					
	23	風除室自動扉本体・エンジン・センサー		○					
	24	上記１次側電源供給			△				
	25	避難器具		○					
	26	固定机・椅子		○					
	27	黒板							
	28	事務什器備品							備品工事
	29	造作家具		○					
	30	家具備品							備品工事
	31	AV設備			△				
	32	機器搬出入・据付け用フック、1ビーム		○					
	33	電気配線用ピット、縁金物、蓋		○					
	34	上げ床コンクリート打込及び、仕上　受変電設備室		○					
	35	〃　空調、衛生機械室		○					
	36	化粧棚、小便甲板		○					
	37	オーバーフロー管（ＳＵＳ）		○					
	38	身障者便所内手摺				□			
	39	身障者便所内鏡				□			
	40	サイン設備		○					
	41	上記内照式サインの１次側電源供給			△				
	42	同上取付用下地補強		○					
	43	同上電源供給配管配線			△				
	44	各種銘板		○					
	45	設備機器表示板				△	□		
21 外構工事	1	道路側溝用排水　L字・U型と管布設					●		
	2	芝生、種子吹付け						◎	
	3	法枠、モルタル吹付け					●		

項目			区分	建築	電気	機械	外構	植栽	備考
名称		摘要							
	4	コンクリート擁壁					●		
	5	舗装工事		○			●		躯体仕上げは建築工事
	6	地上面植栽						◎	
	7	屋上緑化植栽						◎	
	8	屋上緑化自動灌水設備及び２次側配管						◎	
	9	上記１次側配管及び給水バルブ				□			
	10	雨水用浸透桝・浸透管					●		
	11	Ｕ字溝及びこれに接続する溜桝		○			●		
	12	駐車場等白線引き					●		
	13	外灯			△				
	14	フェンス					●		
	15	ゲート（手動・電動）					●		
	16	駐車場の排水溝・泥溜マス及び蓋		○			●		
	17	屋外排水溝及び蓋		○		□	●		
	18	同上用雑水排水工事及び会所				□			
	19	同上用汚水排水工事及び会所（インバート）				□			
	20	電気引込マンホール			△				
	21	電話引込マンホール			△				
	22	植込部客土及び排水溝						◎	
	23	舗装復旧工事		○					
22 解体工事	1	解体・改修する建物等の機器等の内、再使用する機器等の取外し・再取付		○	△	□			
	2	解体建物等の電気・設備機器・器具の基礎の解体処分		○					
	3	解体建物等の電気・設備機器・器具及びその配管・配線の解体処分			△	□			
	4	解体範囲内外灯・屋外ダクト等及びその基礎の解体処分		○					
	5	解体範囲内埋設桝・配管及びその基礎の解体処分		○					
	6	同上解体範囲内の表層仕上げ解体処分		○					
23 撤去工事	1	和便器の撤去及び補修（配管は除く）							
	2	和便器の撤去後の床塞ぎ工事							
	3	洋便器の撤去及び補修							
	4	ダクト撤去の穴埋め補修							
	5	配管配線撤去部の穴埋補修							
	6	同上　穴埋部の仕上							
	7	機械基礎（RC×鉄骨）の撤去							
	8	地中オイルタンク及び躯体の撤去							
	9	煙道及び躯体共の撤去		○					
	10	既存共同溝の撤去及び外壁穴埋め補修							壁穴埋の補修は建築工事
	11	屋上不用機器ボックス及び配管							
	12	外壁換気ﾌｰﾄﾞ及び換気扇の撤去及び壁穴埋の補修		○					壁穴埋の補修は建築工事
	13	照明コンセント・スイッチ手撤去		○					
	14	外構工作物の撤去		○					
24 太陽光発電設備	1	基礎（アンカーボルト、仕上げ共）		○					
	2	架台（鉄骨・金具）		○					
	3	太陽光発電設備（パネル、パワーコンディショナー、計測監視装置）			△				電源供給は電気工事
	4	同上用低圧みなし連系用資料作成			△				
	5	一次側電源工事＋配管工事（キュービクル～交流集電盤）			△				
	6	二次側電源工事＋配管工事			△				
	7	交流集電盤			△				
25 仮設	1	仮囲い		○					
	2	共通足場		○					外部足場等
	3	作業足場		○	△	□	●	◎	各工事専有で使用するもの
	4	請負業者事務所、下小屋、材料置場等		○	△	□	●	◎	
	5	監督員事務所、委託工事監理事務所		○					家具・備品等も含む
	6	材料場外処分		○	△	□	●	◎	
	7	掘削残土（建築・電気・機械）の処理		○	△	□	●	◎	埋戻し含む
	8	仮設電力の引込み（分電盤・キュービクルまで）		○					
	9	仮設電力の引込み（分電盤・キュービクル以降）		○	△	□	●	◎	
	10	仮設電力の電気使用料金		○	△	□	●	◎	受注後各JVにて協議のこと
	11	本受電後の電気基本料金		○	△	□	●	◎	受注後各JVにて協議のこと
	12	本受電後引渡しまでの電気使用料金		○	△	□	●	◎	受注後各JVにて協議のこと
	13	仮設水道の引込み（メーターまで）		○					
	14	仮設水道の引込み（メーター以降）		○	△	□	●	◎	
	15	仮設水道及び本設後引き渡しまでの使用料金		○	△	□	●	◎	受注後各JVにて協議のこと

工事名称	（仮称）子ども・子育て支援複合施設整備事業建築工事
図面名称	工事区分表
縮尺(A1)	
担当課	生涯学習部　生涯学習課 健康こども部　こども課 財務部　営繕課
工事番号	08-01
図面番号	A-101
通し番号	10
	全 226 葉



拡大図 5/1



基準点座標一覧表

点　名	X座標	Y座標
370-08	-39468.222	8118.857
370-09	-39508.048	8148.023
370-10	-39547.671	8188.557
370-17	-39425.616	8160.502
ST1	-39436.499	8189.202
ST2	-39471.463	8223.195
ST3	-39446.138	8246.953
ST4	-39466.516	8266.431
ST5	-39493.003	8240.470
ST6	-39523.999	8210.472

公民館座標一覧表

点　名	X座標	Y座標
K1	-39481.560	8163.840
K2	-39459.202	8185.305
K3	-39471.925	8198.300
K4	-39467.615	8202.505
K5	-39480.771	8215.985
K6	-39515.610	8181.992
K7	-39506.540	8172.618

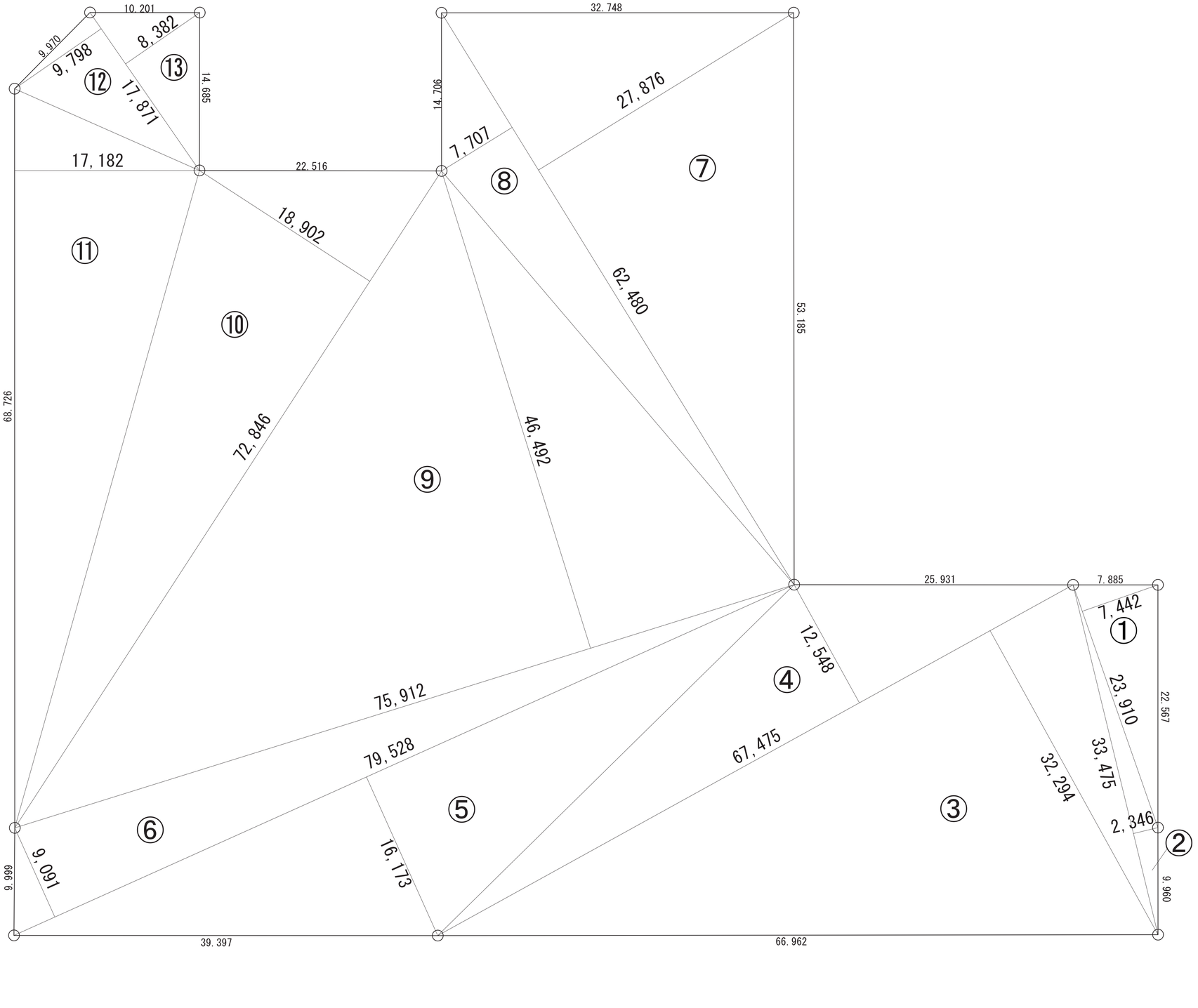
凡　例

⊕	基準点
a	アスファルト
g	未舗装
c	コンクリート
ir	インターロッキング
Ⓜ	マンホール(不明)
Ⓖ	マンホール(ガス)
Ⓔ	マンホール(電気)
Ⓦ	マンホール(水道)
Ⓣ	マンホール(電話)
R Ⓣ	マンホール(雨水)
D Ⓣ	マンホール(汚水)
G Ⓗ	ハンドホール(ガス)
E Ⓗ	ハンドホール(電気)
D Ⓗ	ハンドホール(汚水)

※現況のT.P.は、表記+70mmとする。

工事名称	（仮称）子ども・子育て支援複合施設整備事業建築工事		図面番号 A-102
図面名称	現況図	縮尺(A1)	
担当課	生涯学習部　生涯学習課	工事番号 08-01	通し番号 11
	健康こども部　こども課		
	財務部　営繕課		全 226 葉

1 敷地面積求積図　　1/200

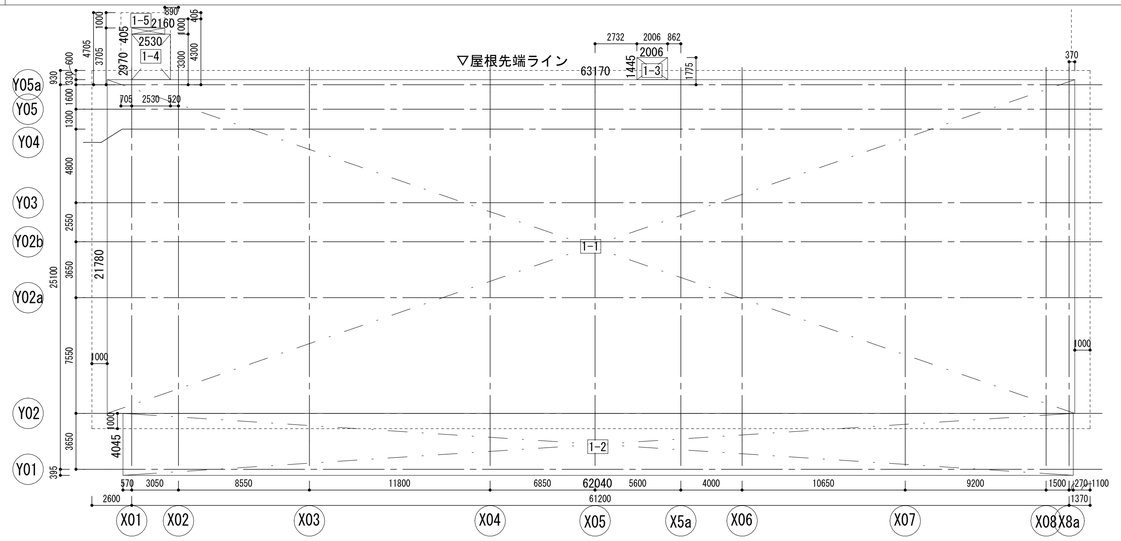


2 敷地面積算定表

①	23.910	×	7.442	×	1/2	= 88.9691100
②	33.475	×	2.346	×	1/2	= 39.2661750
③	67.475	×	32.294	×	1/2	= 1,089.5188250
④	67.475	×	12.548	×	1/2	= 423.3381500
⑤	79.528	×	16.173	×	1/2	= 643.1031720
⑥	79.528	×	9.091	×	1/2	= 361.4945240
⑦	62.480	×	27.876	×	1/2	= 870.8462400
⑧	62.480	×	7.707	×	1/2	= 240.7666800
⑨	75.912	×	46.492	×	1/2	= 1,764.6503520
⑩	72.846	×	18.902	×	1/2	= 688.4675460
⑪	68.726	×	17.182	×	1/2	= 590.4250660
⑫	17.871	×	9.798	×	1/2	= 87.5500290
⑬	17.871	×	8.382	×	1/2	= 74.8973610
近隣商業地域 面積（①～⑬）						6,963.2932300
敷地面積					≒	6,963.29 ㎡

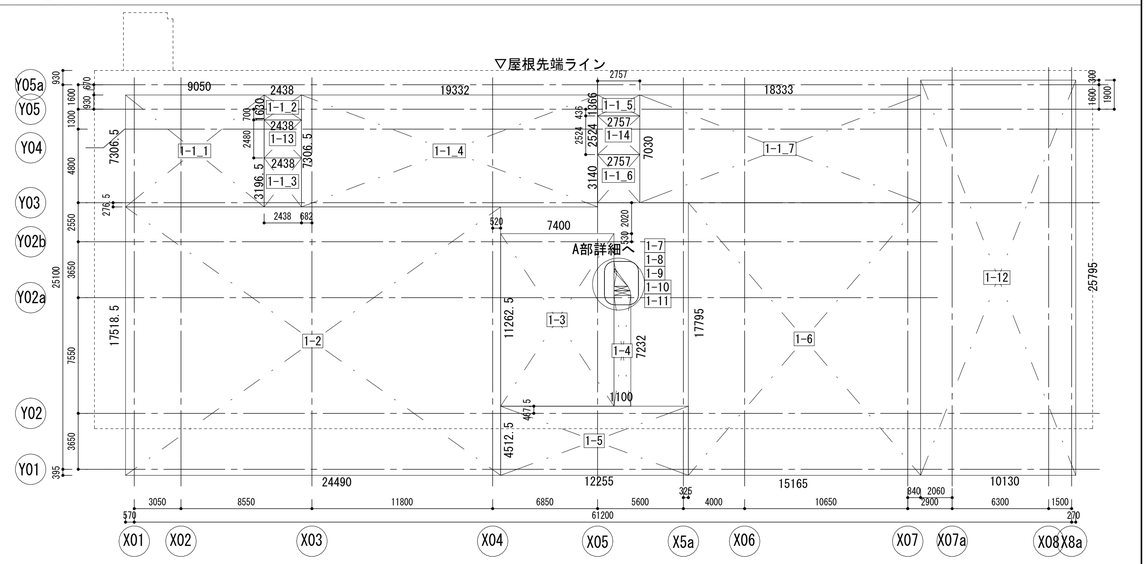
工事名称	（仮称）子ども・子育て支援複合施設整備事業建築工事		図面番号 A-103
図面名称	敷地求積図	縮尺(A1)	
担当課	生涯学習部　生涯学習課	工事番号 08-01	通し番号 12
	健康こども部　こども課		
	財務部　営繕課		全 226 葉

1 建築面積求積図 1/200



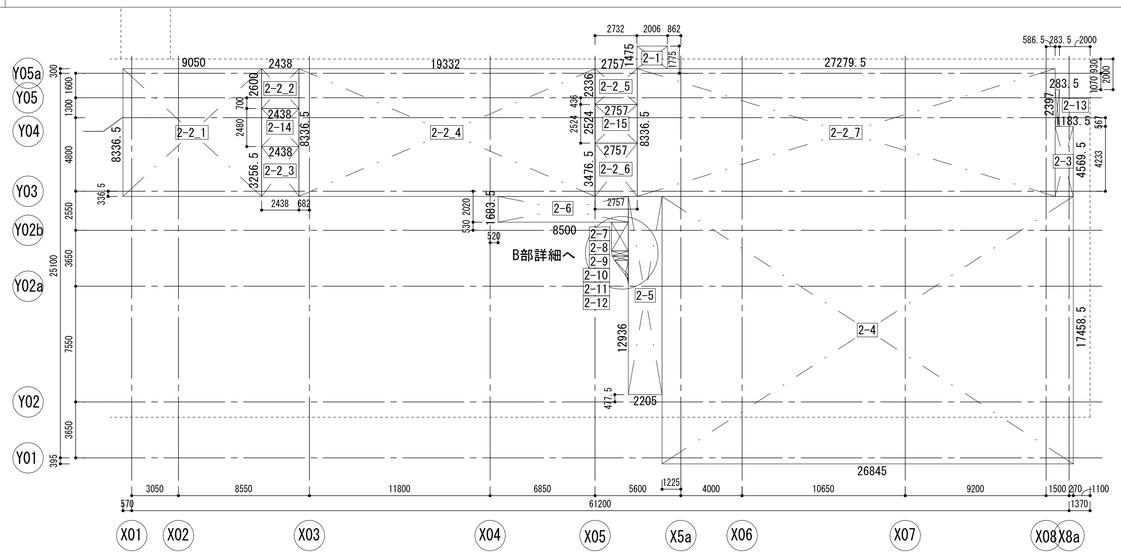
番号	形状	タイプ	計算値 W1	計算値 H	根拠式	計算面積
1-1	求積図形_四角	＋加算	63170	21780	W1×H	1375.8426 ㎡
1-2	求積図形_四角	＋加算	62040	4045	W1×H	250.9518 ㎡
1-3	求積図形_四角	＋加算	2006	1445	W1×H	2.89867 ㎡
1-4	求積図形_四角	＋加算	2530	2970	W1×H	7.5141 ㎡
1-5	求積図形_四角	＋加算	2160	405	W1×H	0.8748 ㎡
						1638.08㎡≒1638.08197 ㎡

2 1階床面積求積図 1/200



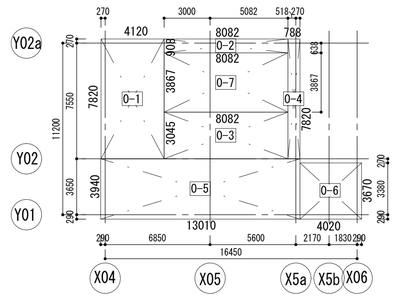
番号	形状	タイプ	計算値 W1	計算値 H	根拠式	計算面積
1-1_1	求積図形_四角	＋加算	9050	7306.5	W1×H	66.123825 ㎡
1-1_2	求積図形_四角	＋加算	2438	1630	W1×H	3.97394 ㎡
1-1_3	求積図形_四角	＋加算	2438	3196.5	W1×H	7.793067 ㎡
1-1_4	求積図形_四角	＋加算	19332	7306.5	W1×H	141.249258 ㎡
1-1_5	求積図形_四角	＋加算	2757	1366	W1×H	3.766062 ㎡
1-1_6	求積図形_四角	＋加算	2757	3140	W1×H	8.65698 ㎡
1-1_7	求積図形_四角	＋加算	18333	7030	W1×H	128.88099 ㎡
1-2	求積図形_四角	＋加算	24490	17518.5	W1×H	429.028065 ㎡
1-3	求積図形_四角	＋加算	7400	11262.5	W1×H	83.3425 ㎡
1-4	求積図形_四角	＋加算	1100	7232	W1×H	7.9552 ㎡
1-5	求積図形_四角	＋加算	12255	4512.5	W1×H	55.300687 ㎡
1-6	求積図形_四角	＋加算	15165	17795	W1×H	269.861175 ㎡
1-7	求積図形_三角	＋加算	429.2	96.8	(W1×H)/2	0.020773 ㎡
1-8	求積図形_台形	＋加算	193.6	162.2	(W1+W2)×H/2	0.023551 ㎡
1-9	求積図形_台形	＋加算	906.4	972	(W1+W2)×H/2	0.5346 ㎡
1-10	求積図形_台形	＋加算	1050.3	280.3	(W1+W2)×H/2	0.274231 ㎡
1-11	求積図形_台形	＋加算	1100	311	(W1+W2)×H/2	0.334371 ㎡
						1207.12㎡≒1207.119275 ㎡
1-12	求積図形_四角	＋加算	10130	25795	W1×H	261.30335 ㎡
1-13	求積図形_四角	＋加算	2438	2480	W1×H	6.04624 ㎡
1-14	求積図形_四角	＋加算	2757	2524	W1×H	6.958668 ㎡
						274.30㎡≒ 274.308258 ㎡

3 2階床面積求積図 1/200



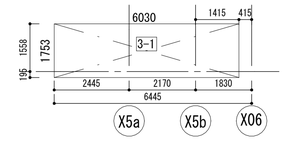
番号	形状	タイプ	計算値 W1	計算値 H	根拠式	計算面積
2-1	求積図形_四角	＋加算	2006	1475	W1×H	2.95885 ㎡
2-2_1	求積図形_四角	＋加算	9050	8336.5	W1×H	75.445325 ㎡
2-2_2	求積図形_四角	＋加算	2438	2600	W1×H	6.3388 ㎡
2-2_3	求積図形_四角	＋加算	2438	3256.5	W1×H	7.939347 ㎡
2-2_4	求積図形_四角	＋加算	19332	8336.5	W1×H	161.161218 ㎡
2-2_5	求積図形_四角	＋加算	2757	2336	W1×H	6.440352 ㎡
2-2_6	求積図形_四角	＋加算	2757	3476.5	W1×H	9.58471 ㎡
2-2_7	求積図形_四角	＋加算	27279.5	8336.5	W1×H	227.415551 ㎡
2-3	求積図形_四角	＋加算	1183.5	4569.5	W1×H	5.408003 ㎡
2-4	求積図形_四角	＋加算	26845	17458.5	W1×H	468.673432 ㎡
2-5	求積図形_四角	＋加算	2205	12936	W1×H	28.52388 ㎡
2-6	求積図形_四角	＋加算	8500	1683.5	W1×H	14.30975 ㎡
2-7	求積図形_四角	＋加算	1100	1875.6	W1×H	2.06316 ㎡
2-8	求積図形_台形	＋加算	1100	331.5	(W1+W2)×H/2	0.355268 ㎡
2-9	求積図形_台形	＋加算	1043.4	280.3	(W1+W2)×H/2	0.271162 ㎡
2-10	求積図形_台形	＋加算	891.4	951.5	(W1+W2)×H/2	0.516188 ㎡
2-11	求積図形_台形	＋加算	193.6	280.3	(W1+W2)×H/2	0.034084 ㎡
2-12	求積図形_三角	＋加算	311.1	49.6	(W1×H)/2	0.007715 ㎡
2-13	求積図形_四角	＋加算	283.5	2397	W1×H	0.679549 ㎡
						1018.13㎡≒1018.126344 ㎡
2-14	求積図形_四角	＋加算	2438	2480	W1×H	6.04624 ㎡
2-15	求積図形_四角	＋加算	2757	2524	W1×H	6.958668 ㎡
						13.00㎡≒ 13.004908 ㎡

4 地階床面積求積図 1/200



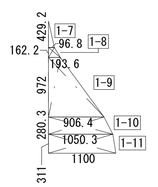
番号	形状	タイプ	計算値 W1	計算値 H	根拠式	計算面積
0-1	求積図形_四角	＋加算	4120	7820	W1×H	32.2184 ㎡
0-2	求積図形_四角	＋加算	8082	908	W1×H	7.338456 ㎡
0-3	求積図形_四角	＋加算	8082	3045	W1×H	24.60969 ㎡
0-4	求積図形_四角	＋加算	788	7820	W1×H	6.16216 ㎡
0-5	求積図形_四角	＋加算	13010	3940	W1×H	51.2594 ㎡
0-6	求積図形_四角	＋加算	4020	3670	W1×H	14.7534 ㎡
						136.34㎡≒136.341506 ㎡
0-7	求積図形_四角	＋加算	8082	3867	W1×H	31.253094 ㎡
						31.25㎡(内、各階床面積の合計の1/100は不算入)≒ 31.253094 ㎡

5 塔屋階床面積求積図 1/200

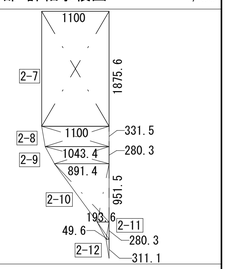


番号	形状	タイプ	計算値 W1	計算値 H	根拠式	計算面積
3-1	求積図形_四角	＋加算	6030	1753	W1×H	10.57059 ㎡
						10.57㎡≒ 10.57059 ㎡

6 1階A部 詳細求積図 1/50



7 2階B部 詳細求積図 1/50



8 面積算定

■増築部		■増築部+既存部(日の出公民館)	
建築面積	1638.08	建築面積/建蔽率	1638.08(増築部)+1888.69(既存部)=3526.77/50.648%≒50.65%＜許容90%
延べ床面積(0-1～0-7/1-1～1-14/2-1～2-15/3-1)	2690.72	延べ床面積	2690.72(増築部)+4700.57(既存部)=7391.29
容積対象床面積(0-1～0-6・0-7の一部/1-1～1-11/2-1～2-13/3-1)	2376.50	容積対象床面積/容積率	2376.50(増築部)+4247.67(既存部)=6624.17/95.129%≒95.13%＜6963.29/許容200%

工事名称	(仮称)子ども・子育て支援複合施設整備事業建築工事		図面番号 A-104
図面名称	床面積表・床面積求積図	縮尺(A1)	図示
担当課	生涯学習部 生涯学習課	工事番号	08-01
	健康こども部 こども課		通し番号 13
	財務部 営繕課		全 226 葉

1 計画概要

計画概要

業務名	（仮称）子ども・子育て支援複合施設整備事業建築工事				
建築主	住所	千葉県浦安市猫実一丁目１番１号			
	氏名	浦安市			
建築場所	地名地番	千葉県浦安市日の出四丁目１番１及び７			
主用途	増築部分：図書館・児童福祉施設等　既存部分：社会教育法に基づく公民館				
工事種別	増築				
工期（予定）	契約締結日の翌日～令和10年12月15日まで				

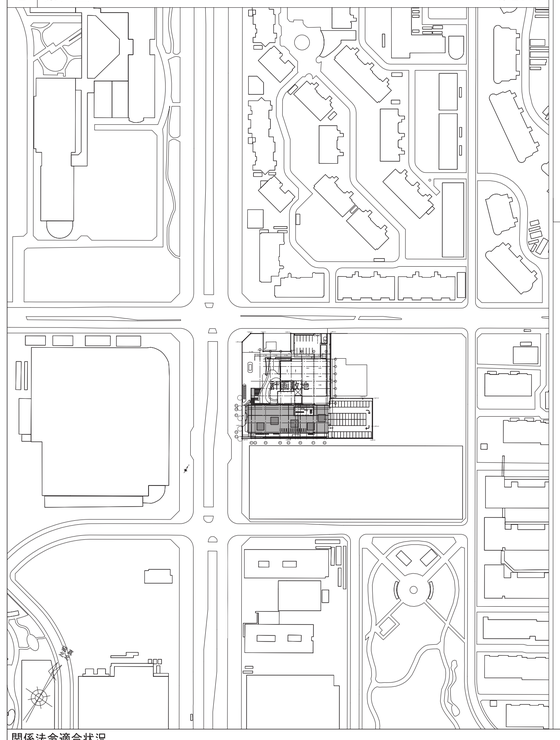
敷地概要

都市計画区域	都市計画区域内（市街化区域）			
用途地域	近隣商業地域			
建蔽率・容積率	建蔽率	80%（角地緩和90%）	容積率	200%
日影規制	測定高さ	なし	規制時間	なし
防火地域	準防火地域			
高度地区・地区等	日の出、明海及び高洲地区地区計画			
敷地面積	6,963.29㎡			
道路幅員	西側（シンボルロード）	50m		
	北側	25m		

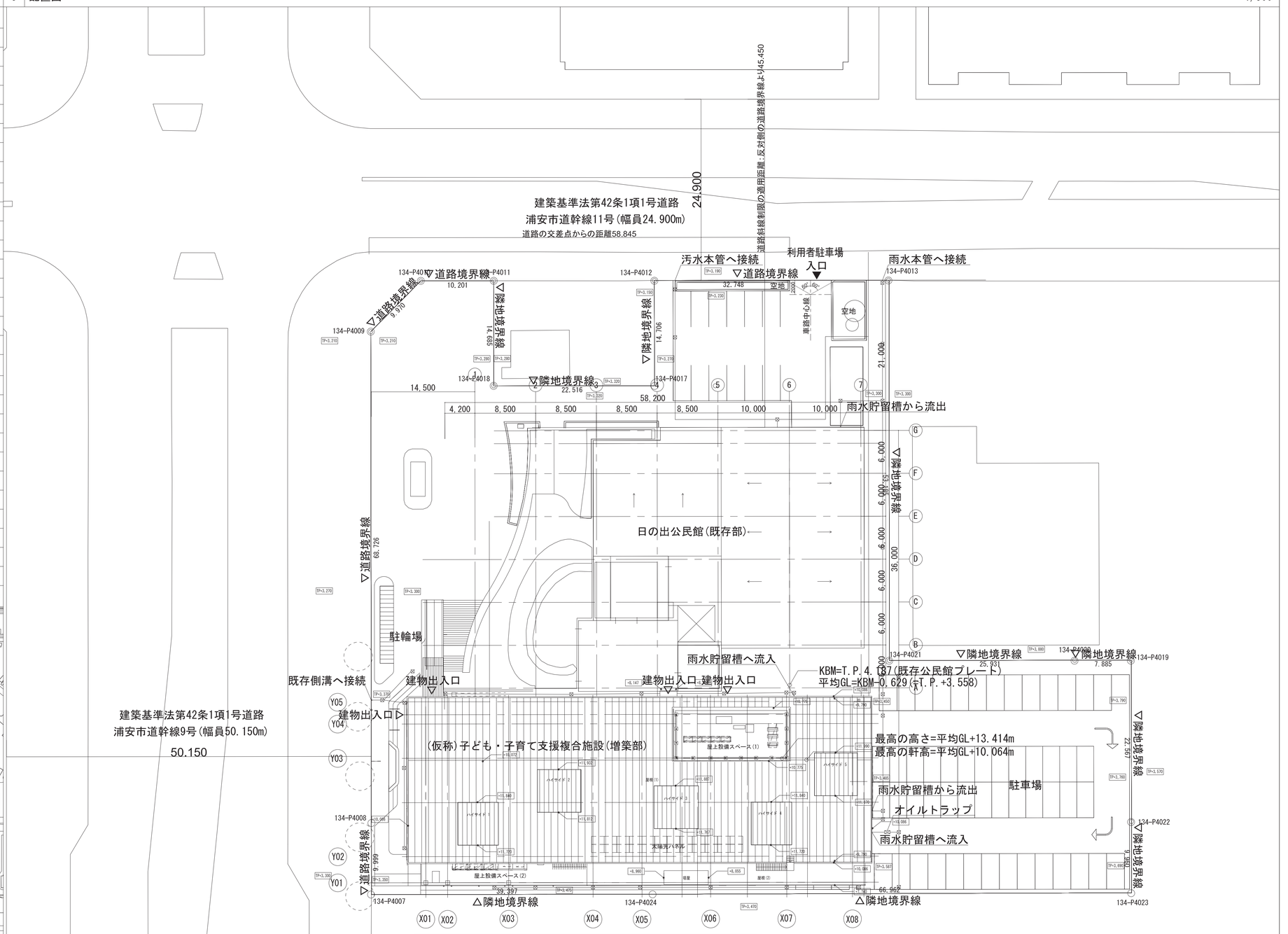
建築概要

	増築部	既存部（日の出公民館）
構造の種別	S造	RC造
階数	地上2階	地上4階
耐火種別	耐火建築物	耐火建築物
建物高さ	13.414m	21.129m
建築面積	3,526.77㎡（増築部：1,638.08㎡　既存部：1,888.69㎡）	
延べ床面積	7,391.29㎡（増築部：2,690.72㎡　既存部：4,700.57㎡）	
容積対象床面積	6,624.17㎡（増築部：2,376.50㎡　既存部：4,247.67㎡）	
建蔽率	50.65%（許容90%）	
容積率	95.13%（許容200%）	
設計GL/平均GL	TP+3.237/TP+3.558	

2 案内図 1/2500



3 配置図 1/300



関係法令適合状況
・地区計画「日の出、明海及び高洲地区地区計画　新町地域景観重点地区」
・壁面の位置は、境界線から5m以上とする。

工事名称	（仮称）子ども・子育て支援複合施設整備事業建築工事		図面番号 A-105
図面名称	計画概要・案内図・配置図	縮尺(A1)	
担当課	生涯学習部　生涯学習課	工事番号 08-01	通し番号 14
	健康こども部　こども課		
	財務部　営繕課		全 226 葉

1 一般共通事項

地下

(1) コンクリート打継ぎ箇所には止水板(水膨張ゴム)を打ち込む。
(2) 壁は丸セパ止水型を用い、無収縮モルタルを充填する。
(3) 地中梁点検口(人通孔)は特記なき限りVUφ600とし、通水管、通気管はVPφ100、OF管はVPφ150とする。
(4) 人通孔上部には握りバーとして、SUSφ22を打ち込む。また、人通孔下端から床まで600以上の場合、@300毎にSUSφ22タラップを打ち込む。
(5) 地下二重壁内側溝にはSUS製水抜き管φ50(逆流防止弁付)とし、点検口(塩ビ製)600×600を設ける。
(6) 床点検口下にはﾀﾗｯﾌﾟ(SUSφ22@350)を設ける。最上段はIFL-450とする。
(6) ピット・水槽内部の仕上げは以下による。

適用箇所	床	壁	天井
配管ピット	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し(一般部SL+20mm) 窓場のある部分は窓場まで勾配を設ける	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し仕上げC種	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し仕上げC種 ※上部室内部分：EPF(3種b)t50打ち込み
釜場	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、P防水	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、P防水	※「ピット」による
消火水槽 雨水貯留槽 ﾎﾟﾝﾌﾟ置場	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、P防水	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、P防水	※「ピット」による
排水槽	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、P(B)防水	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、P(B)防水	RC(C)の上、P(B)防水
EVﾋﾟｯﾄ	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、P(B)防水	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し仕上げC種	-

躯体(仕上)

(1) コンクリート打放し仕上げ面(RC(A))は特記無き限り外部t20、内部t10の増打ちとする。
(2) コンクリート打放し仕上げ面の出隅部は、ピン角とする。
(3) コンクリート打放し仕上げの場合、仕上げ面(内外部とも)の施工図は、型枠・セパレータ・誘発目地・設備機器類等の割付を記入し、監督職員・監理者の承諾を受けるものとする。施工に関する特記事項は下記とする。
A.打放し面の出・入隅部の止水対策として、スポンジテープ押さえ等を考慮すること。
入隅部は型枠を45°カットし、型枠小口面が仕上げに現れない配慮をすること。
B.地上部の打放し作業に先立ち、試打を行う。(W1800×H1800程度)
C.施工後、充分な意匠上の結果が得られない(ジャンカ・コールドジョイント等)時は、専用工法(吉田工法SEFシステム同等程度)にて補修するものとする。

内外装

(1) 軒天金属パネル及び外壁金属パネル最下部見切りには、全てに6φ水抜孔を設ける。
(2) 屋外に露出している鉄部は、仕上の有無に関わらず特記なき限り溶融亜鉛メッキとする。
(3) 外装材の施工図は、目地位置、割付を記入の上、監督職員・監理者の承諾を受けるものとする。
(4) 外部のモルタル塗りには防水モルタルを使用する。
(5) 室内仕上(壁紙及び塗装仕上)下地については、特記なき限り下記による。
A.床下地の略号RCはコンクリート直均し仕上を表す。
B.コンクリート打放し面は、目地棒W20×D10(外部W20×D20)にて亀裂誘発目地を設け、縦目地はおよそ@3,6m以内及び建具きわ、横目地は階高ごとよする。
C.硬質ウレタンフォーム吹付部分にGL工法を施す場合は、プライマー塗布を施す。
(6) 防火上主要な乾式間仕切壁が上下階と接する部分には耐火シール(認定品)を施す。
(7) 下地、仕上の異なるものどうしが取合う壁の部分、建具ぎわには、仕上見切りとして3mm程度の目地を設ける。見切り材はハット目地(振動吸収目地3 SKM3 ﾌｼﾞ同等品)とし、入隅部分は入隅目地、同面は平目地とする。
(8) 天井のDR及びGB-Dには、特記なき限り逃り線を設け、塩ビ製(見付2.5mm:下ヶ刷建同等品)を使用する。
(9) 床仕上げ材の異なる部分の見切りには、特記なき限りSUS-FB 15×6HLとする。
(10) 造作家具の扉が壁面等と取り合う箇所には、戸当り(衝撃防止ゴム)を設ける。
(11) 特記なき限り、全種類のFSは溶接工法とする。
(12) GW-BG(A)、GW-BG(B)は額縁貼り・突付とする。
(13) ホルムアルデヒド及び総揮発性有機化合物を含む接着剤、建材は原則として使用しない。
「ホルムアルデヒド規制値及びガイドライン値CECA」「VOCガイドライン値(WHO)」に則すること。
(14) 内装材の仕様は、特記なき限りF☆☆☆☆の製品を使用するものとする。
(15) 特記なき限り、二重床内部床面、PS、EPSおよび各種設備室には、合成樹脂塗床を施す。
(16) 竪樋は、屋外はアルミ製(バンドレス)とし、屋内は耐火二層管とする。
(17) 床仕上げついては、割付の検討を行い監督職員の確認・了承を得ること。
(18) 機械室の内側(壁・天井)にはGW-BG(B)t25を施す。
(19) 防火区画を形成する防火戸及びシャッターは、屋根材から鉄板t1.6+RW t30 もしくはLGS下地耐火ボード貼り垂壁を設けて取り付ける。
(20) 鉄骨の錆止め塗装色は原則グレーとする。

断熱

(1) 特記なき限り、外気に接する壁の内側及びスラブの底にはUF t=25を吹き付ける。
(2) 特記なき限り、直接土に接する床版の下面には t=0.15 ポリエチレンフィルムシート(重ね巾250mm以上)敷き込みの上、EPF板t=50を敷き込む。(ただし、ピット底盤及びピロティの下面は除く)
(3) 外部に接するスラブのインサート、天井吊ボルト当ての部分はスラブ厚2倍の長さにUFを吹き付ける。また上部インサート、天井吊ボルトは全て結露防止型とする。
(4) 外部に面するサッシ廻りは、無収縮モルタル充填の上、UFを充填する。
(5) 外部に面する金属パネルは、全てグライト(断熱・防音)t5を施す。(内部空間に接しない部分を除く)
(6) 床下空調チャンバーとなる鋼製床下地のスラブ面及び床仕上げまでの立上り部にはUF t15を吹き付ける。

下地

(1) 各種下地の木材には、防腐処理を施す。
(2) 乾式の壁・天井下地は、特記なき限りLGSとする。
(3) 床下地は、特記なき限りコンクリート直均しとする。
(4) 手摺等取付け箇所で下地がLGSの場合、補強材(耐水合板t12)を該当範囲に施すこと。
(5) 壁・天井面仕上げ(塗装・クロス等)の下地については、特記なき限り下記による。
A. コンクリート下地表面は、打放し仕上げB種とする。
B. 水廻り等にはシージング石膏ボードにて水がかり部分を保護すること。また、これらを使用する箇所は、耐火壁は増貼り、それ以外は表面石膏ボードを読み替える。
C. ボードの目地工法(継ぎ目処理)は、継目処理工法とする。
(6) 壁面書架等家具の下地は、St-P t0.8 H50(通し材)をLGS下地に設ける。

点検

(1) 天井点検口は、特記なき限りアルミ既製品(目地タイプ)(450×450)とし、表面仕上げ材は天井と同様とする。裏面には使用目的を記入する。
(2) 化粧床点検口は、特記なき限りSUS製規格品(600×600)とし、表面仕上げ材は床と同様とする。蓋下部にはタラップを設ける。

その他

(1) 外部に面するガラリは、防鳥ネット付きとし、ダクト受けアングル付きとする。
(2) 塗装は、特記なき限り、指定色仕上げとし、色見本を複数提出の上、監督職員の確認の上、仕上げ色を決定する。
(3) 建具はシックハウス規制対象外材料または、F☆☆☆☆を使用する。
(4) 造作家具はシックハウス規制対象外材料または、F☆☆☆☆を使用する。
(5) 天井裏等はシックハウス規制対象外材料または、F☆☆☆☆を使用する。
(6) ルーフドレインには落ち葉つまり防止用の金網BOX(SUS製)を設置すること。
(7) 同等以上・同等品以上は、受注者が製品性能および確認方法を提示、データ・サンプル等の提案したもののうち、監督職員が同等品以上製品と承諾したものとする。
(8) シール仕上げ色については、シールの試し打ちを3色程度行い、監督職員の確認の上、仕上げ色を決定する。

2 外部仕上表

項目		共通事項
屋根	屋根(1)	仕上げ　金属屋根　：厚膜型ｳﾚﾀﾝ塗装ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板　t0.4　縦ﾊｾﾞ葺き(ﾊｾﾞH55) 下地　防水材　：改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ　t1.0 Z型金属ｶﾞﾗｷ　：高耐食性ﾒｯｷ鋼板　t1.0 断熱材　：高性能ﾌｪｰﾙﾌｫｰﾑ　t=30 野地板　：木毛ｾﾒﾝﾄ板　t25 母屋　：St-C-100×50×3.2 @455 ﾀﾞﾌﾞﾙ@1820 排水　ﾙｰﾌﾄﾞﾚﾝ　：SUS製縦引ﾄﾞﾚﾝ φ100 竪樋　：ｱﾙﾐ製ﾊﾞﾝﾄﾞﾚｽ　φ100　高強度支持金物@3000以内 軒天　有孔ﾊﾞﾈﾙ　：高耐食性ﾒｯｷ鋼板　t1.0　粉体焼付塗装 下地　：St-C-100×50×3.2 ﾀﾞﾌﾞﾙ@1090以下 幕板　有孔ﾊﾞﾈﾙ　：高耐食性ﾒｯｷ鋼板　t1.0　粉体焼付塗装 裏板　：厚膜型ｳﾚﾀﾝ塗装ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板　t0.4 下地　：St-C-100×50×3.2 @1240以下
	屋根(2)	仕上げ　工法　：ｱｽﾌｧﾙﾄ防水保護断熱工法A1-1　押えｺﾝ t80 立上り部　：保護塗料　外壁側:RC(A)+CMP(目地@1800以内) ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ天端：U防水 断熱材　：EPF-R t50 排水　ﾙｰﾌﾄﾞﾚﾝ　：SUS製横引ﾄﾞﾚﾝ φ125 ｵｰﾊﾞｰﾌﾛｰ管　：SUS φ25:水上より高い位置に設ける。3箇所 竪樋　：ｱﾙﾐ製ﾊﾞﾝﾄﾞﾚｽ　φ125　高強度支持金物@3000以内 その他　ﾒﾝﾃﾅﾝｽ用PL　：SUS製 FB-t12×65 HL L=3,000 Φ20孔開け 打込み @3,600内外 柱　：準屋外仕様(ﾊﾟﾗ処理平滑仕上げ)
	屋上設備スペース(1)	仕上げ　工法　：ｱｽﾌｧﾙﾄ防水保護断熱工法A1-1　押えｺﾝ t80 立上り部　：保護塗料 ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ天端：U防水　外壁側:RC(A)+CMP(目地@1800以内) 断熱材　：EPF-R t50 排水　ﾙｰﾌﾄﾞﾚﾝ　：SUS製横引ﾄﾞﾚﾝ φ100 ｵｰﾊﾞｰﾌﾛｰ管　：SUS φ25:水上より高い位置に設ける。2箇所 その他　目隠しﾊﾞﾈﾙ　：(外側)ECP t60+CMP (内側)ECP t60+撥水GM-GC+高耐食性めっきﾊﾟﾝﾁﾝｸﾞﾊﾞﾈﾙt0.4 柱・梁　：溶融亜鉛ﾒｯｷ
	屋上設備スペース(2)	仕上げ　工法　：ｱｽﾌｧﾙﾄ防水保護断熱工法A1-1　押えｺﾝ t80 立上り部　：保護塗料　外壁側:RC(A)+CMP(目地@1800以内) ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ天端：U防水 断熱材　：EPF-R t50 排水　ﾙｰﾌﾄﾞﾚﾝ　：SUS製横引ﾄﾞﾚﾝ φ125 ｵｰﾊﾞｰﾌﾛｰ管　：SUS φ25:水上より高い位置に設ける。2箇所 竪樋　：ｱﾙﾐ製ﾊﾞﾝﾄﾞﾚｽ　φ125 その他　ﾒﾝﾃﾅﾝｽ用PL　：SUS製 FB-t12 HL　打込み @3,600内外 目隠しﾊﾞﾈﾙ　：(外側)ECP t60+CMP ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ t3,Oｰﾊﾞﾊﾞｰﾚｰｼｮﾝの上、ｱﾙﾏｲﾄ処理 (内側)ECP t60+撥水GM-GC+高耐食性めっきﾊﾟﾝﾁﾝｸﾞﾊﾞﾈﾙt0.4 梁(ﾊﾞﾈﾙ受)　：溶融亜鉛ﾒｯｷ 柱・梁　：耐火塗装(屋外仕様) 柱(軒下)　：準屋外仕様(ﾊﾟﾗ処理平滑仕上げ)
	ﾊｲﾀｲﾄﾞﾗｲﾄ(1)～(5)	仕上げ　金属屋根　：厚膜型ｳﾚﾀﾝ塗装ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板　t0.4　縦ﾊｾﾞ葺き(ﾊｾﾞH55) 下地　防水材　：改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ　t1.0 Z型金属ｶﾞﾗｷ　：高耐食性ﾒｯｷ鋼板　t1.0 断熱材　：高性能ﾌｪｰﾙﾌｫｰﾑ　t=30 野地板　：木毛ｾﾒﾝﾄ板　t25 母屋　：St-C-100×50×t2.3 @455 ﾀﾞﾌﾞﾙ@1820 軒天　有孔ﾊﾞﾈﾙ　：高耐食性ﾒｯｷ鋼板　t1.0　粉体焼付塗装 下地　：軽量鉄骨天井下地 幕板　有孔ﾊﾞﾈﾙ　：高耐食性ﾒｯｷ鋼板　t1.0　粉体焼付塗装 裏板　：厚膜型ｳﾚﾀﾝ塗装ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板　t0.4 下地　：St-C-100×50×t2.3 @1240以下

項目		共通事項
屋根	渡り廊下(1)	仕上げ　金属屋根　：厚膜型ｳﾚﾀﾝ塗装ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板　t0.4　縦ﾊｾﾞ葺き(ﾊｾﾞH55) 下地　防水材　：改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ　t1.0 Z型金属ｶﾞﾗｷ　：高耐食性ﾒｯｷ鋼板　t1.0 断熱材　：高性能ﾌｪｰﾙﾌｫｰﾑ　t=30 野地板　：木毛ｾﾒﾝﾄ板　t25 母屋　：St-C-100×50×t2.3 @455 ﾀﾞﾌﾞﾙ@1820 軒天　有孔ﾊﾞﾈﾙ　：高耐食性ﾒｯｷ鋼板　t1.0　粉体焼付塗装 下地　：軽量鉄骨天井下地
	渡り廊下(2)	仕上げ　材料　：再生木ﾃﾞｯｷ 下地　ﾃﾞｯｷ下地　：樹脂製束@800×800＋高耐食鋼大引t40×W60 @800 ＋高耐食鋼根太t40×W60 @400 防水　：U防水の上、FS(C) 排水　竪引ﾄﾞﾚﾝ　：SUS製 φ50 竪樋　：ｱﾙﾐ製ﾊﾞﾝﾄﾞﾚｽ　φ50 高強度支持金物@3000以内 軒天　有孔ﾊﾞﾈﾙ　：高耐食性ﾒｯｷ鋼板　t1.0　粉体焼付塗装 下地　：軽量鉄骨天井下地 幕板(1)　仕上げ　：ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ t3,O ﾊｰﾄﾞﾊﾞｲﾌﾞﾚｰｼｮﾝの上、ｱﾙﾏｲﾄ処理 下地　：St-C-100×50×t2.3 @900 幕板(2)　有孔ﾊﾞﾈﾙ　：高耐食性ﾒｯｷ鋼板　t1.0　粉体焼付塗装 裏板　：厚膜型ｳﾚﾀﾝ塗装ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板　t0.4 下地　：St-C-100×50×t2.3 @1240以下
外壁	西面	壁面仕上げ　ECP t60+CMPの上、ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ t3,O ﾊｰﾄﾞﾊﾞｲﾌﾞﾚｰｼｮﾝの上、ｱﾙﾏｲﾄ処理 建具　ｱﾙﾐﾐﾗｰﾃﾝｳｫｰﾙｱﾙﾏｲﾄﾏｯﾄ仕上げ ＋複層ｶﾞﾗｽ ｱﾙﾐ製建具ｱﾙﾏｲﾄﾏｯﾄ仕上げ＋複層ｶﾞﾗｽ SUS製建具鏡面仕上げ＋強化ｶﾞﾗｽ
	東面	壁面仕上げ　ECP t60+CMP 建具　ｱﾙﾐﾐﾗｰﾃﾝｳｫｰﾙｱﾙﾏｲﾄﾏｯﾄ仕上げ ＋複層ｶﾞﾗｽ SUS製建具鏡面仕上げ＋耐熱板ｶﾞﾗｽ 鋼製ｼｬｯﾀｰ溶融亜鉛ﾒｯｷ仕上げ
	北面	壁面仕上げ　ECP t60+CMP 建具　ｱﾙﾐ製建具ｱﾙﾏｲﾄﾏｯﾄ仕上げ ＋複層ｶﾞﾗｽ SUS製建具鏡面仕上げ＋強化ｶﾞﾗｽ 鋼製建具+DP-1 その他　ﾌﾞｯｸﾎﾟｽﾄ：SUS製鏡面仕上げ
	南面	壁面仕上げ　ECP t60+CMP 建具　ｱﾙﾐ製建具ｱﾙﾏｲﾄﾏｯﾄ仕上げ ＋複層ｶﾞﾗｽ 鋼製建具+DP-1
外構	駐車場(ﾋﾟﾛﾃｨ)	床仕上げ　ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し+塗床(P) 目地:ｶｯﾀｰ目地幅3mm×深さ30mmの上、ｼｰﾘﾝｸﾞ @3000程度 柱　溶融亜鉛ﾒｯｷの上、耐火塗装(準屋外仕様・ﾊﾟﾗ処理平滑仕上げ) 軒天　有孔ﾊﾞﾈﾙ　：高耐食性ﾒｯｷ鋼板　t1.0　粉体焼付塗装 下地　：軽量鉄骨天井下地
外構・植栽	床仕上げ(別途工事)	再生木ﾃﾞｯｷ(下地：樹脂製束@800×800＋高耐食鋼大引t40×W60 @800 ＋高耐食鋼根太t40×W60 @400)、透水性ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装、ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ、ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装、ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装、砂利敷き、各種植栽
	ﾃﾞｯｷ部地盤(本工事)	地盤改良(浅層改良)

3 略記号・防火材料認定番号リスト

	略記号	表示事項	防火材料認定番号
床・壁・天井	RC( )	コンクリート( )内は打放し種別A・B・C	
	M	モルタル	
	CB	コンクリートブロック積み	
	ALC	軽量気泡コンクリートパネル	
	ECP( )	押出成形セメント板( )内は種別を示す	
	S	鉄骨	
	LGS	軽量鉄骨	
	W	木(木製)	
床	SL	セルフレベリング	
	OA	フリーアクセスフロアー	
	FS( )	複層ビニル床シート( )内は種別を示す	
	KT	コンポジションビニル床タイル	
	KT(E)	帯電防止コンポジションビニル床タイル	
	TT	単層ビニル床タイル	
	TCP	タイルカーペット	
	WCP	ウィルトンカーペット	
巾木	VB	ビニル巾木	
	WB	木製巾木(　　)仕上は特記	
	VB(H)	ビニル巾木(長尺)	
	MB	モルタル巾木(金ゴテ)	
壁・天井	J工法	せっこうボード(テーパー付)の縦目処理工法	
	GL工法	せっこうボードのせっこう系直張り用接着剤による	
		直張り工法	

	略記号	表示事項	防火材料認定番号
壁・天井	GB-R	せっこうボード	t12.5 NM-8619
	GB-F	強化せっこうボード	t12.5,t21.0 NM-8615
	GB-H	硬質せっこうボード	t9.5 NM-9645
	GB-S	シージングせっこうボード	t12.5 NM-9639
	FK	無石綿セメントけい酸カルシウム板	NM-8576,NM-8578,NM-9029
	FK(A)	フレキシブル板(内装、軒天用)	t6.0 NM-8576
	FK(B)	フレキシブル板(外装用)	t6.0 NM-2694
	FK-P	有孔無石綿セメントけい酸カルシウム板	NM-8578 NM-8064
	FG	ｶﾞﾗｽ繊維不織布入りせっこうボード	NM-2967
	GB-D	化粧せっこうボード	t9.5 NM-1864
	DR	ロックウール化粧吸音板	t9.0 NM-8599
	F(CB-HP)	高圧木毛セメント板	t15.0 QM-9022
	F(CB)	木毛セメント板	t25.0 QM-9701
	F(CB-I)	内装用木毛セメント板	t14.0 QM-9020
	VC()	繊維系壁紙	NM-1762
	KC	塗装用壁紙	NM-0224(金属板を除く)
	GW-GC(A)	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ(厚手ｶﾞﾗｽｸﾛｽ額縁張り)	t25.0 t50.0 着色ｶﾞﾗｽｸﾛｽ：NM-8610 (32kg/㎥) ﾌﾞﾗｯｸ・ｸﾞﾚｰ・ﾗｲﾄｸﾞﾚｰのいずれかとする。
	GW-GC(B)	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ(薄手ｶﾞﾗｽｸﾛｽ額縁張り)	t25.0 NM-8606 (32kg/㎥)
	AL-P	アルミパネル	

室名	SL	床		巾木		壁		天井		CH	居室	備考
		下地	仕上	H	仕上	下地	仕上	下地	仕上			
1FL												
親子の広場	-40	RC	コルクタイル t5.0 (ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、ラワン合板t9.0捨貼+ラワン合板t12+ラワン合板 t12)	40	WB	LGS	GB-R t12.5+GB-R t12.5の上、KC+EP-G GB-F t12.5+GB-F t12.5の上、KC+EP-G GB-R t12.5+GB-R t12.5の上、木板張り	LGS	GB-R t12.5の上、DR t9.0	2600	○	床暖房(別途工事) 腰壁h900木板(ナラ)張り 造作収納 ベビーゲート TV壁掛け用に壁補強 ピクチャーレール
一時預かり	-40	RC	コルクタイル t5.0 (ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、ラワン合板t9.0捨貼+ラワン合板t12+ラワン合板 t12)	40	WB	LGS	GB-R t12.5+GB-R t12.5の上、KC+EP-G GB-F t12.5+GB-F t12.5の上、KC+EP-G GB-R t12.5+GB-R t12.5の上、木板張り	LGS	GB-R t12.5の上、DR t9.0	2600	○	床暖房(別途工事) 腰壁h900木板(ナラ)張り 造作収納 ピクチャーレール
事務室 (子育て支援)	-30	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、TCP	40	VB	LGS	GB-R t12.5+GB-R t12.5の上、EP-G GB-F t12.5+GB-F t12.5の上、EP-G	LGS	GB-R t12.5の上、DR t9.0	2600	○	吊戸棚 カウンター
相談室 (1)	-30	RC	フローリングt15 (ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、ラワン合板t9.0捨貼)	40	VB	LGS	GB-R t12.5+GB-R t12.5の上、EP-G	LGS	GB-R t12.5の上、DR t9.0	2600	○	
相談室 (2)	-30	RC	フローリングt15 (ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、ラワン合板t9.0捨貼)	40	VB	LGS	GB-R t12.5+GB-R t12.5の上、EP-G GB-F t12.5+GB-F t12.5の上、EP-G	LGS	GB-R t12.5の上、DR t9.0	2600	○	
通路(子育て)	-30	RC	コルクタイル t5.0 (ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、ラワン合板 t12) /フローリング t15 (ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、ラワン合板t9.0捨貼)	40	VB	LGS	GB-R t12.5+GB-R t12.5の上、KC+EP-G GB-S t12.5+GB-S t12.5の上、KC+EP-G	LGS	GB-R t12.5の上、DR t9.0	2600	×	靴箱 洗面カウンター ハンドドライヤー(小型) 鏡
調乳 ｽﾍﾟｰｽ	-30	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、FS(A)	40	VB	LGS	GB-S t12.5+GB-S t12.5の上、EP-G	LGS	GB-D t9.5	2400	×	調乳器
洗濯ｽﾍﾟｰｽ (子育て)	-30	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、FS(A)	40	VB	LGS	GB-S t12.5+GB-S t12.5の上、EP-G	LGS	GB-D t9.5	2400	×	洗濯パン
WC (子育て)	-300/-30	乾式二重床 H300 /RC	FS(B) (ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞt20+ラワン合板t12) /ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上	40	VB	LGS	GB-S t12.5+GB-S t12.5の上、EP-G	LGS	GB-S t12.5+GB-S t12.5の上、EP-G	2400	×	ハンドドライヤー(小型)
WC (一時預かり)	-300/-30	乾式二重床 H300 /RC	FS(B) (ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞt20+ラワン合板t12.0) /ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上	40	VB	LGS	GB-S t12.5+GB-S t12.5の上、EP-G	LGS	GB-S t12.5+GB-S t12.5の上、EP-G	2400	×	ハンドドライヤー(小型)
SK (子育て)	-300/-30	乾式二重床 H300 /RC	FS(B) (ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞt20+ラワン合板t12.0) /ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上	40	VB	LGS	GB-S t12.5+GB-S t12.5の上、EP-G	LGS	GB-S t12.5+GB-S t12.5の上、EP-G	2400	×	固定棚x3枚
未就学児ゾーン	-300	鋼製床 H300 /RC	フローリング t15 (構造用合板t12+t9.0捨貼) /ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、UF吹付t15 /コルクタイル t5.0 (ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、ラワン合板t9.0捨貼+ラワン合板t12+ラワン合板 t12)	40	VB	LGS	GB-R t12.5+GB-R t12.5の上、KC+EP-G GB-F t21.0+GB-H t9.5の上、KC+EP-G GB-F t21.0+GB-F t21.0の上、KC+EP-G	St-C	有孔カラーガルバリウムパネル t1.0	8280	○	天井下地は端部を除き、St-C 100×50×t2.3@2000とする。 書架 靴脱ぎスペースの床はｺﾙｸﾀｲﾙ仕上とする カウンター
おはなしのへや	-30	RC	フローリング t15 (ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、ラワン合板t9.0捨貼)	40	VB	LGS	GB-R t12.5+GB-R t12.5の上、KC+EP-G	LGS	GB-R t12.5+GB-R t12.5の上、EP-G GB-R t12.5の上、DR t9.0	2600	○	靴箱 造作収納 暗幕
ｶｳﾝﾀｰ ﾊﾞｯｸ(1)	-30	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、FS(A)	40	VB	LGS	GB-R t12.5+GB-R t12.5の上、EP-G GB-F t12.5+GB-F t12.5の上、EP-G	LGS	GB-D t9.5	2600	×	ラック 書架
事務室(図書館)	-100	OAフロア H100 /RC	TCP /ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、防塵塗床	40	VB	LGS	GB-R t12.5+GB-R t12.5の上、EP-G	LGS	GB-R t12.5の上、DR t9.0	2400	○	流し台(排水トラップまで、配管別途工事)
書庫	-40	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、FS(A)	40	VB	LGS	GB-R t12.5+GB-R t12.5の上、EP-G	直天井(RC)	GW-GC(B) t25	3275	×	電動移動書架(照明付き) 固定書架

室名	SL	床		巾木		壁		天井		CH	居室	備考
		下地	仕上	H	仕上	下地	仕上	下地	仕上			
搬入作業室	-150~-30	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、防塵塗床 /ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、FS(B)	40	VB	LGS	FK t6.0+FK t6.0	LGS	GB-R t12.5の上、DR t9.0	2600	×	車止め ブックポスト受口×2(同一高さ) 郵便受け(ボックス共)
更衣室 (男)	-30	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、FS(A)	40	VB	LGS	GB-R t12.5+GB-R t12.5の上、EP-G GB-F t21.0+ GB-F t21.0の上、EP-G GB-S t12.5+GB-S t12.5の上、EP-G	LGS	GB-D t9.5	2100~2300	×	鏡 段床下防火区画：GB-F t21.0+ GB-F t21.0 壁掛洗面器
更衣室 (女)	-30	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、FS(A)	40	VB	LGS	GB-R t12.5+GB-R t12.5の上、EP-G GB-F t21.0+ GB-F t21.0の上、EP-G GB-S t12.5+GB-S t12.5の上、EP-G	LGS	GB-R t12.5の上、DR t9.0 GB-F t21.0+ GB-F t21.0の上、EP-G	2300	×	鏡 段床下防火区画：GB-F t21.0+ GB-F t21.0 壁掛洗面器
警備員室	-30	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、FS(A)	40	VB	LGS	GB-R t12.5+GB-R t12.5の上、EP-G GB-F t21.0+ GB-F t21.0の上、EP-G GB-S t12.5+GB-S t12.5の上、EP-G	LGS	GB-R t12.5の上、DR t9.0 GB-F t21.0+ GB-F t21.0の上、EP-G	2300	○	鏡 段床下防火区画：GB-F t21.0+ GB-F t21.0 壁掛洗面器
印刷室兼 倉庫(3)	-30	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、FS(A)	40	VB	LGS	GB-R t12.5+GB-R t12.5の上、EP-G GB-F t21.0+ GB-F t21.0の上、EP-G	LGS	GB-R t12.5の上、DR t9.0 GB-F t21.0+ GB-F t21.0の上、EP-G	2300	×	段床下防火区画：GB-F t21.0+ GB-F t21.0
清掃員控室	-30	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、FS(A)	40	VB	LGS	GB-R t12.5+GB-R t12.5の上、EP-G GB-F t21.0+ GB-F t21.0の上、EP-G GB-S t12.5+GB-S t12.5の上、EP-G	LGS	GB-R t12.5の上、DR t9.0 GB-F t21.0+ GB-F t21.0の上、EP-G	2300	○	鏡 洗濯パン 段床下防火区画：GB-F t21.0+ GB-F t21.0 壁掛洗面器
職員 WC(1)	-30	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、FS(B)	40	VB	LGS	GB-S t12.5+GB-S t12.5の上、EP-G	LGS	GB-S t12.5+GB-S t12.5の上、EP-G	2400	×	ハンドドライヤー(小型)
職員 WC(2)	-30	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、FS(B)	40	VB	LGS	GB-S t12.5+GB-S t12.5の上、EP-G	LGS	GB-S t12.5+GB-S t12.5の上、EP-G	2400	×	ハンドドライヤー(小型)
MWC(1)	-30	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、FS(B)	40	VB	LGS	GB-S t12.5+GB-S t12.5の上、EP-G GB-F t21.0+GB-H t9.5の上、EP-G	LGS	GB-S t12.5+GB-S t12.5の上、EP-G	2400	×	汚垂石
WWC(1)	-30	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、FS(B)	40	VB	LGS	GB-S t12.5+GB-S t12.5の上、EP-G GB-F t21.0+GB-H t9.5の上、EP-G	LGS	GB-S t12.5+GB-S t12.5の上、EP-G	2400	×	
多機能 WC(1)	-30	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、FS(B)	40	VB	LGS	GB-S t12.5+GB-S t12.5の上、EP-G GB-F t12.5+GB-F t12.5+GB-S t12.5の上、EP-G	LGS	GB-S t12.5+GB-S t12.5の上、EP-G	2500	×	
親子WC	-30	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、FS(B)	40	VB	LGS	GB-S t12.5+GB-S t12.5の上、EP-G GB-F t12.5+GB-F t12.5+GB-S t12.5の上、EP-G	LGS	GB-S t12.5+GB-S t12.5の上、EP-G	2400	×	
授乳室	-30	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、FS(B)	40	VB	LGS	GB-S t12.5+GB-S t12.5の上、EP-G GB-F t12.5+GB-F t12.5+GB-S t12.5の上、EP-G	LGS	GB-R t12.5の上、DR t9.0	2400	×	洗面カウンター
1.5FL												
小学生ゾーン	-300	鋼製床 H300 /RC	フローリング t15 (構造用合板t12+t9.0捨貼) /ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、UF吹付t15	40	VB	LGS	GB-R t12.5+GB-R t12.5の上、KC+EP-G GB-F t21.0+GB-H t9.5の上、KC+EP-G GB-F t21.0+GB-F t21.0の上、KC+EP-G	St-C	有孔カラーガルバリウムパネル t1.0 GB-R t12.5の上、DR t9.0	2450/2700/6780	○	天井下地は端部を除き、St-C 100×50×t2.3@2000とする。 書架
2FL												
中高生ゾーン	-300	鋼製床 H300 /RC	フローリング t15 (構造用合板t12+t9.0捨貼) /ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、UF吹付t15	40	VB	LGS	GB-R t12.5+GB-R t12.5の上、KC+EP-G GB-F t21.0+GB-H t9.5の上、KC+EP-G GB-F t21.0+GB-F t21.0の上、KC+EP-G	St-C	有孔カラーガルバリウムパネル t1.0	2500/4530	○	天井下地は端部を除き、St-C 100×50×t2.3@2000とする。 書架
多目的スペース	-300	鋼製床 H300 /RC	フローリング t15 (構造用合板t12+t9.0捨貼) /ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、UF吹付t15	40	VB	LGS	GB-R t12.5+GB-R t12.5の上、KC+EP-G GB-F t21.0+GB-H t9.5の上、KC+EP-G	LGS	GB-R t12.5の上、DR t9.0 GB-R t12.5+GB-R t12.5の上、KC+EP-G	2300/2500	○	

※特記なき限り、床仕上げ高さ=FL±0とする。
※特記なき限り、内装仕上げは準不燃以上とする。
※建築基準法上の階については原則、1FL/1.5FL=1F、2FL/2.5FL(公民館2F床レベル)=2Fとする。

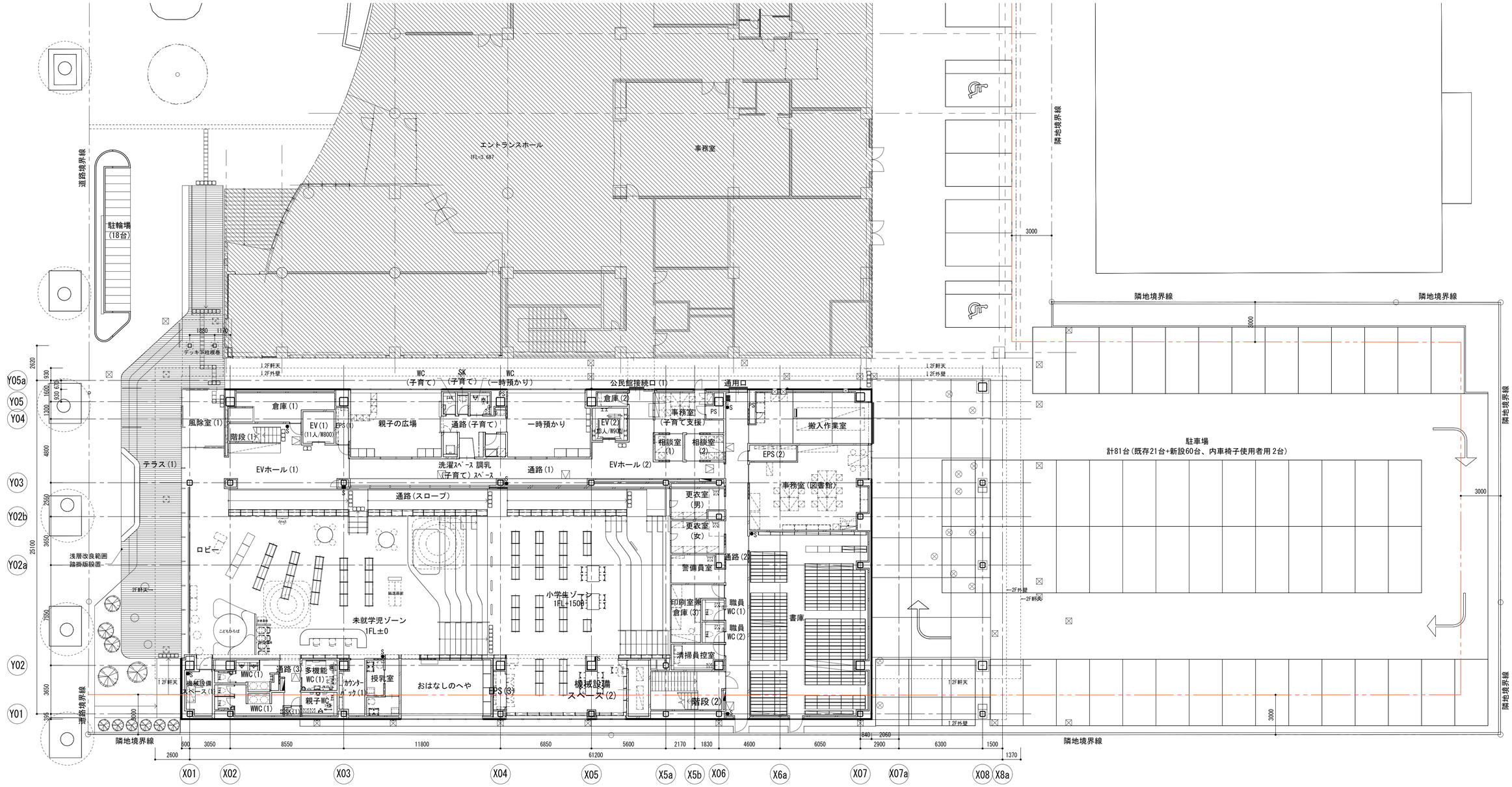
工事名称	(仮称)子ども・子育て支援複合施設整備事業建築工事	図面番号 A-107
図面名称	内部仕上表 (1)	縮尺 (A1) –
担当課	生涯学習部 生涯学習課 健康こども部 こども課 財務部 営繕課	工事番号 08-01
		通し番号 16
		全 226 葉

室名	SL	床		巾木		壁		天井		CH	居室	備考
		下地	仕上	H	仕上	下地	仕上	下地	仕上			
ファブスペース	-30	RC	フローリング t15 (ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、ラワン合板t9.0捨貼)	40	VB	LGS	GB-R t12.5+GB-R t12.5の上、KC+EP-G GB-F t21.0+GB-H t9.5の上、KC+EP-G	LGS	GB-R t12.5の上、DR t9.0 GB-R t12.5+GB-R t12.5の上、KC+EP-G	2300/2500	○	カウンター 造作収納(扉/鍵付き) 作業机 造作台
2.5FL												
分館	-30	RC	フローリング t15 (ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、ラワン合板t9.0捨貼)	40	VB	LGS	GB-R t12.5+GB-R t12.5の上、KC+EP-G GB-F t12.5+GB-F t12.5の上、KC+EP-G GB-F t21.0+GB-H t9.5の上、KC+EP-G	LGS	有孔カラーガルバリウムパネル t1.0 /GB-R t12.5+GB-R t12.5の上、EP-G /GB-R t12.5の上、DR t9.0	3000/3830	○	カウンター
ｶｳﾝﾀｰﾊﾞｯｸ(2)	-30	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、FS(A)	40	VB	LGS	GB-R t12.5+GB-R t12.5の上、KC+EP-G	LGS	GB-D t9.5	2500	○	ラック 書架
MWC(2)	-30	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、FS(B)	40	VB	LGS	GB-S t12.5+GB-S t12.5の上、EP-G GB-F t12.5+GB-F t12.5+GB-S t12.5の上、EP-G	LGS	GB-S t12.5+GB-S t12.5の上、EP-G	2400	×	汚垂石
WWC(2)	-30	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、FS(B)	40	VB	LGS	GB-S t12.5+GB-S t12.5の上、EP-G GB-F t12.5+GB-F t12.5+GB-S t12.5の上、EP-G	LGS	GB-S t12.5+GB-S t12.5の上、EP-G	2400	×	
多機能 WC(2)	-30	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、FS(B)	40	VB	LGS	GB-S t12.5+GB-S t12.5の上、EP-G	LGS	GB-S t12.5+GB-S t12.5の上、EP-G	2500	×	
共用部分												
ロビー	-300	鋼製床 H300 /RC	フローリング t15 (構造用合板t12+t9.0捨貼) /ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、UF吹付t15	40	VB	LGS	GB-R t12.5+GB-R t12.5の上、KC+EP-G GB-F t21.0+GB-H t9.5の上、KC+EP-G	St-C	有孔カラーガルバリウムパネル t1.0	8280	○	天井下地は端部を除き、St-C 100×50×t2.3@2000とする。
EVホール(1)	-30	RC	フローリング t15 (ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、ラワン合板t9.0捨貼)	40	VB	LGS	GB-R t12.5+GB-R t12.5の上、EP-G GB-F t12.5+GB-F t12.5の上、EP-G GB-F t21.0+GB-F t21.0の上、EP-G	LGS	有孔カラーガルバリウムパネル t1.0	2600	×	天井内スラブ底:GW-GC(B)
EVホール(2)	-30	RC	フローリング t15 (ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、ラワン合板t9.0捨貼)	40	VB	LGS	GB-R t12.5+GB-R t12.5の上、EP-G GB-F t21.0+GB-F t21.0の上、EP-G	LGS	有孔カラーガルバリウムパネル t1.0	2600	×	天井内スラブ底:GW-GC(B)
通路(1)	-30	RC	フローリング t15 (ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、ラワン合板t9.0捨貼) /ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、FS(A)	40	VB /WB	LGS	GB-R t12.5+GB-R t12.5の上、EP-G GB-F t12.5+GB-F t12.5の上、EP-G GB-R t12.5+GB-R t12.5の上、木板張り	LGS	有孔カラーガルバリウムパネル t1.0	2600	×	天井内スラブ底:GW-GC(B) 腰壁h1100木板(ナラ)張り
通路(2)	-30	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、FS(A)	40	VB	LGS	GB-R t12.5+GB-R t12.5の上、EP-G GB-F t12.5+GB-F t12.5の上、EP-G GB-F t21.0+GB-H t9.5の上、EP-G	LGS	GB-R t12.5の上、DR t9.0	2300	×	
通路(スロープ)	-30/-300	RC/鋼製床H300	フローリング t15 (ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、ラワン合板t9.0捨貼) /フローリング t15 (構造用合板t12+t9.0捨貼) /ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、UF吹付t15	40	VB	LGS	GB-R t12.5+GB-R t12.5の上、KC+EP-G GB-F t12.5+GB-F t12.5の上、KC+EP-G	※	※	※	○	※開架エリアの仕上げに準ずる
通路(3)	-30	RC	フローリング t15 (ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、ラワン合板t9.0捨貼)	40	VB	LGS	GB-R t12.5+GB-R t12.5の上、KC+EP-G	LGS	GB-R t12.5+GB-R t12.5の上、EP-G	2600	×	
通路(4)	-30	RC	フローリング t15 (ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、ラワン合板t9.0捨貼)	40	VB	LGS	GB-R t12.5+GB-R t12.5の上、KC+EP-G	LGS	GB-R t12.5+GB-R t12.5の上、EP-G	2600	×	
風除室(1)	-50	RC	防水モルタル (FL-18まで)の上、靴ふきマット	-	SUS-L	LGS	GB-R t12.5+GB-R t12.5の上、タイル張り	LGS	有孔カラーガルバリウムパネル t1.0	2600	×	収納式傘入れ
風除室(2)	-50	RC	防水モルタル (FL-18まで)の上、靴ふきマット	-	SUS-L	LGS	GB-R t12.5+GB-R t12.5の上、タイル張り	LGS	有孔カラーガルバリウムパネル t1.0 GB-R t12.5+GB-R t12.5の上、EP-G	3000/3830	×	収納式傘入れ

室名	SL	床		巾木		壁		天井		CH	居室	備考
		下地	仕上	H	仕上	下地	仕上	下地	仕上			
通用口	-30	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、FS(A)	40	VB	LGS	GB-R t12.5+GB-R t12.5の上、EP-G GB-F t21.0+GB-H t9.5の上、EP-G GB-F t12.5+GB-F t12.5の上、EP-G	LGS	GB-R t12.5の上、DR t9.0	2300	×	
公民館接続口(1)	-30	RC	フローリング t15 (ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、ラワン合板t9.0捨貼)	40	VB	LGS	GB-R t12.5+GB-R t12.5の上、KC+EP-G	LGS	有孔カラーガルバリウムパネル t1.0	2600	×	収納式傘入れ
公民館 接続口(2)	-30	RC	フローリング t15 (ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、ラワン合板t9.0捨貼)	40	VB	LGS	GB-F t12.5+GB-F t12.5の上、KC+EP-G GB-F t12.5+GB-F t12.5の上、KC+EP-G	LGS	GB-R t12.5+GB-R t12.5の上、EP-G	2600	×	
渡り廊下(1)	-30	RC	フローリング t15 (ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、ラワン合板t9.0捨貼)	40	VB	LGS	-	LGS	GB-R t12.5+GB-R t12.5の上、EP-G	2600	×	
SK(1)(2)	-30	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、FS(B)	40	VB	LGS	GB-S t12.5+GB-S t12.5の上、EP-G	LGS	GB-S t12.5+GB-S t12.5の上、EP-G	2400	×	各SK固定棚x3枚(計6枚)
階段(1)	-※	RC 鋼製	フローリング t15 (ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、ラワン合板t9.0捨貼)	ー	ー	LGS	GB-R t12.5+GB-R t12.5の上、KC+EP-G	※	※	ー	×	※分館の仕上げに準ずる
階段(2)	-	RC 鋼製	モルタルt10の上、防塵塗床 /St-Pの上、FS(B)	40	VB	LGS	GB-F t12.5+GB-F t12.5の上、EP-G RCの上、CWP	LGS	GB-D t9.5	ー	×	
倉庫(1)	-30	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、FS(A)	40	VB	LGS	GB-R t12.5+GB-R t12.5の上、EP-G GB-F t21.0+GB-F t21.0の上、EP-G	LGS	GB-D t9.5	2400	×	
倉庫(2)	-30	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、FS(A)	40	VB	LGS	GB-R t12.5+GB-R t12.5の上、EP-G GB-F t21.0+GB-F t21.0の上、EP-G	LGS	GB-D t9.5	2600	×	
倉庫(4)	-30	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、FS(A)	40	VB	LGS	GB-R t12.5+GB-R t12.5の上、EP-G GB-F t12.5+GB-F t12.5の上、EP-G GB-F t21.0+GB-H t9.5の上、EP-G	LGS	GB-D t9.5	2300	×	
倉庫(5)	-30	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、FS(A)	40	VB	LGS	GB-R t12.5+GB-R t12.5の上、EP-G GB-F t12.5+GB-F t12.5の上、EP-G GB-F t21.0+GB-H t9.5の上、EP-G	LGS	GB-D t9.5	2600	×	
電気室	-300	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、防塵塗床	-	-	LGS	GB-F t12.5+GB-F t12.5の上、GW-GC(B) t25 GB-F t21.0+GB-F t21.0の上、GW-GC(B) t25 GB-F t21.0+GB-H t9.5の上、GW-GC(B) t25	LGS	GB-R t12.5+GW-GC(B)	4670	×	
機械設備スペース(1)~(3)	-300	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、防塵塗床	-	-	LGS	GB-F t21.0+GB-H t9. 5の上、GW-GC(B) t25	直天井	GW-GC(B) t25	ー	×	
機械設備スペース(4)	-300	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、防塵塗床	-	-	LGS /RC	GB-F t21.0+GB-H t9.5の上、GW-GC(B) t25	LGS	GW-GC(B) t25	4670	×	
機械室	-30	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、防塵塗床	-	-	RC	GB-F t21.0+GB-F t21.0の上、GW-GC(B) t25 GB-F t12.5+GB-F t12.5の上、 GW-GC(B) t25 FK t6.0+GW-GC(B) t25	直天井	GW-GC(B) t25	4725	×	
受水槽ポンプ室	-30	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、防塵塗床	-	-	LGS	GB-F t12.5+GB-F t12.5	RC	GW-GC(B) t25	4725	×	
PS	-30	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、防塵塗床	-	-	LGS	GB-R t12.5+GB-R t12.5 素地 GB-S t12.5+GB-S t12.5 素地	直天井	ー	ー	×	
EPS(1)	-30	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、防塵塗床	-	-	LGS	GB-R t12.5+GB-R t12.5 素地 GB-F t12.5+GB-F t12.5 素地 GB-F t21.0+GB-H t9. 5素地	直天井	ー	ー	×	
EPS(2)~(5)	-30	RC	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均しの上、防塵塗床	-	-	LGS	GB-R t12.5+GB-R t12.5 素地	直天井	ー	ー	×	

※特記なき限り、床仕上げ高さ=FL±0とする。
※特記なき限り、内装仕上げは準不燃以上とする。
※建築基準法上の階については原則、1FL/1.5FL=1F、2FL/2.5FL(公民館2F床レベル)=2Fとする。

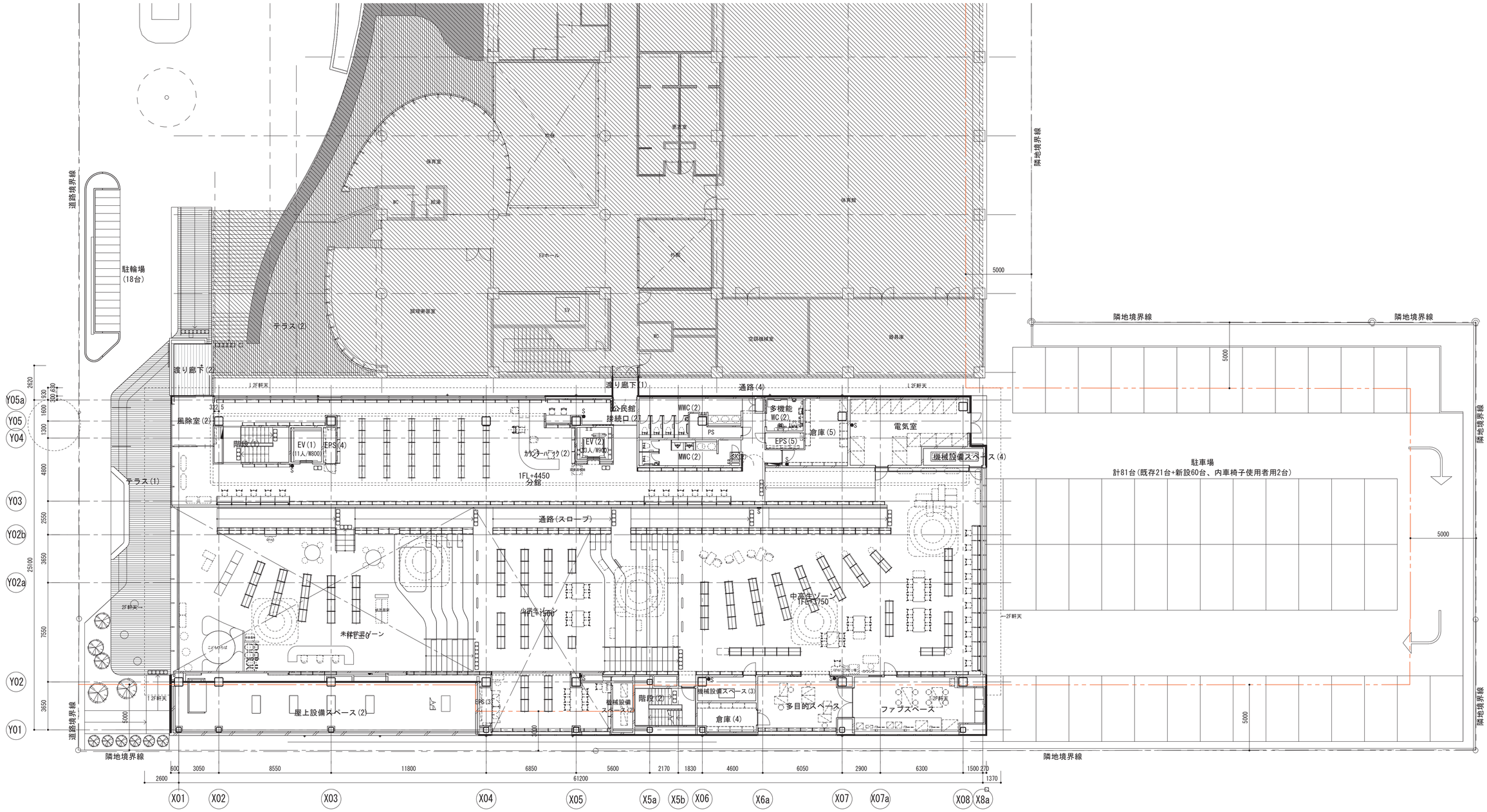
工事名称	(仮称)子ども・子育て支援複合施設整備事業建築工事	図面番号 A-108
図面名称	内部仕上表(2)	縮尺(A1) -
担当課	生涯学習部 生涯学習課	工事番号 08-01
	健康こども部 こども課	通し番号 17
	財務部 営繕課	全 226 葉



	RC壁		屋内消火栓(設備工事)		床点検口(600□, 防水防臭, ﾀﾗｯﾌﾟ付)	RD	ルーフドレイン(特記以外φ100)		伸縮目地(屋上面)		0Aフロア範囲(特記以外H100)		雨水桝		
	押出成形セメント板		消火器ボックス(置型)		マンホール(600φ, 防水防臭, ﾀﾗｯﾌﾟ付)	TRD	中継ﾙｰﾌﾄﾞﾚｲﾝ(特記以外φ100)		タラップ		乾式床範囲(特記以外H100)	OP	オペレーター		
	LGS壁		消火器ボックス(埋込型)		視覚障害者誘導床材	YRD	横引きﾙｰﾌﾄﾞﾚｲﾝ(特記以外φ100)		水流れ方向(水勾配1/100)		浅層改良範囲				
	LGS壁(遮音)		丸環		視覚障害者注意喚起床材	T	竪樋(特記以外鋼管φ100)		機械基礎　W×D×H						
**** ***	壁種別を示す				グレーチング		天井内横引き管	+000	床レベルを示す						
					目地	OF	オーバーフロー管								

工事名称	(仮称)子ども・子育て支援複合施設整備事業建築工事		図面番号 A-109
図面名称	1階/1.5階 平面図	縮尺(A1) 1:150	
担当課	生涯学習部　生涯学習課	工事番号 08-01	通し番号 18
	健康こども部　こども課		
	財務部　営繕課		全 226 葉

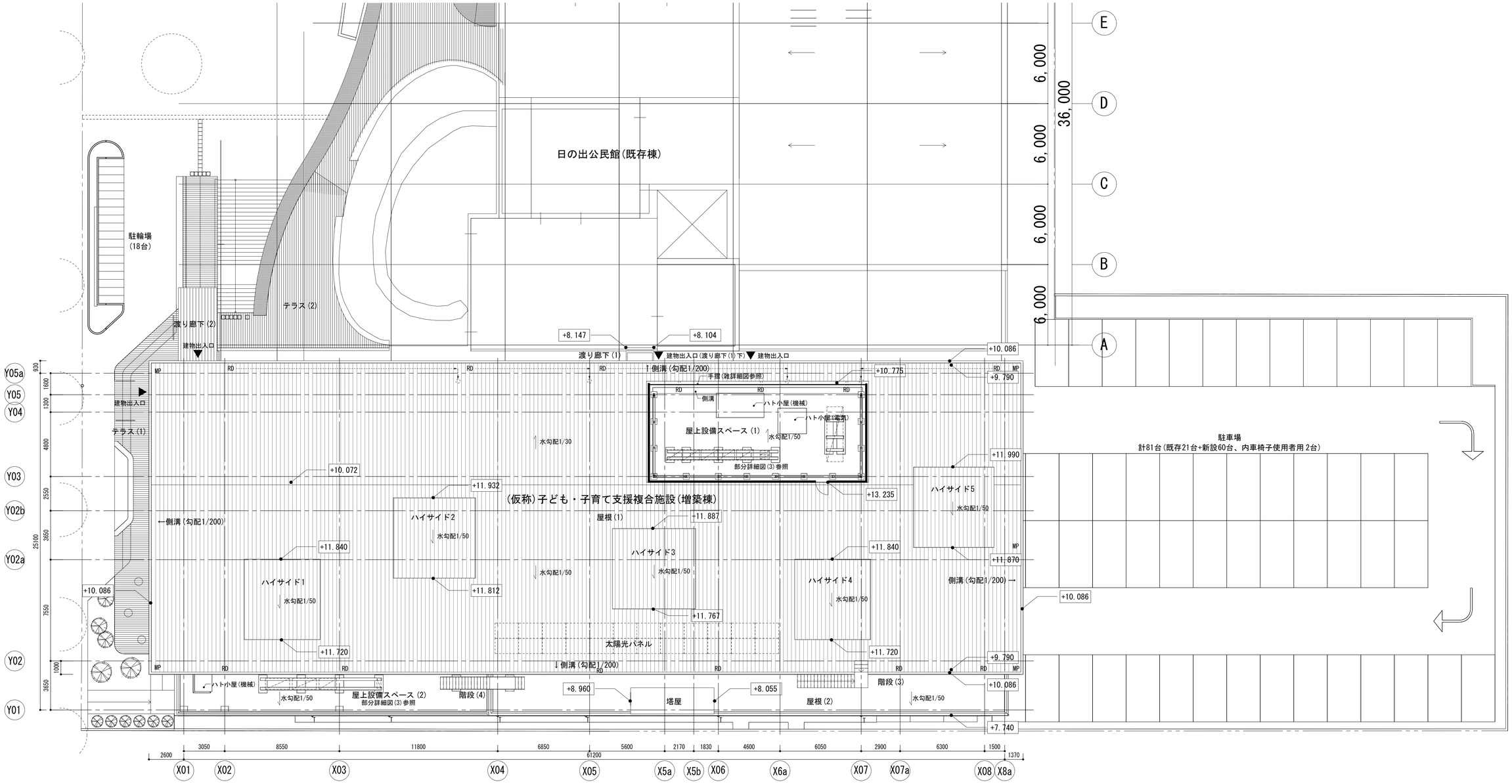
1 2階/2.5階 平面図



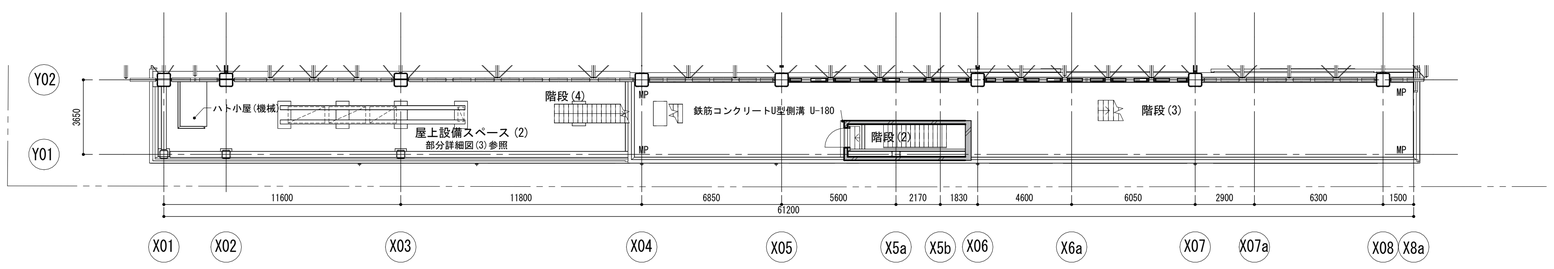
RC壁		屋内消火栓(設備工事)		床点検口(600□, 防水防臭, ﾀﾗｯﾌﾟ付)	RD	ルーフドレイン(特記以外φ100)		伸縮目地(屋上面)		0Aフロア範囲(特記以外H100)		雨水桝	
押出成形セメント板		消火器ボックス(置型)		マンホール(600φ, 防水防臭, ﾀﾗｯﾌﾟ付)	TRD	中継ﾙｰﾌﾄﾞﾚｲﾝ(特記以外φ100)		タラップ		乾式床範囲(特記以外H100)	OP	オペレーター	
LGS壁		消火器ボックス(埋込型)		視覚障害者誘導床材	YRD	横引きﾙｰﾌﾄﾞﾚｲﾝ(特記以外φ100)		水流れ方向(水勾配1/100)		浅層改良範囲			
LGS壁(遮音)		丸環		視覚障害者注意喚起床材	TJ	竪樋(特記以外鋼管φ100)		機械基礎 W×D×H					
壁種別を示す				グレーチング	+000	天井内横引き管		床レベルを示す					
				目地	OF	オーバーフロー管							

工事名称	(仮称)子ども・子育て支援複合施設整備事業建築工事		図面番号 A-110
図面名称	2階/2.5階 平面図	縮尺(A1) 1:150	
担当課	生涯学習部 生涯学習課	工事番号 08-01	通し番号 19
	健康こども部 こども課		
	財務部 営繕課		全 226 葉

1 屋根伏図



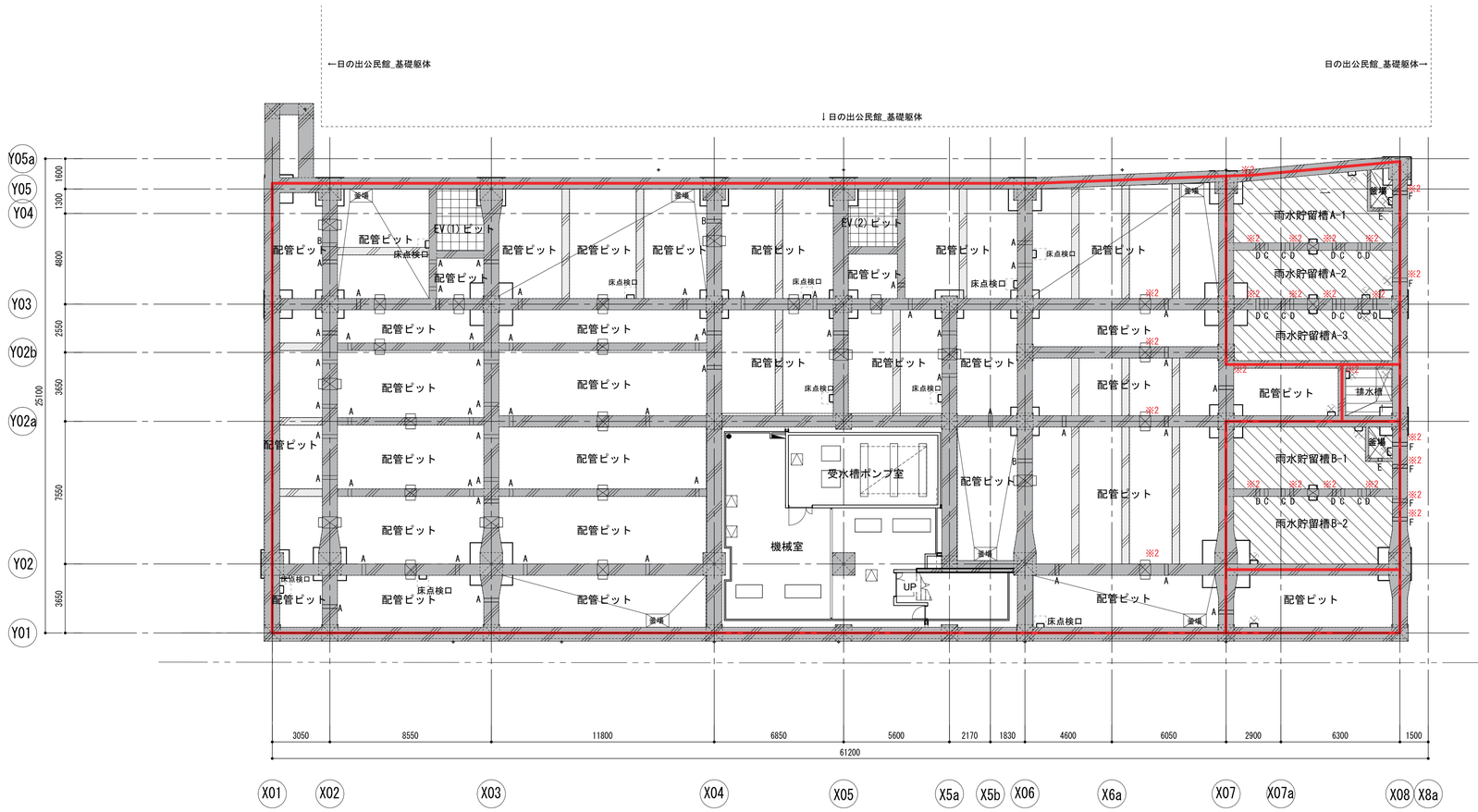
2 屋上設備スペース（2）



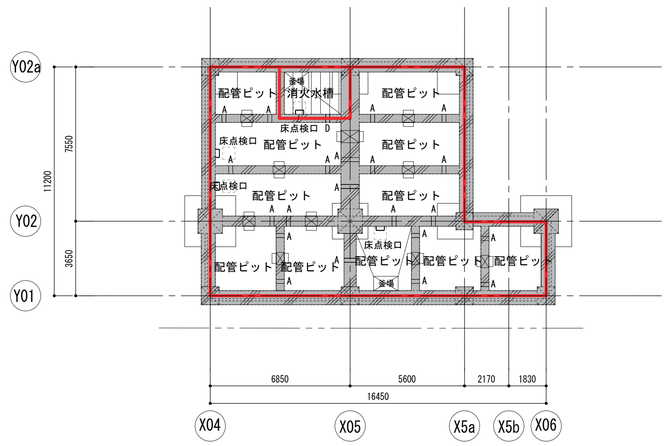
RD	ルーフドレイン（特記以外φ100）	MP	メンテナンスプレート#3000																
TRD	中継ルーフドレイン（特記以外φ100）		ルーフドレイン横引き（φ125）ルート																
TRD	横引きルーフドレイン（特記以外φ100）																		
	竪樋（特記以外鋼管φ100）																		
+000	FLからのレベルを示す																		

工事名称	（仮称）子ども・子育て支援複合施設整備事業建築工事		図面番号 A-111
図面名称	屋根伏図	縮尺（A1） 1:150	
担当課	生涯学習部　生涯学習課	工事番号 08-01	通し番号 20
	健康こども部　こども課		
	財務部　営繕課		全 226 葉

1 ピット階



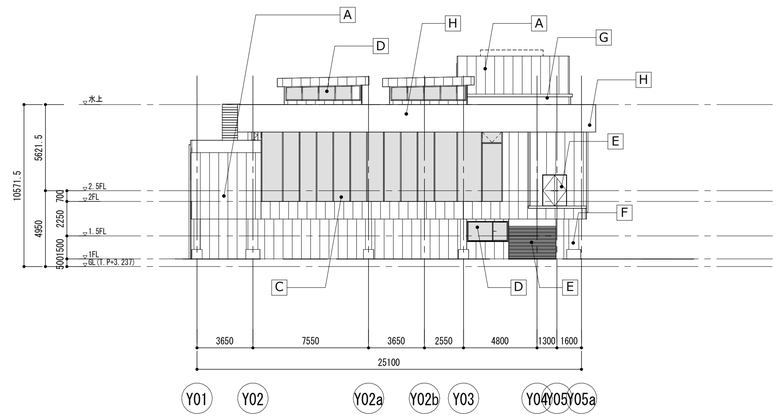
2 ピット階（機械室下）



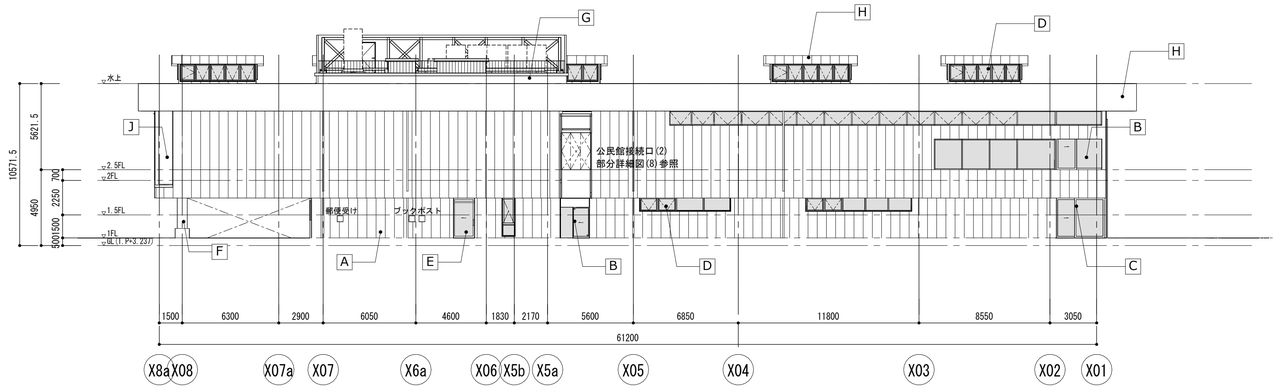
	SUSフック(22φ) 人通孔 VU600φ	Ⓒ	通水孔 150φ(半割) ※孔径特記なき限り150	Ⓕ	流出入管 ※径及びﾍﾞﾙは詳細図参照		釜場 (特記以外 W1200×D700×H600)		防水範囲		埋め戻し		地中梁下げ 上フカシ範囲		
Ⓐ	通気孔100φ 通水孔 150φ(半割)	Ⓓ	オーバーフロー管(φ150) ※ﾍﾞﾙは詳細図参照	※1	スラブ上のルートを示す		タラップ		水勾配(釜場のあるピットのみ、釜場に向けて勾配を設ける。特記なき限り、+30mmふかし)		消火水槽		止水板(2段)		
Ⓑ	通気孔100φ	Ⓔ	オリフィス管 ※径及びﾍﾞﾙは詳細図参照	※2	上ふかし部分を貫通する		上部点検口を示す				雨水貯留槽		雨水桝(新設)		
							上部マンホールを示す				排水槽		雨水桝(既設)		
							スリーブ(特記なき限りφ200)				EVピット		雨水ルート		
											記載なき限り 配管ピット				

工事名称	（仮称）子ども・子育て支援複合施設整備事業建築工事		図面番号 A-112
図面名称	地下1階/ピット階（機械室下） 平面図	縮尺(A1) 1:150	
担当課	生涯学習部 生涯学習課	工事番号 08-01	通し番号 21
	健康こども部 こども課		
	財務部 営繕課		全 226 葉

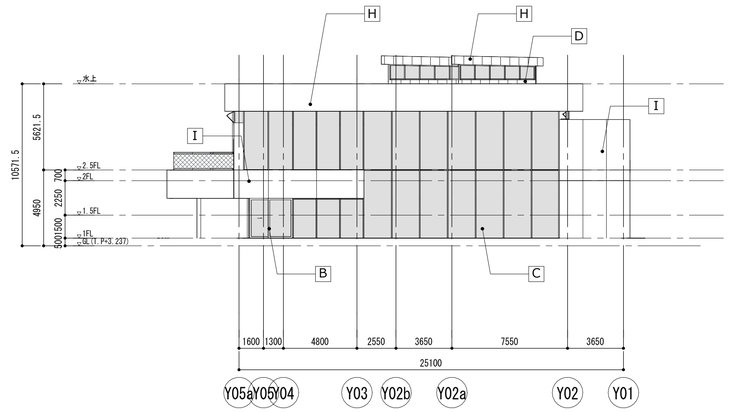
1 東立面図



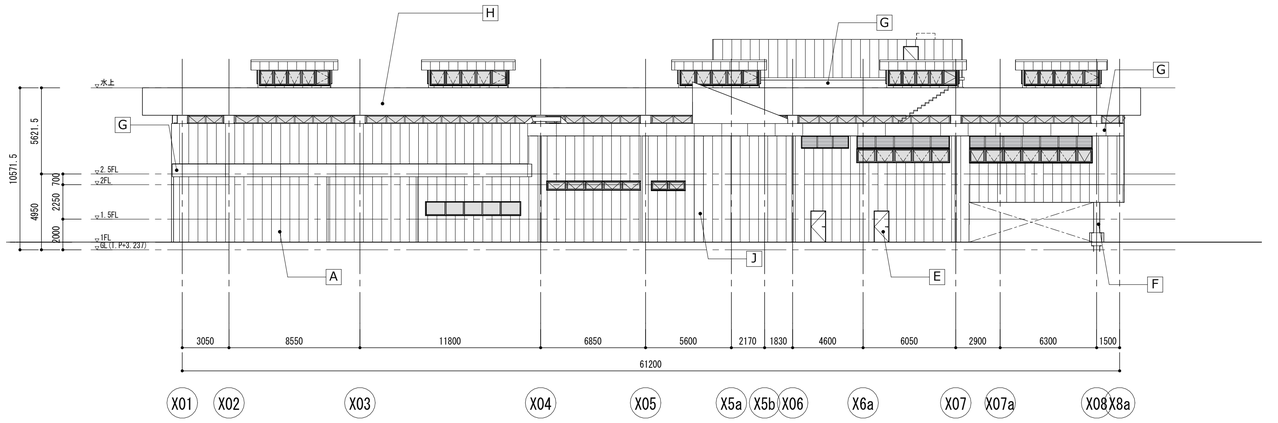
2 北立面図



3 西立面図

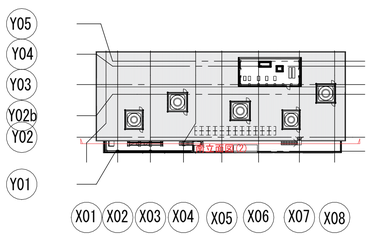


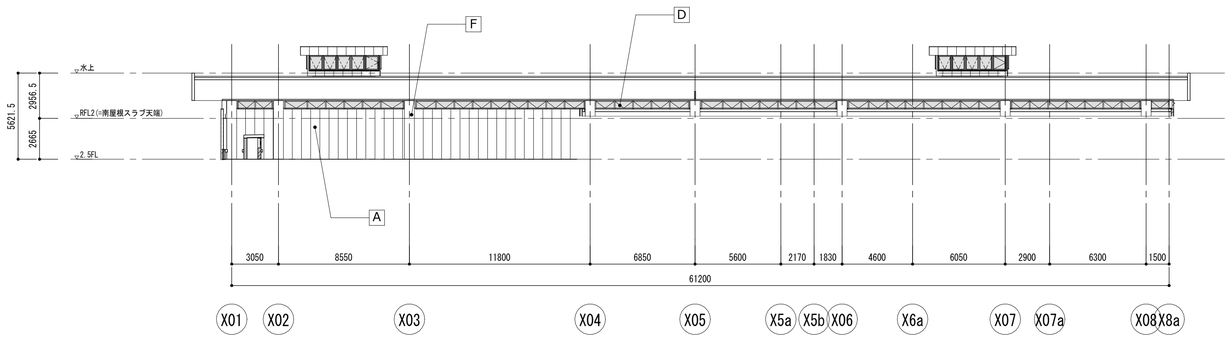
4 南立面図 (1)



5 南立面図 (2)

立面キープラン

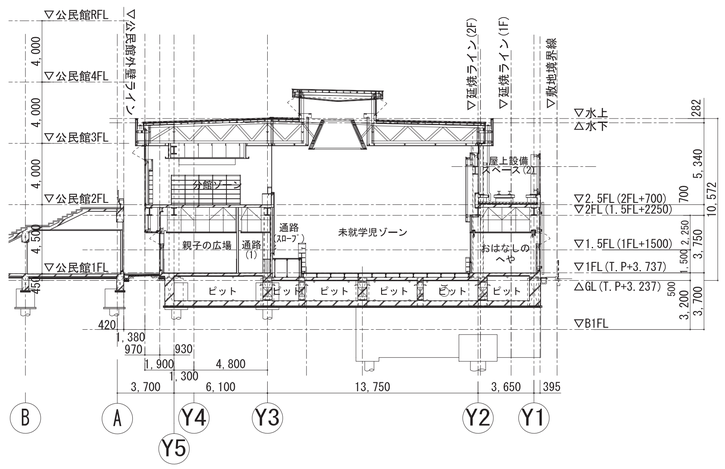




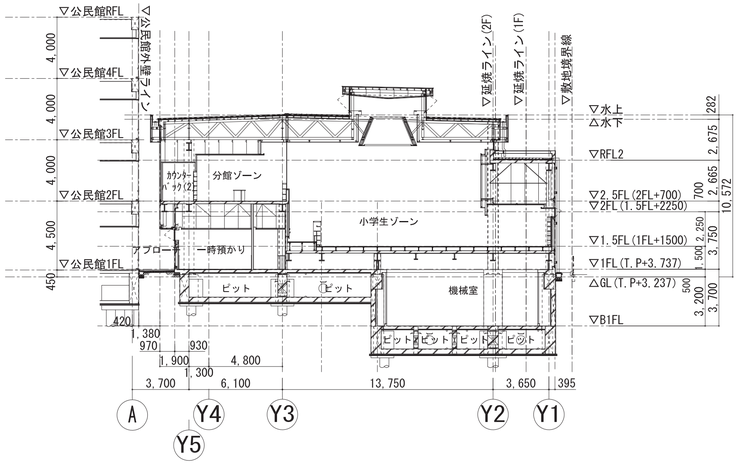
A	ECP(A) t60+CWP	G	RC(A)+CWP														
B	ステンレス製建具	H	カラーガルバリウム														
C	アルミ製カーテンウォール	I	ｱﾙﾐｶｯﾄﾊﾟﾈﾙt3. 0 ﾊｰﾄﾞﾊﾟｲﾌﾟﾚｰｼｮﾝの上、アルマイト処理仕上げ(下地:ECP(A)+CWP)														
D	アルミ製建具																
E	鋼製建具+DP(A)	J	アルミ製ガラリ														
F	耐火塗装 平滑仕上げ	——	コンクリート誘発目地(※目地寸法特記仕様参照)														

工事名称	(仮称)子ども・子育て支援複合施設整備事業建築工事
図面名称	立面図
縮尺(A1)	1:200
担当課	生涯学習部 生涯学習課
工事番号	08-01
	健康こども部 こども課
	財務部 営繕課
図面番号	A-113
通し番号	22
	全 226 葉

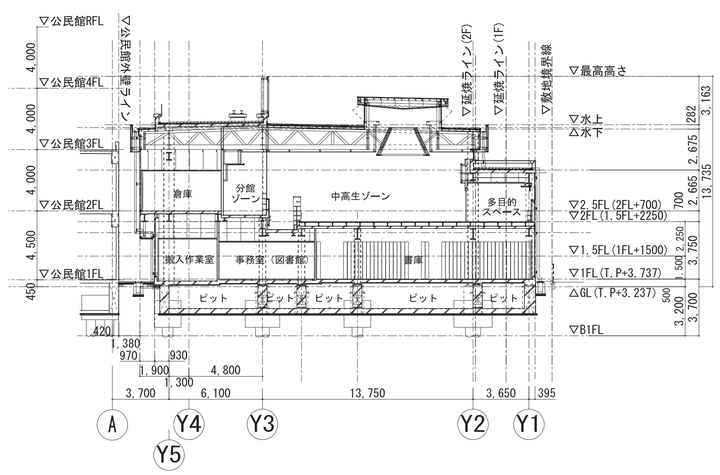
1 A断面図



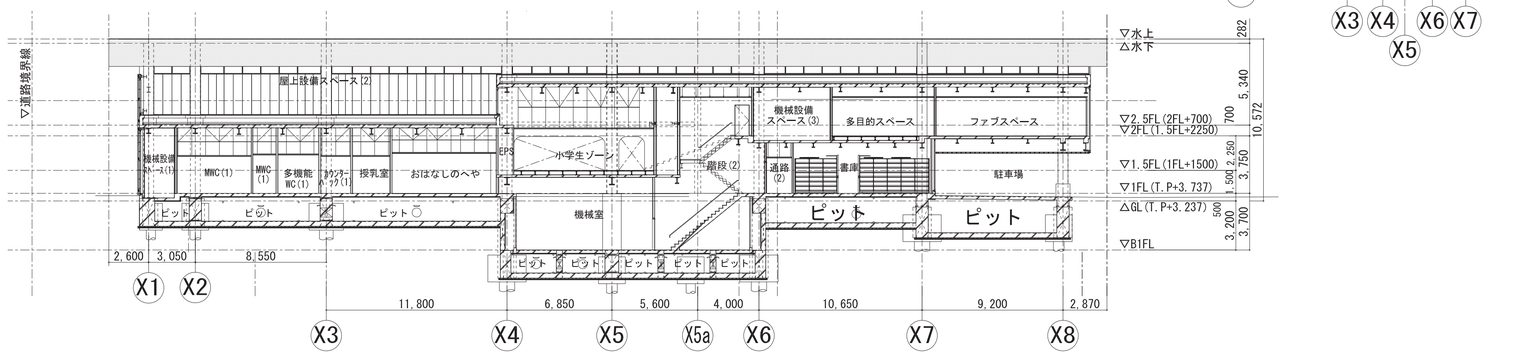
2 B断面図

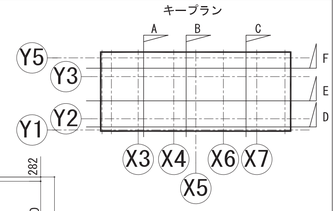


3 C断面図

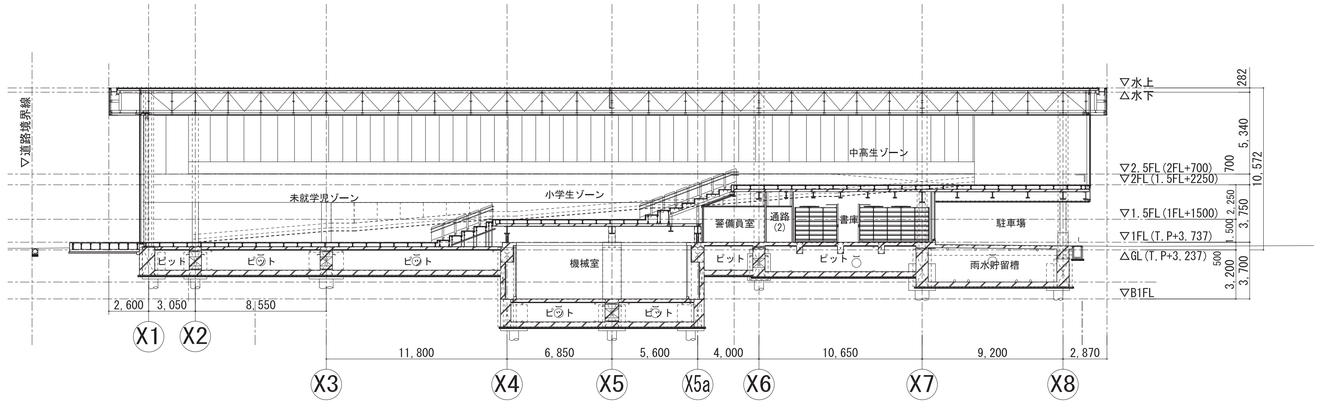


4 D断面図

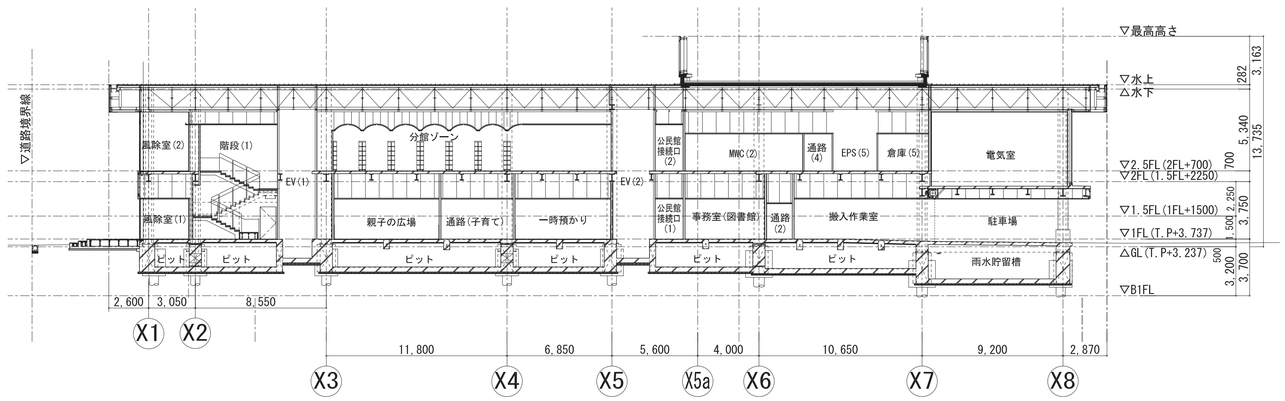




5 E断面図



6 F断面図



工事名称	（仮称）子ども・子育て支援複合施設整備事業建築工事		図面番号 A-114
図面名称	断面図	縮尺(A1) 1:200	
担当課	生涯学習部　生涯学習課	工事番号 08-01	通し番号 23
	健康こども部　こども課		
	財務部　営繕課		全 226 葉